巻末資料

1　亀岡市内所在文化財一覧表

2　地域計画作成の経過

3　聞き取り調査　議事録

4　文化財保存活用に関する措置の一覧表

1　亀岡市内所在の文化財一覧表

【凡例】

◎：国指定　●：国登録　◆：府指定　◇：府登録　＊：府暫定登録　□：府決定　■：市指定　／：未指定　▲：その他

資料編第４巻：亀岡市史編さん委員会編『新修 亀岡市史 資料編 第４巻』亀岡市、１９９６年

資料編第２巻：亀岡市史編さん委員会編『新修 亀岡市史 資料編 第２巻』亀岡市、２００２年

伝統の手仕事：京都府教育庁指導部文化財保護課編『伝統の手仕事：京都府諸職関係民俗文化財調査報告書』京都府教育委員会、１９９４年

まちづくり：「地域資材を活用した文化力向上によるまちづくり基本構想案」

行事と行事食：亀岡市産業観光部農林振興課編『亀岡の行事と行事食』亀岡市、２０１６年

中世城館跡調査：京都府教育庁指導部文化財保護課編『京都府中世城館跡調査報告書 第２冊 丹波編』京都府教育委員会、２０１３年

文化的景観保存：亀岡市教育委員会『保津川船下りの文化的景観保存調査報告書』亀岡市教育委員会、２０１６年

近代和風建築：京都府教育庁指導部文化財保護課編『京都府の近代和風建築：京都府近代和風建築総合調査報告書』京都府教育委員会、２００９年

近代化遺産：京都府教育庁指導部文化財保護課編『京都府の近代化遺産：京都府近代化遺産（建造物等）総合調査報告書』京都府教育委員会、２０００年

文化財一覧：「亀岡市内の指定・登録等文化財一覧」（２０２０年３月３１日現在）

※文化財の名称・所在地は典拠掲載時点のもの

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
有形文化財	建造物（神社仏閣）	1	昌寿院山門	昌寿院	18 世紀前期	三宅町	資料編第 4 巻　p13	＊	3 間 1 戸。3 棟切妻造。天文 2 年の建立と伝えているが、絵様などから 18 世紀前期のものと判断。
		2	称名寺山門	称名寺	元禄 11(1698)	西竪町	資料編第 4 巻　p14	／	1 間 1 戸。薬医門。
		3	称名寺鐘楼	称名寺	延享 5(1748)	西竪町	資料編第 4 巻　p14	／	4 足。切妻造。
		4	称名寺伝和泉式部の墓	称名寺	室町時代前期	西竪町	資料編第 4 巻　p15	／	
		5	正誓寺本堂	正誓寺	宝暦 11(1761)	矢田町	資料編第 4 巻　p15	／	桁行 3 間。梁行 4 間。入母屋造。
		6	法華寺本堂	法華寺	宝永 6(1709)	本町	資料編第 4 巻　p17	＊	3 間堂。小棟造。
		7	宗福寺本堂	宗福寺	宝永 4(1707)	矢田町	資料編第 4 巻　p18	＊	3 間堂。寄棟造。桟瓦葺。
		8	大円寺本堂	大円寺	宝永 7(1710)	西町	資料編第 4 巻　p20	＊	3 間堂。入母屋造。本瓦葺。
		9	大円寺山門	大円寺	―	西町	文化財一覧	＊	1 棟。
		10	大円寺薬師堂	大円寺	享保 2(717)	西町	資料編第 4 巻　p21	／	3 間堂。重層。宝形造。桟瓦葺。
		11	嶺松寺本堂	嶺松寺	18 世紀前期	千代川町北ノ庄	資料編第 4 巻　p22	／	方丈型。入母屋造。茅葺鉄板被覆。
		12	嶺松寺観音堂	嶺松寺	宝永 4(1707)	千代川町北ノ庄	資料編第 4 巻　p23	／	1 間堂。切妻造。桟瓦葺。
		13	元明院本堂	元明院	19 世紀前半	旭町谷川	資料編第 4 巻　p24	／	3 間堂。入母屋造。本瓦葺。
		14	元明院宝篋印塔	元明院	室町時代前期	旭町谷川	資料編第 4 巻　p24	■	
		15	光徳寺本堂	光徳寺	18 世紀後期	旭町寺山	資料編第 4 巻　p25	／	方丈型。小棟造。桟瓦葺。
		16	国分寺本堂	亀岡市	安永 3(1774)	千歳町国分	資料編第 4 巻　p25	■	3 間堂。入母屋造。桟瓦葺。
		17	国分寺山門	亀岡市	18 世紀後期（本堂と同時期）	千歳町国分	資料編第 4 巻　p26	■	1 間薬医門。切妻造。桟瓦葺。
		18	国分寺鐘楼	亀岡市	18 世紀後期（本堂と同時期）	千歳町国分	資料編第 4 巻　p26	■	4 足。切妻造。桟瓦葺。

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
有形文化財	建造物（神社仏閣）	19	蔵宝寺薬師堂	蔵宝寺	寛延元（1748）	千歳町千歳	資料編第4巻　p27	／	方2間。宝形造。桟瓦葺。
		20	蔵宝寺宝塔	蔵宝寺	鎌倉時代中期	千歳町千歳	資料編第4巻　p27	／	花崗岩製。高83cm。
		21	神蔵寺本堂	神蔵寺	承応2(1653)	薙田野町佐伯	資料編第4巻　p28	＊	3間堂。入母屋造。本瓦葺。
		22	神蔵寺鎮守堂	神蔵寺	17世紀前半	薙田野町佐伯	資料編第4巻　p31	／	1間社。流造。檜皮葺。
		23	苗秀寺本堂	苗秀寺	19世紀中期	薙田野町佐伯	資料編第4巻　p32	／	方丈型。入母屋造。茅葺鉄板被覆。
		24	苗秀寺宝篋印塔	苗秀寺	南北朝時代	薙田野町佐伯	資料編第4巻　p32	／	花崗岩。総高2.38m。
		25	龍潭寺三宝殿	龍潭寺	享保14(1729)	薙田野町太田	資料編第4巻　p34	＊	3間堂。入母屋造。桟瓦葺。
		26	龍潭寺方丈	龍潭寺	嘉永2(1849)	薙田野町太田	資料編第4巻　p35	＊	方丈型。入母屋造。桟瓦葺。
		27	龍潭寺開山堂	龍潭寺	享保8(1723)	薙田野町太田	資料編第4巻　p35	＊	3間堂。入母屋造。桟瓦葺。
		28	龍潭寺鐘楼	龍潭寺	享保18(1733)	薙田野町太田	資料編第4巻　p35	＊	方1間袴腰付。入母屋造。本瓦葺。1812年修理。
		29	千手寺旧観音堂	千手寺	寛永15(1638)	薙田野町鹿谷	資料編第4巻　p36	◆	千手寺開基堂。3間堂。小棟造。茅葺鉄板被覆。千手寺開基堂
		30	千手寺虚空蔵堂	千手寺	17世紀末	薙田野町鹿谷	資料編第4巻　p38	／	方1間。宝形造。桟瓦葺。
		31	千手寺山門	千手寺	明治5(1872)	薙田野町鹿谷	資料編第4巻　p39	／	1間1戸。楼門。入母屋造。桟瓦葺。
		32	永徳寺山門	永徳寺	寛政11(1799)	本梅町中野	資料編第4巻　p39	／	1間1戸。薬医門。桟瓦葺。
		33	永徳寺層塔	永徳寺	鎌倉時代	本梅町中野	資料編第4巻　p40	／	7層残存。
		34	桂林寺山門	桂林寺	—	本梅町平松	資料編第4巻　p41	／	1間1戸。薬医門。桟瓦葺。亀山城門遺構。
		35	桂林寺鐘楼	桂林寺	19世紀前期	本梅町平松	資料編第4巻　p41	／	4足。入母屋造。桟瓦葺。
		36	桂林寺五輪塔	桂林寺	天文21(1552)	本梅町平松	資料編第4巻　p42	／	
		37	延福寺二天門	延福寺	18世紀後期（18世紀末）	本梅町西加舎	資料編第4巻　p42	＊	3間1戸。単層。入母屋造。茅葺鉄板被覆。寺伝では寛永年間の再建とするが、絵様などから18世紀末と判断。
		38	延福寺本坊（庫裏）	延福寺	安永6(1777)	本梅町西加舎	資料編第4巻　p44	＊	11室構成。単層。入母屋造。茅葺鉄板被覆。
		39	延福寺十三重石塔	延福寺	延文3(1358)	本梅町西加舎	資料編第4巻　p44	◎	
		40	延福寺鐘楼	延福寺	—	本梅町西加舎	文化財一覧	＊	
		41	延福寺表門	延福寺	—	本梅町西加舎	文化財一覧	＊	

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
有形文化財	建造物（神社仏閣）	42	法常寺仏殿	法常寺	安永 3(1774)	畑野町千ヶ畑	資料編第 4 巻　p45	■	5 間堂。入母屋造。茅葺鉄板被覆。
		43	法常寺鐘楼	法常寺	安永 3(1774) ヵ	畑野町千ヶ畑	資料編第 4 巻　p46	／	方 2 間袴腰付。入母屋造。茅葺鉄板被覆。仏殿に付属する形からも仏殿と同時に建立と判断。
		44	法常寺開山堂	法常寺	18 世紀末	畑野町千ヶ畑	資料編第 4 巻　p47	／	妻入 3 間堂。切妻造。桟瓦葺。寛政年中の建立とされるが、後補材が多い。また寺蔵文書の内に現在のものと違う図があり、それが寛政年中造営の姿に近いもので今のは後の改造を経た姿ヵ。
		45	法常寺勅使門	法常寺	正徳 6(1716)	畑野町千ヶ畑	資料編第 4 巻　p47	／	1 間 1 戸。禅宗門。切妻造。檜皮葺。寛永 18 年に平唐門が移築されたものと伝わるが、当門は禅宗門であるから伝えとは異なる。
		46	金輪寺本堂	金輪寺	延宝 7(1679)	宮前町宮川	資料編第 4 巻　p49	◆	5 間堂。入母屋造。茅葺鉄板被覆。
		47	金輪寺五重石塔	金輪寺	鎌倉時代前期	宮前町宮川	資料編第 4 巻　p51	◎	高 3.8m。
		48	金輪寺九重石塔	金輪寺	正応 5(1292)	宮前町宮川	資料編第 4 巻　p51	■	高 2.91m。
		49	金輪寺宝篋印塔	金輪寺	南北朝時代	宮前町宮川	資料編第 4 巻　p52	／	高 1.13m。
		50	宝林寺九重石塔	宝林寺	正応 5(1292)	宮前町神前	資料編第 4 巻　p52	◎	現高 3.37m。
		51	宝林寺宝篋印塔(東端)	宝林寺	室町時代前期	宮前町神前	資料編第 4 巻　p53	／	現高 1.15m。
		52	宝林寺宝篋印塔(西端)	宝林寺	—	宮前町神前	資料編第 4 巻　p53	／	年代は東端のものよりやや下がる。
		53	宝林寺宝篋印塔(中央)	宝林寺	江戸時代	宮前町神前	資料編第 4 巻　p53	／	
		54	楽音寺本堂	楽音寺	元文年間(1736 ～ 1741)	東本梅町大内	資料編第 4 巻　p54	■	方 3 間堂。2 重。宝形造。桟瓦葺。
		55	楽音寺本坊	楽音寺	文化 8(1811)	東本梅町大内	資料編第 4 巻　p55	／	8 室構成。入母屋造。茅葺鉄板被覆。
		56	春現寺観音堂	春現寺	安永年間(1772 ～ 1781)18 世紀末	東別院町東掛	資料編第 4 巻　p57	／	1 間堂。小棟造。茅葺鉄板被覆。年代について寺誌調書に安永年間とあり。
		57	春現寺宝篋印塔(南塔)	春現寺	鎌倉時代	東別院町東掛	資料編第 4 巻　p58	／	
		58	春現寺宝篋印塔(北塔)	春現寺	室町時代前期	東別院町東掛	資料編第 4 巻　p58	／	
		59	春現寺五重石塔	春現寺	室町時代	東別院町東掛	資料編第 4 巻　p58	／	

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
有形文化財	建造物（神社仏閣）	60	甘露寺本堂	甘露寺	江戸時代中期	東別院町南掛	資料編第4巻　p58	／	方丈型。入母屋造。茅葺鉄板被覆。
		61	谷昌寺山門	谷昌寺	寛政3(1791)	東別院町倉谷	資料編第4巻　p59	／	3間1戸。薬医門。切妻造。鉄板覆。
		62	山王寺本堂	山王寺	19世紀初期	曽我部町犬飼	資料編第4巻　p61	／	3間堂。小棟造。桟瓦葺。正面の扁額には寛永3年の年紀があるが、装飾形式から建立年代は19世紀初期と判断。
		63	穴太寺本堂	穴太寺	享保20(1735)	曽我部町穴太	資料編第4巻　p63	◆	5間堂。入母屋造。本瓦葺。
		64	穴太寺念仏堂	穴太寺	宝永2（1705） 18世紀初期	曽我部町穴太	資料編第4巻　p64	◇■	3間堂。寄棟造。本瓦葺。棟札によると宝永2年の建立。府登録文化財名称「穴太寺念仏堂ほか五棟」。市指定文化財名称「穴太寺伽藍」(4棟)。
		65	穴太寺多宝塔	穴太寺	文化元（1804）	曽我部町穴太	資料編第4巻　p65	◆	3間塔。本瓦葺。
		66	穴太寺仁王門	穴太寺	17世紀前期 （17世紀前半）	曽我部町穴太	資料編第4巻　p66	◇■	3間1戸。単層。入母屋造。本瓦葺。府登録文化財名称「穴太寺念仏堂ほか五棟」。市指定文化財名称「穴太寺伽藍」(4棟)。
		67	穴太寺鐘楼	穴太寺	宝暦9(1759)	曽我部町穴太	資料編第4巻　p67	◇■	4足式。入母屋造。桟瓦葺。府登録文化財名称「穴太寺念仏堂ほか五棟」。市指定文化財名称「穴太寺伽藍」（4棟）。
		68	穴太寺方丈・庫裏	穴太寺	延宝5(1677)	曽我部町穴太	資料編第4巻　p67	◇■	桁行25m。入母屋造。本瓦葺。4方シコロ庇付。府登録文化財名称「穴太寺念仏堂ほか五棟」。市指定文化財名称「穴太寺伽藍」（4棟）。
		69	穴太寺方丈表門	穴太寺	—	曽我部町穴太	文化財一覧	◇	府登録文化財名称「穴太寺念仏堂ほか五棟」。
		70	穴太寺鎮守堂	穴太寺	—	曽我部町穴太	文化財一覧	◇	府登録文化財名称「穴太寺念仏堂ほか五棟」。
		71	金剛寺山門	金剛寺	明和8(1771)	曽我部町穴太	資料編第4巻　p68	／	1間1戸。鐘楼門。入母屋造。
		72	金剛寺本堂	金剛寺	元文3(1738)	曽我部町穴太	資料編第4巻　p69	／	方丈型。茅葺（鉄板覆）。
		73	真福寺瑞雲軒	真福寺	—	曽我部町西条	文化財一覧	＊	
		74	真神寺観音堂	—	—	旭町西島	資料編第4巻　p70	／	瓦葺。
		75	旧東林寺堂	—	—	千歳町国分	資料編第4巻　p70	／	桁行4.23m。梁行4.75m。

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
有形文化財	建造物（神社仏閣）	76	阿弥陀堂	—	—	本梅町東加舎	資料編第4巻　p70	／	3間堂。寄棟造。桟瓦葺。出桁造。
		77	地蔵堂（庚申堂）	—	江戸時代後期	宮前町猪倉	資料編第4巻　p71	／	正面4.04m。側面5.30m。寄棟造。茅葺鉄板被覆。
		78	帝釈天堂	—	—	東本梅町大内	資料編第4巻　p72	／	正面3間。側面3間。妻入。入母屋造。茅葺。
		79	薬師堂	—	江戸時代後期	西別院町犬甘野	資料編第4巻　p73	／	小棟造。茅葺鉄板被覆。正面4.0m。側面4.0m。
		80	三宅神社本殿	三宅神社	寛政8(1796)ヵ	三宅町	資料編第4巻　p80	／	1間社流造。こけら葺。造営年は御神体を納めた木箱の裏に寛政8年とあり、意匠などから見てもその頃として妥当と判断。
		81	鍬山神社本殿	鍬山神社	文化11(1814)	上矢田町上垣内	資料編第4巻　p81	◇	1間社流造。檜皮葺。
		82	鍬山神社八幡宮本殿	鍬山神社	文化11(1814)	上矢田町上垣内	資料編第4巻　p81	◇	1間社流造。檜皮葺。
		83	走田神社本殿	走田神社	明治12(1879)	余部町走田	資料編第4巻　p83	／	1間社流造。銅板葺(元檜皮葺)。
		84	伊達神社本殿	伊達神社	寛政元(1789)	宇津根町東浦	資料編第4巻　p85	／	1間社流造。こけら葺。
		85	大井神社本殿	大井神社	天正12(1584)ヵ	大井町並河	資料編第4巻　p86	／	1間社流造。銅板葺。天正12年に豊臣秀吉が片桐且元を造営奉行に任じ社殿を再興したと伝わる。身舎部分に近世前期の特徴を示す意匠あり。
		86	岩城神社本殿	岩城神社	17世紀中期	千代川町北ノ庄	資料編第4巻　p87	＊	1間社流造。銅板葺(もと檜皮葺)。
		87	月読神社本殿	月読神社	室町時代後期	千代川町小川	資料編第4巻　p88	＊	1間社流造。見世棚造。こけら葺。
		88	宮垣神社本殿	宮垣神社	寛永2(1625)ヵ	千代川町川関	資料編第4巻　p90	◆	1間社流造。こけら葺。寛永2年再建と社伝にあり、絵様からも17世紀前期ころと判断される。
		89	八幡神社本殿	八幡神社	江戸時代中期	千代川町拝田	資料編第4巻　p91	／	1間社流造。こけら葺。
		90	王子神社本殿	王子神社	安永8(1779)ヵ	篠町王子	資料編第4巻　p92	＊	1間社流造。銅板葺。擬宝珠に安永8年の刻銘があり、様式からしてその頃の造営と判断。
		91	篠村八幡宮本殿	篠村八幡宮	延宝5(1677)	篠町篠	資料編第4巻　p93	＊	1間社流造。銅板葺。
		92	八幡宮拝殿	八幡宮	—	篠町篠	文化財一覧	＊	1棟。
		93	八幡宮乾疫社	八幡宮	—	篠町篠	文化財一覧	＊	1棟。
		94	村山神社本殿	村山神社	明治3(1870)	篠町森	資料編第4巻　p95	＊	1間社流造。銅板葺(元檜皮葺)。

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
有形文化財	建造物（神社仏閣）	95	村山神社八幡宮本殿	村山神社	明治 3(1870) 以後	篠町森	資料編第 4 巻　p95	＊	1 間社流造。銅板葺（元檜皮葺）。年代は村山神社本殿より若干後。
		96	村山神社拝殿	村山神社	寛政 12(1800)	篠町森	資料編第 4 巻　p96	＊	桁行 2 間。梁行 1 間。入母屋造。妻入。銅板葺。
		97	天満宮社本殿	天満宮社	元禄 2(1689) ヵ	馬路町池尻	資料編第 4 巻　p97	／	1 間社流造。銅板葺。元禄 2 年の祈祷札があり、蟇股などの意匠からみて、ほぼ造営時期を示すと判断。
		98	松尾神社本殿	松尾神社	室町時代後期	旭町今峠	資料編第 4 巻　p98	◇	1 間社流造。檜皮葺。
		99	天照皇大神社本殿	天照皇大神社	江戸時代後期	旭町経塚	資料編第 4 巻 p100	／	1 間社流造。鉄板葺。
		100	梅田神社本殿	梅田神社	建武 5(1338)	旭町宮ノ元	資料編第 4 巻 p100	◎	1 間社流造。檜皮葺。
		101	愛宕神社本殿	愛宕神社	鎌倉時代後期	千歳町国分	資料編第 4 巻 p102	◎	1 間社流造。檜皮葺。
		102	出雲大神宮本殿	出雲大神宮	文安 2(1445) ヵ	千歳町千歳	資料編第 4 巻 p104	◎	前室付 3 間社流造。檜皮葺。造立年代は社伝により貞和 2 年とされてきたが、棟札の記録などから文安 2 年としたほうが蓋然性は高いと判断。
		103	出雲大神宮拝殿	出雲大神宮	明治 11(1878)	千歳町千歳	資料編第 4 巻 p107	／	入母屋造。妻入。檜皮葺。桁行 3 間。梁行 3 間。舞殿形式。
		104	出雲大神宮上の社本殿	出雲大神宮	文化 10(1813)	千歳町千歳	資料編第 4 巻 p107	／	前室付 1 間社流造。
		105	日吉神社本殿	日吉神社	文化 11(1814)	河原林町河原尻	資料編第 4 巻 p109	＊	1 間社流造。銅板葺（元檜皮葺）。
		106	日吉神社拝殿	日吉神社	—	河原林町河原尻	文化財一覧	＊	1 棟。
		107	請田神社本殿	請田神社本殿	江戸時代後期	保津町立岩	資料編第 4 巻 p110	／	1 間社流造。鉄板葺。
		108	八幡宮社本殿	八幡宮社	寛永年間（1624 ～ 1645）ヵ	保津町宮ノ上	資料編第 4 巻 p111	◆	1 間社春日造。縋破風形式。銅板葺。『南桑田郡誌』よれば「社殿横木の裏」の落書に寛永 13 の年紀があり（『南桑田郡誌』による。現在は確認できない。）、蟇股などの様式手法からみても江戸時代前期、寛永ころと判断。
		109	八幡宮社請田神社頓宮	請田神社	江戸時代前期	保津町宮ノ上	資料編第 4 巻 p112	◆	1 間社流造。銅板葺。
		110	八幡宮社拝殿	八幡宮社	天保 2(1831)	保津町宮ノ上	資料編第 4 巻 p113	／	桁行 2 間。梁行 1 間。入母屋造。桟瓦葺。

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
有形文化財	建造物（神社仏閣）	111	八幡宮社鐘楼	八幡宮社	延宝 8(1680) カ	保津町宮ノ上	資料編第 4 巻 p114	◆	4 本柱建。切妻造。本瓦葺。鐘楼にかかっていた梵鐘に延宝 8 年の銘文があり(『南桑田郡誌』による。梵鐘は現存しない。) 鐘楼も同年の造営と判断。
		112	金刀比羅神社本殿	金刀比羅神社	寛政 12(1800) カ	保津町保津山	資料編第 4 巻 p115	／	1 間社流造。見世棚造。こけら葺。おみくじ入れの追刻銘より年代推定。
		113	御霊神社本殿	御霊神社	元禄 7(1694) カ	薙田野町佐伯	資料編第 4 巻 p116	／	1 間社流造。銅板葺。旧薙田野神社本殿に酷似し、旧薙田野神社本殿が元禄 7 年の造営であったことから、当本殿も同じころの造営と判断。
		114	河阿神社本殿	河阿神社	宝永 6(1709)	薙田野町柿花	資料編第 4 巻 p117	／	1 間社流造。檜皮葺。
		115	廣峯神社本殿	廣峯神社	寛文 9(1669)	本梅町中野	資料編第 4 巻 p120	／	1 間社流造。銅板葺。
		116	菅原神社本殿	菅原神社	元禄 17(1704)	本梅町平松	資料編第 4 巻 p122	／	1 間社流造。こけら葺。
		117	加舎神社本殿	加舎神社	文政 2(1819)	本梅町西加舎	資料編第 4 巻 p123	＊	1 間社流造。檜皮葺。
		118	屋磨内神社本殿	屋磨内神社	元禄 9(1696) カ	本梅町東加舎	資料編第 4 巻 p125	／	2 間社流造。こけら葺。造営年は擬宝珠に元禄 9 年の刻銘があり、様式手法からしてもその頃で妥当と判断。
		119	西山神社本殿	西山神社	宝永 2(1705)	畑野町千ヶ畑	資料編第 4 巻 p127	◆	4 間社流造。こけら葺。
		120	八幡宮社本殿	八幡宮社	元文元 (1736)	畑野町土ヶ畑	資料編第 4 巻 p129	／	1 間社春日造。隅木入春日造。鉄板葺。
		121	篠葉神社本殿	篠葉神社	承応 2(1653)	宮前町猪倉	資料編第 4 巻 p129	／	1 間社流造。檜皮葺。
		122	宮川神社本殿	宮川神社	享保 2(1717) カ	宮前町宮川	資料編第 4 巻 p131	／	1 間社流造。檜皮葺。造営年は擬宝珠に享保 2 年の刻銘があり、様式手法からしてもその頃で妥当と判断。
		123	大内神社本殿	大内神社	元禄 4(1691) カ	東本梅町大内	資料編第 4 巻 p133	／	1 間社流造。こけら葺。造営年は擬宝珠に元禄 4 年とあることから判断。
		124	八幡神社本殿	八幡神社	宝永 7(1710)	東本梅町中野	資料編第 4 巻 p134	／	1 間社流造。銅板葺。
		125	春日神社本殿	春日神社	江戸時代中期	東別院町小泉	資料編第 4 巻 p135	／	1 間社流造。こけら葺。
		126	素戔嗚神社本殿	素戔嗚神社	江戸時代中期	東別院町南掛	資料編第 4 巻 p136	／	1 間社流造。こけら葺。
		127	玉依神社本殿	玉依神社	天保 9(1838)	東別院町湯谷	資料編第 4 巻 p137	／	1 間社流造。銅板葺。

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
有形文化財	建造物（神社仏閣等）	128	稲荷神社本殿	稲荷神社	元禄 16(1703)	東別院町倉谷	資料編第 4 巻 p139	／	1 間社流造。こけら葺。
		129	鎌倉神社本殿	鎌倉神社	江戸時代前期	東別院町鎌倉	資料編第 4 巻 p141	◇	3 間社流造。こけら葺。
		130	天満宮神社本殿	天満宮神社	延享元 (1744)	東別院町栢原	資料編第 4 巻 p142	／	1 間社流造。こけら葺。
		131	多吉神社本殿	多吉神社	正徳 5(1715) ヵ	西別院町柚原	資料編第 4 巻 p143	／	1 間社流造。銅板葺。造営年は本殿西妻にある額の記載から判断。
		132	素戔嗚神社本殿	素戔嗚神社	江戸時代中期	西別院町大槻並	資料編第 4 巻 p144	／	1 間社流造。こけら葺。
		133	大宮神社本殿	大宮神社	元禄 16(1703)	西別院町万願寺	資料編第 4 巻 p146	／	1 間社流造。こけら葺。
		134	大宮神社境内仏堂	大宮神社	天保 2(1831) ヵ	西別院町万願寺	資料編第 4 巻 p146	／	方 3 間。入母屋造。桟瓦葺。内陣後壁に墨書があり、天保 2 年に尊像を再興したと記される。当堂の造営も同時期と推定。
		135	松尾神社本殿	松尾神社	宝永 6(1709) ヵ	西別院町犬甘野	資料編第 4 巻 p147	／	1 間社流造。檜皮葺。造営年は擬宝珠に宝永 6 年とあることから判断。
		136	與能神社本殿	與能神社	正徳 5(1715)	曽我部町寺	資料編第 4 巻 p152	◇	3 間社流造。銅板葺。
		137	天満宮本殿	天満宮	宝永 2(1705)	曽我部町犬飼	資料編第 4 巻 p153	／	1 間社流造。銅板葺。
		138	小幡神社本殿	小幡神社	天和 3(1683)	曽我部町穴太	資料編第 4 巻 p155	◇	1 間社流造。檜皮葺。
		139	北町会議所	—	明治 15(1882)	西町	資料編第 4 巻 p161	／	地蔵院（北町地蔵堂）あり。
		140	西町会議所	—	明治時代初期	西町	資料編第 4 巻 p163	／	口間 2 間半分。奥行 6 間。切妻造妻入りの母屋正面に入母屋屋根の式台。行者堂、鉾蔵あり。
		141	紺屋町会議所	—	昭和 2(1927)	紺屋町	資料編第 4 巻 p164	／	口間 2 間半。奥行 7 間。切妻造妻入。鉾蔵あり。
		142	旅籠町会議所	—	昭和 9(1934)	旅籠町	資料編第 4 巻 p166	／	口間 2 間半。奥行き 7 間半。外観正面は入母屋造妻入で式台を構え、背面は切妻造の妻側に庇が取り付いている。鉾蔵あり。
		143	東竪町会議所	—	昭和 10(1935)	東竪町	資料編第 4 巻 p167・159	／	平入りの建物。式台玄関を設ける。切妻造。八坂神社境内にある。境内にはほかに稲荷神社あり。

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
有形文化財	建造物（神社仏閣等）	144	沼田モータース	—	明治 22(1889)	新町	資料編第 4 巻 p205	／	入母屋造平屋 1 棟と寄棟造 2 階建 2 棟がそれぞれ接して建つ。平屋部分は亀山城新町御門の移築と伝わる。2 階建部分ははじめ郵便局として使用。
		145	亀岡小学校・木造校舎	—	昭和 23 ～ 24 (1948 ～ 1949) ヵ	内丸町	資料編第 4 巻 p206	／	木造 2 階建。切妻造。桟瓦葺。亀岡中学校から移築されたと伝えられ、亀岡中学校は昭和 23 ～ 24 年にかけて新校舎を建築したと伝えられるため、このときの建築の可能性がある。1995 年 8 月解体。
		146	旧森林組合事務所	—	昭和 3(1928)	横町	資料編第 4 巻 p207	／	総 2 階建の洋館と木造平屋建の町家が並ぶ。亀岡信用組合の事務所として建設された。
		147	京都信用保証協会亀岡支所	—	昭和 10(1935)	北町	資料編第 4 巻 p209	／	木造 2 階建。寄棟造。桟瓦葺。特定（旧 3 等）郵便局として建設された。
		148	日本基督教団丹波新生教会亀岡北町会堂	—	昭和 4(1929)	北町	資料編第 4 巻 p210	／	切妻造。トタン葺。木造平屋建（一部 2 階建）。1995 年 3 月解体。
		149	関酒造土蔵群（仕込蔵）	—	明治 38(1905) 以前	紺屋町	資料編第 4 巻 p212	／	切妻造。桟瓦葺。桁行（東西）約 19.46m。梁行（南北）約 9.6m。酒母蔵より古いと伝わる。
		150	関酒造土蔵群（槽蔵）	—	明治 38(1905) 以前	紺屋町	資料編第 4 巻 p212	／	切妻造。桟瓦葺。桁行（南北）約 18m。梁行（東西）約 11m。酒母蔵より古いと伝わる。
		151	関酒造土蔵群（酒母蔵）	—	明治 38(1905)	紺屋町	資料編第 4 巻 p212	／	切妻造。桟瓦葺。桁行 22m。梁行 9.6m。
		152	山金楼	—	大正時代頃ヵ	新町	資料編第 4 巻 p213	／	木造 2 階建。入母屋造。桟瓦葺。2 階の軒はセガイ造。
		153	保津川観光ホテル楽々荘（洋館）	光明文化芸術株式会社	明治 31 ～ 32 (1898 ～ 1899)	北町	資料編第 4 巻 p215	●	煉瓦造 2 階建。寄棟造。桟瓦葺。田中源太郎の本邸として建築された。
		154	保津川観光ホテル楽々荘（日本館）	光明文化芸術株式会社	明治 42(1909) ヵ	北町	資料編第 4 巻 p215	●	木造平屋建。寄棟造。桟瓦葺。田中源太郎の本邸として建築されたもので、日本館は同氏の生家を明治 37 年から 5 年をかけて改造したとの伝えもあるが、不詳。
	建造物（亀山城遺構）	155	千代川小学校校門	千代川町自治会	—	千代川町北ノ庄	資料編第 4 巻 p219	■	旧亀山城内新御殿門。桁行 20.60m。梁行 4.95m。入母屋造。桟瓦葺。西面下屋附属。

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
有形文化財	建造物（亀山城遺構）	156	永田家住宅表門	個人	—	千代川町千原	資料編第4巻 p220	／	亀山城遺構。桁行16.46m。梁行3.95m。入母屋造。桟瓦葺。御対面所か藩校邁訓校の門との伝えもあるが、定かではない。
		157	大本毘沙門荘表門	大本毘沙門荘	—	千歳町毘沙門	資料編第4巻 p221	／	亀山城遺構。桁行21.28m。梁行3.95m。入母屋造。桟瓦葺。東面下屋附属。家老屋敷の長屋門を移転したと伝えられる。
		158	桂林寺表門	桂林寺	—	本梅町平松	資料編第4巻 p222	／	亀山城遺構。1間薬医門。桟瓦葺。鬼瓦に大給松平氏（元和7（1621）～寛永11（1634）の藩主）の紋が意匠されている。また、親柱は17世紀前半まで遡る可能性あり。
		159	文覚寺表門	文覚寺	—	保津町山ノ坊	資料編第4巻 p222	／	亀山城遺構。1間薬医門。桟瓦葺。鬼瓦などに形原松平家の紋が用いられており、部材を比べても桂林寺表門より年代が下がる。
		160	保津町五区会議所	保津五苗財団	—	保津町訳目	資料編第4巻 p223	■	亀山城遺構。桁行15.9m。梁行7.0m。正面中央南寄りに入母屋屋根を突き出して式台を構える。御学問所の移築と伝わる。指定一覧では、名称「旧亀山城新御殿玄関」。
	建造物（民家）	161	矢代家住宅	個人	19世紀前期	柳町	資料編第2巻 p659・660	／	切妻造・桟瓦葺。妻入。和小屋＋登り梁。
		162	真下家住宅	個人	19世紀後半	柳町	資料編第2巻 p659・660	／	切妻造・桟瓦葺。平入。
		163	小川家旧住宅	個人	文政8(1825)	新町	資料編第2巻 p659・661	／	切妻造・桟瓦葺。平入。和小屋＋登り梁。調査後に建て替えられた。
		164	岩森家住宅	個人	19世紀前期	上矢田町東垣内	資料編第2巻 p659・662	／	入母屋造・草葺（トタン）。平入。棟束組。
		165	山内家住宅	個人	大正3(1914)	紺屋町	資料編第2巻 p659・663	／	片入母屋片桐妻造・桟瓦葺。平入。和小屋。
		166	関家住宅	個人	明治10(1877)頃	紺屋町	資料編第2巻 p659・664	／	切妻造・桟瓦葺。平入。和小屋＋登り梁。
		167	栗山家住宅	個人	19世紀中期	篠町王子	資料編第2巻 p659・666	／	入母屋造・草葺（トタン）。平入。
		168	飯田家長屋門	個人	—	大井町並河	資料編第2巻 p659・667	／	亀山藩の出城の門を移築との伝えがある。門扉に享保12（1727）の木札が打ち付けられているが、詳細は不明。
		169	渡辺家住宅	個人	19世紀中期	大井町土田	資料編第2巻 p659・668	／	寄棟造・草葺（銅板）。平入。扠首組。

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
有形文化財	建造物（民家）	170	永田家洗場	個人	—	千代川町千原	資料編第 2 巻 p659・670	／	
		171	中川家住宅	個人	19 世紀前期	馬路町住吉	資料編第 2 巻 p659・671	／	入母屋造・草葺。妻入。扠首＋棟束。
		172	渡辺家住宅	個人	19 世紀前期以前	千歳町毘沙門	資料編第 2 巻 p659・673	／	切妻造・桟瓦葺。平入。登り梁。
		173	遠山家住宅	個人	寛政 2(1790)	河原林町河原尻	資料編第 2 巻 p659・674	◎	入母屋造・草葺（トタン）。妻入。扠首＋棟束。
		174	桂家住宅	個人	18 世紀前期	保津町	資料編第 2 巻 p659・676	／	入母屋造・草葺（トタン）。妻入。棟束組。
		175	福岡家住宅	個人	文久年間（1861 ～ 1864）以後	曽我部町寺	資料編第 2 巻 p659・678	／	入母屋造・草葺（トタン）。平入。扠首＋棟束。
		176	斎藤家住宅	個人	18 世紀後期	曽我部町穴太	資料編第 2 巻 p659・679	／	入母屋造・草葺。妻入。棟束組。
		177	森家旧住宅	個人	文政 5(1822)	本梅町西加舎	資料編第 2 巻 p659・680	／	入母屋造・草葺。妻入。扠首組。調査後に建て替えられた。
		178	森家住宅	個人	19 世紀中期	本梅町西加舎	資料編第 2 巻 p659・681	／	入母屋造・草葺（トタン）。平入。扠首＋棟束。
		179	宮前家住宅	個人	19 世紀中期	畑野町土ヶ畑	資料編第 2 巻 p659・683	／	入母屋造・草葺（トタン）。平入。扠首組。
		180	森家住宅	個人	19 世紀前期	宮前町神前	資料編第 2 巻 p659・684	／	入母屋造・草葺。妻入。棟束組。
		181	上野家住宅	個人	19 世紀後期	西別院町柚原	資料編第 2 巻 p659・686	／	入母屋造・草葺（トタン）。平入。
		182	石田家住宅	個人	19 世紀中期	東別院町東掛	資料編第 2 巻 p659・687	／	入母屋造・草葺。平入。扠首＋棟束。
		183	江見家住宅	個人	19 世紀中期	東別院町栢原	資料編第 2 巻 p659・688	／	入母屋造・草葺（トタン）。平入。
		184	荒木家住宅	個人	19 世紀前期	東別院町南掛	資料編第 2 巻 p659・689	／	入母屋造・草葺（トタン）。平入。棟束組。
	建造物（近代和風建築）	185	鈴木家住宅	—	明治 34(1901)	稗田野町太田	近代和風建築 p153	／	町家・農家。2 階建。切妻造。平入。桟瓦葺。
		186	曽我家住宅主屋	—	大正 8(1919) 頃	吉川町吉田	近代和風建築 p154	／	町家。2 階建。入母屋造。平入。桟瓦葺。
		187	関酒造有限会社主屋	—	明治 10(1877) 頃	紺屋町	近代和風建築 p156	／	町家。中 2 階建。切妻造煙出付。平入。桟瓦葺。
		188	関酒造有限会社離れ	—	大正 3(1914)	紺屋町	近代和風建築 p156	／	町家。切妻造。平入。桟瓦葺。
		189	金森家住宅主屋	—	江戸時代後期	本町	近代和風建築 p158	／	町家。2 階建。切妻造。妻入。桟瓦葺。西面座敷棟突出。江戸時代末期～明治時代初期増築。
		190	金森家住宅離れ	—	大正時代	本町	近代和風建築 p158	／	町家。2 階建。切妻造。桟瓦葺。
		191	南江家住宅大座敷棟	—	大正時代末	河原町	近代和風建築 p160	／	町家。1 階建。入母屋造。桟瓦葺。

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
有形文化財	建造物（近代和風建築）	192	並河家住宅主屋	—	明治 18(1885)	大井町並河	近代和風建築 p230	／	農家。入母屋造。妻入。桟瓦葺。
		193	石田家住宅主屋	—	江戸時代後期	東別院町東掛	近代和風建築 p232	／	農家。入母屋造。平入。茅葺(トタン覆)。
		194	天岡家住宅客殿	—	明治 37(1904)	上矢田町	近代和風建築 p424	／	2階建。切妻造。妻入。桟瓦葺。
		195	極楽寺本堂	—	昭和 8(1933)	千歳町	近代和風建築 p513	／	一重。入母屋造。平入。桟瓦葺。
		196	栗山家住宅	—	江戸時代中期	篠町王子	近代和風建築 p651	／	木造平屋建。
		197	木村家住宅	—	明治時代	篠町篠	近代和風建築 p651	／	木造平屋建。
		198	酒井家住宅	—	昭和時代初期	篠町篠	近代和風建築 p651	／	木造 2 階建。
		199	山口家住宅	—	昭和時代初期	篠町篠	近代和風建築 p651	／	木造 2 階建。
		200	山口家住宅	—	明治時代ヵ	篠町篠	近代和風建築 p651	／	木造 2 階建。
		201	安川家住宅	—	昭和時代初期ヵ	篠町柏原	近代和風建築 p651	／	木造 2 階建。
		202	村上家住宅	—	昭和時代初期	保津町西馬場	近代和風建築 p651	／	木造 2 階建。
		203	文覚寺本堂	—	明治 27(1894)	保津町山ノ坊	近代和風建築 p651	／	木造平屋建。
		204	桂家住宅	—	大正 13(1924)	保津町西馬場	近代和風建築 p651	／	木造 2 階建。
		205	旧保津郵便局	—	昭和 17(1942)	保津町溝行	近代和風建築 p651	／	木造 2 階建。
		206	吉川家住宅	—	昭和時代初期ヵ	千歳町毘沙門	近代和風建築 p651	／	木造平屋建。
		207	渡辺家住宅	—	江戸時代末ヵ	千歳町毘沙門	近代和風建築 p651	／	木造平屋建。
		208	島津家住宅	—	昭和時代初期	千歳町国分	近代和風建築 p651	／	木造 2 階建。
		209	島津家住宅	—	大正時代ヵ	千歳町国分	近代和風建築 p651	／	木造平屋建。
		210	寺町家住宅	—	昭和 17(1942)	千歳町国分	近代和風建築 p651	／	木造 2 階建。
		211	野々村家住宅	—	江戸時代末	千歳町千歳	近代和風建築 p651	／	木造平屋建。
		212	出雲大神宮拝殿	—	明治 11(1878)	千歳町千歳	近代和風建築 p651	／	木造平屋建。
		213	出雲大神宮中門・渡殿	—	明治 12(1879)	千歳町千歳	近代和風建築 p651	／	木造平屋建。
		214	出雲大神宮神饌所	—	昭和時代初期	千歳町千歳	近代和風建築 p651	／	木造平屋建。
		215	出雲大神宮社務所	—	昭和時代初期	千歳町千歳	近代和風建築 p651	／	木造平屋建。
		216	出雲大神宮参集殿	—	昭和時代初期	千歳町千歳	近代和風建築 p651	／	旧亀岡警察署武道場。木造平屋建。
		217	大雲寺	—	明治時代	旭町父畑	近代和風建築 p651	／	木造平屋建。
		218	川勝家住宅	—	昭和 13(1938)	旭町里ノ西	近代和風建築 p651	／	木造平屋建。

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
有形文化財	建造物（近代和風建築）	219	旭コミュニティーセンター	—	明治 39(1906)	旭町年角	近代和風建築 p651	／	旧旭小学校。木造平屋建。
		220	人見家住宅	—	昭和時代初期	馬路町住吉	近代和風建築 p651	／	木造平屋建。
		221	倉庫	—	昭和 11(1936)	千代川町川関	近代和風建築 p651	／	木造平屋建。
		222	俣野家住宅	—	江戸時代末	千代川町北ノ庄	近代和風建築 p651	／	木造平屋建。
		223	佐藤家住宅	—	明治 30 ～ 35 (1897 ～ 1902)	吉川町吉田	近代和風建築 p651	／	旧佐藤医院。木造平屋建。
		224	大石家住宅	—	昭和時代初期	薗田野町佐伯	近代和風建築 p651	／	木造 2 階建。
		225	大石酒造	—	昭和 27(1952)	薗田野町佐伯	近代和風建築 p651	／	木造 2 階建。
		226	大石家住宅	—	明治 30 年代 (1897 ～ 1906)	薗田野町佐伯	近代和風建築 p651	／	木造平屋建。
		227	旧佐伯郵便局	—	大正時代末期	薗田野町佐伯	近代和風建築 p651	／	木造 2 階建。
		228	薗田野町自治会館	—	昭和時代初期	薗田野町佐伯	近代和風建築 p651	／	旧薗田野町支所。木造 2 階建。
		229	森家住宅	—	明治時代	薗田野町奥条	近代和風建築 p651	／	木造平屋建。
		230	藤村家住宅	—	昭和時代初期	宮前町猪倉	近代和風建築 p651	／	木造平屋建。
		231	森川家住宅	—	昭和時代初期	宮前町宮川	近代和風建築 p651	／	木造 2 階建。
		232	井内家住宅	—	昭和 2(1927)	宮前町宮川	近代和風建築 p651	／	木造 2 階建。
		233	日慈谷神社本殿	—	江戸時代末ヵ	東本梅町赤熊	近代和風建築 p651	／	木造平屋建。
		234	日慈谷神社拝殿	—	江戸時代末ヵ	東本梅町赤熊	近代和風建築 p651	／	木造平屋建。
		235	中川家住宅	—	昭和時代初期	東本梅町赤熊	近代和風建築 p651	／	木造 2 階建。
		236	宮前自治会館	—	昭和時代初期	宮前町宮川	近代和風建築 p651	／	旧役場。木造 2 階建。
		237	長尾家住宅	—	明治時代	吉川町吉田	近代和風建築 p651	／	木造 2 階建。
		238	美馬家住宅	—	明治時代	吉川町吉田	近代和風建築 p651	／	木造 2 階建。
		239	上島家住宅	—	昭和時代初期	吉川町吉田	近代和風建築 p651	／	木造 2 階建。
		240	上島家住宅	—	大正時代末	吉川町吉田	近代和風建築 p651	／	木造 2 階建。
		241	長尾家住宅	—	大正時代	吉川町吉田	近代和風建築 p651	／	木造 2 階建。
		242	美馬家住宅	—	大正時代ヵ	吉川町吉田	近代和風建築 p651	／	木造 2 階建。
		243	大釜家住宅	—	大正 2(1913)	大井町並河	近代和風建築 p651	／	木造 2 階建。
		244	並河家住宅	—	明治時代	大井町並河	近代和風建築 p651	／	木造 2 階建。

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
有形文化財	建造物（近代和風建築）	245	並河家住宅	—	明治 25(1892)	大井町並河	近代和風建築 p651	／	木造 2 階建。
		246	飯田家住宅	—	明治時代～大正時代	大井町並河	近代和風建築 p651	／	木造平屋建。
		247	田中家住宅	—	明治 20(1887) 頃	大井町並河	近代和風建築 p652	／	木造平屋建。
		248	渡辺家住宅	—	江戸時代末	大井町北金岐	近代和風建築 p652	／	木造平屋建。
		249	出雲神社本殿	—	昭和 3(1928)	本梅町平松	近代和風建築 p652	／	木造平屋建。
		250	高家住宅	—	大正時代前期	東別院町東掛	近代和風建築 p652	／	木造平屋建。
		251	高家住宅	—	明治時代	東別院町東掛	近代和風建築 p652	／	木造平屋建。
		252	室家住宅	—	昭和 40(1965)	東別院町東掛	近代和風建築 p652	／	木造 2 階建。
		253	徳円寺	—	昭和時代初期	東別院町栢原	近代和風建築 p652	／	木造平屋建。
		254	横山家住宅	—	明治時代後期	東別院町鎌倉	近代和風建築 p652	／	木造平屋建。
		255	長澤家住宅	—	昭和 27(1952)	東別院町鎌倉	近代和風建築 p652	／	木造平屋建。
		256	鎌倉神社拝殿	—	大正 12(1923)	東別院町鎌倉	近代和風建築 p652	／	木造平屋建。
		257	鎌倉神社舞台	—	大正 12(1923)	東別院町鎌倉	近代和風建築 p652	／	木造平屋建。
		258	佐々木家住宅	—	昭和 9(1934)	東別院町鎌倉	近代和風建築 p652	／	木造平屋建。
		259	福岡家住宅	—	明治時代後期	曽我部町寺	近代和風建築 p652	／	木造平屋建。
		260	三好家住宅	—	昭和 40(1965)	曽我部町寺	近代和風建築 p652	／	木造 2 階建。
		261	走田神社本殿	—	明治 12(1879)	余部町走田	近代和風建築 p652	／	木造平屋建。
		262	走田神社弊殿	—	明治 12(1879)	余部町走田	近代和風建築 p652	／	木造平屋建。
		263	走田神社社務所	—	江戸時代後期	余部町走田	近代和風建築 p652	／	木造平屋建。
		264	玉田家住宅	—	江戸時代後期	曽我部町穴太	近代和風建築 p652	／	旧斉藤家住宅。木造平屋建。
		265	斉藤家住宅	—	江戸時代後期	曽我部町穴太	近代和風建築 p652	／	木造 2 階建。
		266	犬飼公民館	—	昭和時代戦後	曽我部町犬飼	近代和風建築 p652	／	木造平屋建。
		267	犬飼天満宮拝殿	—	明治 43(1910)	曽我部町犬飼	近代和風建築 p652	／	木造平屋建。
		268	山王寺本堂	—	明治時代後期	曽我部町犬飼	近代和風建築 p652	／	木造平屋建。
		269	山王寺門	—	明治時代後期	曽我部町犬飼	近代和風建築 p652	／	木造平屋建。
		270	山王寺庫裏	—	明治時代後期	曽我部町犬飼	近代和風建築 p652	／	木造平屋建。

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
有形文化財	建造物（近代和風建築）	271	素盞嗚神社	—	昭和 14(1939)	西別院町笑路	近代和風建築 p652	／	木造平屋建。
		272	西光寺	—	昭和時代初期	西別院町笑路	近代和風建築 p652	／	木造平屋建。
		273	酒井家住宅	—	明治時代	西別院町犬甘野	近代和風建築 p652	／	木造平屋建。
		274	常泉寺	—	明治時代	西別院町犬甘野	近代和風建築 p652	／	木造平屋建。
		275	天理教丹湯分教会	—	明治 36(1903)	東別院町湯谷	近代和風建築 p652	／	木造平屋建。
		276	鍬山神社絵馬堂	—	明治時代後期	上矢田町岩田	近代和風建築 p652	／	木造平屋建。
		277	鍬山神社社務所	—	明治時代後期	上矢田町岩田	近代和風建築 p652	／	木造平屋建。
		278	鍬山神社拝殿	—	明治時代後期	上矢田町岩田	近代和風建築 p652	／	木造平屋建。
		279	大本教万祥殿	—	昭和 33(1958)	古世町	近代和風建築 p652	／	木造平屋建。
		280	佐路野家住宅	—	昭和時代初期	横町	近代和風建築 p652	／	木造 2 階建。
		281	関家住宅	—	昭和時代初期	横町	近代和風建築 p652	／	木造 2 階建。
		282	浅井家住宅	—	明治 8(1875)	横町	近代和風建築 p652	／	木造平屋建。
		283	糟谷家住宅	—	昭和時代初期	横町	近代和風建築 p652	／	木造平屋建。
		284	中村家住宅	—	昭和時代初期	西竪町	近代和風建築 p652	／	木造 2 階建。
		285	大道金物店	—	昭和時代初期	横町	近代和風建築 p652	／	木造 2 階建。
		286	天理教亀岡大教会	—	昭和時代初期	横町	近代和風建築 p652	／	木造 2 階建。
		287	沼田モータース	—	明治 8(1875)	新町	近代和風建築 p652	／	木造平屋建。
		288	形原神社本殿	—	明治 13(1880) 頃	横町	近代和風建築 p652	／	木造平屋建。
		289	形原神社拝殿	—	明治 13(1880) 頃	横町	近代和風建築 p652	／	木造平屋建。
		290	形原神社手水舎	—	明治 13(1880) 頃	横町	近代和風建築 p652	／	木造平屋建。
		291	形原神社社務所	—	明治 13(1880) 頃	横町	近代和風建築 p652	／	木造平屋建。
		292	西垣家住宅	—	昭和時代初期	本町	近代和風建築 p652	／	木造 2 階建。
		293	相原家住宅	—	明治時代後期	西町	近代和風建築 p652	／	木造 2 階建。
		294	内藤印刷	—	明治 38(1905)	西町	近代和風建築 p652	／	木造 2 階建。
		295	京都信用保証協会亀岡支所	—	昭和 10(1935)	北町	近代和風建築 p652	／	旧亀岡郵便局。木造 2 階建。
		296	玉川楼	—	昭和時代初期	追分町	近代和風建築 p652	／	木造 2 階建。
		297	垂水家住宅	—	大正時代	河原町	近代和風建築 p652	／	木造平屋建。
		298	菱田家住宅	—	大正 11(1922)	横町	近代和風建築 p652	／	
		299	山金楼	—	大正時代	—	近代和風建築 p652	／	
		300	楽々荘	光明文化芸術株式会社	明治 31 ～ 40 (1898 ～ 1907)	北町	近代和風建築 p652	●	旧田中源太郎家住宅。木造平屋建。

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
有形文化財	建造物（近代化遺産）	301	森林組合事務所	亀岡市	昭和 3(1928)	横町	近代化遺産 p27・145	／	旧：亀岡信用組合事務所。木造 2 階建。
		302	山金楼	個人	大正時代	新町	近代化遺産 p75・146	／	木造 2 階建。瓦葺。
		303	関酒造仕込蔵	—	明治時代	紺屋町	近代化遺産 p146	／	土蔵造。小屋組はハイブリットトラス・キングポストトラス。
		304	関酒造槽蔵（フナグラ）	—	明治時代	紺屋町	近代化遺産 p146	／	土蔵造。
		305	関酒造酒母蔵（モトグラ）	—	明治時代	紺屋町	近代化遺産 p146	／	土蔵造。棟札あり。
		306	王子橋（めがね橋）	国（建設省）	明治 17(1884)	王子	近代化遺産 p59・146	／	石造アーチ橋。長さ 28.4m。幅 6.1m。「京都宮津間車道開鑿工事」による石橋の一つ。
		307	旧京都鉄道橋梁及び隧道	—	明治 32(1899)	—	近代化遺産 p148	／	石・煉瓦造。
		308	JR 千代川駅舎	—	昭和 24(1949)	—	近代化遺産 p148	／	木造平屋建。
		309	鵜飼第一トンネル	西日本旅客鉄道株式会社	明治 32(1899)	—	近代化遺産 p55・148	／	煉瓦造イギリス積。延長 147.9m。昭和 4 年に新トンネル（C 造）設置で入口側坑門部消滅。
		310	鵜飼第二トンネル	西日本旅客鉄道株式会社	明治 32(1899)	—	近代化遺産 p55・148	／	煉瓦造イギリス積。延長 54.3m。
		311	鵜飼第三トンネル	西日本旅客鉄道株式会社	明治 32(1899)	—	近代化遺産 p55・148	／	煉瓦造イギリス積。延長 87.5m。
		312	朝日トンネル	西日本旅客鉄道株式会社	明治 32(1899)	—	近代化遺産 p55・148	／	煉瓦造イギリス積。延長 499.1m。入口側坑門に額銘「朝日隧道東口」。
		313	第一地蔵トンネル	西日本旅客鉄道株式会社	明治 32(1899)	—	近代化遺産 p55・148	／	煉瓦造イギリス積。延長 83.7m。
		314	第二地蔵トンネル	西日本旅客鉄道株式会社	明治 32(1899)	—	近代化遺産 p55・149	／	煉瓦造イギリス積。延長 236.2m。
		315	旧佐伯郵便局	—	昭和時代初期	薙田野町佐伯	近代化遺産 p149	／	木造 2 階建。
		316	保津郵便局	—	明治時代初期	保津町溝行	近代化遺産 p149	／	木造 2 階建。
		317	沼田家住宅	—	明治 22(1889)	新町	近代化遺産 p149	／	旧：旅籠郵便局。木造 2 階建。
		318	楽々荘	光明文化芸術株式会社	明治 31 ～ 40（1898 ～ 1907）頃	北町	近代化遺産 p99・149	●	旧：田中源太郎邸。洋館：煉瓦造 2 階建。瓦葺。日本館：木造平屋建。瓦葺。玄関：木造平屋建。瓦葺。
		319	京都信用保証協会亀岡支所	京都信用保証協会	昭和 10(1935)	北町	近代化遺産 p71・149	／	旧：亀岡郵便局。木造平屋建。瓦葺。
		320	堰堤（愛宕谷川）	—	昭和 8(1933)	—	近代化遺産 p150	／	練石積堰堤。法高 6.0m。延長 21.0m。

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
有形文化財	建造物（近代化遺産）	321	堰堤（犬飼川）	—	昭和 13(1938)	—	近代化遺産 p150	／	練石積堰堤。法高 10.0m。延長 40.0m。
		322	堰堤（山内川）	—	昭和 13(1938)	—	近代化遺産 p150	／	練石積堰堤。法高 5.0m。延長 30.1m。
		323	堰堤（堅谷川）	—	昭和 13(1938)	—	近代化遺産 p150	／	練石積堰堤。法高 5.8m。延長 23.5m。
		324	堰堤（神蔵川）	—	昭和 14(1939)	—	近代化遺産 p150	／	練石積堰堤。法高 5.0m。延長 36.0m。
		325	堰堤（犬飼川）	—	昭和 14(1939)	—	近代化遺産 p150	／	練石積堰堤。法高 10.0m。延長 59.0m。
		326	堰堤（七谷川）	—	昭和 17(1942)	—	近代化遺産 p150	／	栗石コンクリート堰堤。
		327	堰堤（紀三井谷川）	—	昭和 20(1945)	—	近代化遺産 p150	／	土堰堤。法高 8.0m。延長 47.0m。
		328	旭町自治会館	—	明治 39(1906)	旭町年角	近代化遺産 p150	／	旧：旭小学校。木造 2 階建。
		329	青葉学園園舎	—	大正時代頃	—	近代化遺産 p151	／	旧：薙田野小学校体育館。小学校体育館を移築と伝える。木造平屋建。
		330	千歳幼稚園舎	—	—	—	近代化遺産 p151	／	旧：千歳小学校。木造平屋建。
		331	出雲大神宮参集殿	—	—	千歳町千歳	近代化遺産 p152	／	旧：亀岡警察署武道場。木造平屋建。改造大。
		332	菱田邸（理想郷社）	個人	大正 11(1922)	横町	近代化遺産 p110・153	／	木造 2 階建。瓦葺。洋風の応接間・玄関をもつ中廊下型住宅。壁は全体をドイツ壁とする。
		333	広小路文化住宅	—	昭和 3(1928)	—	近代化遺産 p153	／	木造 2 階建。亀山城跡に建てられた洋館をもつ文化住宅群。
		334	薙田野自治会（佐伯灯籠資料館）	—	昭和 26(1951)	薙田野町佐伯	近代化遺産 p153	／	旧：薙田野町支所。木造 2 階建。下見板張り。
		335	楽々荘洋館	光明文化芸術株式会社	明治 31(1898) 頃	北町	近代化遺産 p168	●	煉瓦造一部木造 2 階建。瓦葺。
		336	楽々荘日本館	光明文化芸術株式会社	明治 31(1898) 頃	北町	近代化遺産 p168	●	木造平屋建。瓦葺。
		337	楽々荘玄関	光明文化芸術株式会社	明治 31(1898) 頃	北町	近代化遺産 p168	●	木造平屋建。瓦葺。
	美術工芸品（絵画）	338	白衣観音像	光忠寺	室町時代初期	古世町	資料編第 4 巻 p244	＊	1 幅。絹本着色。縦 75.7cm。横 35.5cm。府暫定登録名称「絹本着色十一面観音像」。
		339	仏涅槃図	光忠寺	室町時代前期	古世町	—	＊■	1 幅。絹本着色。縦 154.2cm。横 120.5cm。
		340	仏涅槃図	円通寺	鎌倉時代末期	紺屋町	資料編第 4 巻 p245	＊■	1 幅。絹本着色。縦 159.5cm。横 185.5cm。

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
有形文化財	美術工芸品（絵画）	341	六字名号二十五菩薩来迎図	西光寺	室町時代	安町	資料編第4巻 p246	／	1幅。紙本着色。縦135.5cm。横64.5cm。
		342	釈迦十六善神像	徳寿院・宝泉寺・如意寺大般若経保存会	鎌倉時代末期	篠町山本	資料編第4巻 p248	■	1幅。絹本着色。縦117.5cm。横58.0cm（描表装周囲1.5cm幅を含む）。
		343	出雲神社牓示図	出雲大神宮	鎌倉時代	千歳町千歳	資料編第4巻 p249	■	1幅。紙本着色。縦58.5cm。横82.5cm。現在亀岡市文化資料館寄託。市指定文化財名称「出雲神社牓示図並びに関係文書」（1幅・2通）。
		344	地蔵菩薩来迎図	金光寺	鎌倉時代	千歳町千歳	資料編第4巻 p251	／	1幀。絹本着色。縦96.5cm。横33.0cm。
		345	雪江宗深像	龍潭寺	文明5(1473)	薗田野町太田	資料編第4巻 p251	◆	1幅。絹本着色。縦104.5cm。横46.5cm。府指定文化財名称「特芳禅傑関係資料」（全21点）。
		346	特芳禅傑像	龍潭寺	室町時代	薗田野町太田	資料編第4巻 p252	◆	1幅。絹本着色。縦104.5cm。横46.5cm。自賛とあることから永正3（1506）年の特芳死没以前の作。府指定文化財名称「特芳禅傑関係資料」（全21点）。
		347	特芳禅傑像	龍潭寺	室町時代	薗田野町太田	資料編第4巻 p253	◆	1幅。絹本着色。縦104.0cm。横51.3cm。賛文にある「庚戌」は延徳2（1490）年と推定される。府指定文化財名称「特芳禅傑関係資料」（全21点）。
		348	松井雲江像	龍潭寺	享禄3(1530)	薗田野町太田	資料編第4巻 p254	◆	1幅。絹本着色。縦88.0cm。横37.3cm。
		349	大通和尚像	瑞巌寺	長享2(1488)	薗田野町奥条	資料編第4巻 p256	＊	1幅。絹本着色。縦95.8cm。横46.2cm。府暫定登録名称「絹本著色大通令為像」（3点）。
		350	絹本著色大通令為像	瑞巌寺	明暦4(1658)	薗田野町奥条	文化財一覧	＊	木村徳応筆。明暦四戊戌年の賛あり。
		351	絹本著色大通令為像	瑞巌寺	明暦4(1658)	薗田野町奥条	文化財一覧	＊	木村徳応筆。明暦戊戌八月八日の賛あり。
		352	釈迦十六羅漢像	法常寺	鎌倉時代末期～南北朝時代	畑野町千ヶ畑	資料編第4巻 p257	▲※	※重要美術品 1幅。絹本着色。縦113.5cm。横43.0cm。
		353	釈迦十六善神像	法常寺	室町時代初期	畑野町千ヶ畑	資料編第4巻 p258	／	1幅。絹本着色。縦110.0cm。横59.0cm。

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
有形文化財	美術工芸品（絵画）	354	仏涅槃図	金輪寺	鎌倉時代後半または宋末元初	宮前町宮川	資料編第4巻 p258	◎	1幅。絹本着色。縦245.5cm。横201.0cm。現在京都国立博物館寄託。
		355	准胝観音像	金輪寺保管	室町時代	東別院町栢原	資料編第4巻 p260	／	1軀。絹本着色。縦83.2cm。横37.8cm。現在金輪寺の什物ではない。
		356	興正菩薩（叡尊）像	東光寺	南北朝時代	曽我部町犬飼	資料編第4巻 p262	／	1幅。絹本着色。縦86.8cm。横39.3cm。
		357	釈迦十六善神像	穴太寺	南北朝時代	曽我部町穴太	資料編第4巻 p263	＊	1幅。絹本着色。縦108.5cm。横59.5cm。
		358	叭々鳥図絵馬	大井神社	昭和時代初期	大井町並河	資料編第4巻 p264	／	人見少華筆。1幅。板地着色。縦58.0cm。横72.8cm。
		359	波濤図	如意寺	文政12(1829)	篠町山本	資料編第4巻 p264	／	土岐済美筆。12面。紙本墨画淡彩。各縦170.0×横92.2cm。
		360	雪景山水図	如意寺	文政12(1829)	篠町山本	資料編第4巻 p264	／	土岐済美筆。8面。紙本墨画。各縦170.0×横92.2cm（南面）。各縦170.0×横89.0cm（東面）。各縦170.0×横140.0cm（西面）。
		361	弾琴図	如意寺	文政12(1829)	篠町山本	資料編第4巻 p265	／	土岐済美筆。6面。紙本墨画淡彩。各縦170.0×横92.2cm（南面）。各縦170.0×横89.0cm（西面）。
		362	羅漢図	如意寺	文政12(1829)	篠町山本	資料編第4巻 p265	／	土岐済美筆。4面。紙本墨画淡彩。各縦170.0×横89.0cm。
		363	月に蝙蝠図	如意寺	文政12(1829)	篠町山本	資料編第4巻 p265	／	土岐済美筆。4面。紙本金地墨画。各縦24.0×横433cm。
		364	仏涅槃図	慶応寺	元禄16(1703)	馬路町池尻	資料編第4巻 p273	／	山口雪渓筆。1幅。絹本着色。縦225.0cm。横184.0cm。
		365	群鶴図	個人（へき亭）	江戸時代末期	千歳町毘沙門	資料編第4巻 p274	＊	岸連山筆。襖8面。紙本墨画淡彩。各縦169.4×横93.0cm（四面）。各縦169.4×横69.0cm（4面）。府暫定登録名称「岸連山筆襖絵及び関係資料」（当群鶴図のほか、画工1枚、書状1通、二面衝立1基）。
		366	牡丹図	法常寺	江戸時代初期	畑野町千ヶ畑	資料編第4巻 p276	／	伝狩野山雪筆。2面。板地着色。各縦173.3×横84.7cm。
		367	柏に雉子図	法常寺	江戸時代初期	畑野町千ヶ畑	資料編第4巻 p276	／	伝狩野山雪筆。2面。板地着色。各縦173.3×横84.7cm。

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
有形文化財	美術工芸品（絵画）	368	芙蓉図	法常寺	江戸時代初期	畑野町千ヶ畑	資料編第4巻 p276	／	伝狩野山雪筆。2面。板地着色。各縦173.5×横84.3cm。
		369	枯木に五位鷺図	法常寺	江戸時代初期	畑野町千ヶ畑	資料編第4巻 p276	／	伝狩野山雪筆。2面。板地着色。各縦173.5×横84.3cm。
		370	釈迦三尊像	法常寺	寛政元（1789）	畑野町千ヶ畑	資料編第4巻 p279	／	勝山琢眼筆。1幅。絹本墨画淡彩。縦121.0cm。横67.2cm。
		371	芦葉達磨図	法常寺	江戸時代後期天保8(1837)	畑野町千ヶ畑	資料編第4巻 p280	／	原在中筆。1幅。絹本着色。縦106.5cm。横49.0cm。
		372	松に叭々鳥図	金輪寺	明治時代初期	宮前町宮川	資料編第4巻 p280	／	岸竹堂筆。2曲1隻。紙本墨画。縦75.6cm。横104.4cm。
		373	関羽図	楽音寺	明和7(1770)	東本梅町大内	資料編第4巻 p282	／	円山応挙筆。1幅。絹本着色。縦105.2cm。横39.0cm。
		374	三十六歌仙図	與能神社	貞享5(1688)・享和2(1717)	曽我部町寺	資料編第4巻 p283	／	36面。紙本着色。縦37.8cm。横26.4cm。絵師は宮廷絵師土佐派に連なるものと推定される。
		375	梅に鶯図	與能神社	江戸時代	曽我部町寺	資料編第4巻 p284	／	円山応瑞筆。1幅。紙本墨画。縦85.3cm。横27.5cm。
		376	稚児物語図	穴太寺	江戸時代前期	曽我部町穴太	資料編第4巻 p285	／	海北友雪筆。6曲1隻。紙本金地着色。各縦121.2×横47.0cm（2扇）。縦121.2×横52.5cm（4扇）。
		377	穴太寺観音縁起絵巻	穴太寺	延宝4(1676)	曽我部町穴太	資料編第4巻 p287	／	狩野永納筆。1巻。紙本着色。縦34.5cm。横1256.8cm。
		378	十六羅漢像	穴太寺	安永8(1779)	曽我部町穴太	資料編第4巻 p299	／	呉春筆。1幅。紙本着色。縦154.7cm。横82.0cm。
		379	波濤図	金剛寺	天明8(1788)	曽我部町穴太	資料編第4巻 p300	◎	円山応挙筆。28幅。紙本墨画淡彩。各縦173.6×横91.9cm。元、襖。
		380	波濤図	金剛寺	天明8(1788)	曽我部町穴太	資料編第4巻 p300	／	円山応挙筆。2曲1隻。紙本墨画。各縦173.6×横183.6cm。元、襖。
		381	山水図	金剛寺	天明8(1788)	曽我部町穴太	資料編第4巻 p300	◎	円山応挙筆。6幅。紙本墨画。各縦173.6×横91.9cm。元、襖。
		382	山水図	金剛寺	天明8(1788)	曽我部町穴太	資料編第4巻 p300	◎	円山応挙筆。1幅。紙本墨画。縦175.1×横80.3cm。元、壁貼付。

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
有形文化財	美術工芸品（絵画）	383	山水図	金剛寺	天明 8(1788)	曽我部町穴太	資料編第 4 巻 p300	◎	円山応挙筆。1 幅。紙本墨画。縦 124.9 ×横 177.8cm。元、床貼付正面。
		384	山水図	金剛寺	天明 8(1788)	曽我部町穴太	資料編第 4 巻 p300	◎	円山応挙筆。2 幅。紙本墨画。各縦 128.4 ×横 48.4cm。元、床貼付袖壁。
		385	山水図	金剛寺	天明 8(1788)	曽我部町穴太	資料編第 4 巻 p300	◎	円山応挙筆。1 幅。紙本墨画。縦 232.5 ×横 183.9cm。元、違棚貼付正面。
		386	山水図	金剛寺	天明 8(1788)	曽我部町穴太	資料編第 4 巻 p300	◎	円山応挙筆。2 幅。紙本墨画。各縦 232.5 ×横 49.2cm。元、違棚貼付袖壁。
		387	群仙図	金剛寺	天明 8(1788)	曽我部町穴太	資料編第 4 巻 p300	◎	円山応挙筆。6 幅。紙本墨画淡彩。各縦 173.6 ×横 91.9cm。元、仕切襖。
		388	群仙図	金剛寺	天明 8(1788)	曽我部町穴太	資料編第 4 巻 p300	◎	円山応挙筆。2 幅。紙本墨画淡彩。各縦 174.5 ×横 89.1cm。元、押入襖。
		389	群仙図	金剛寺	天明 8(1788)	曽我部町穴太	資料編第 4 巻 p300	◎	円山応挙筆。1 幅。紙本墨画淡彩。縦 175.0 ×横 80.4cm。元、壁貼付。
		390	群仙図	金剛寺	天明 8(1788)	曽我部町穴太	資料編第 4 巻 p300	◎	円山応挙筆。1 幅。紙本墨画淡彩。縦 233.9 ×横 183.3cm。元、床貼付正面。
		391	群仙図	金剛寺	天明 8(1788)	曽我部町穴太	資料編第 4 巻 p300	◎	円山応挙筆。2 幅。紙本墨画淡彩。各縦 234.0 ×横 49.5cm。元、床貼付袖壁。
		392	神馬図絵馬	小幡神社	享和 3(1803)	曽我部町穴太	資料編第 4 巻 p308	◆	円山応挙・円山応瑞筆。1 面。板地着色。縦 54.0cm。横 78.5cm。府指定文化財名称「板絵著色繋馬図」。
		393	絹本著色菅沼定昭寿像	天満神社	—	京町	文化財一覧	■	1 幅。亀岡市文化資料館寄託。
		394	絹本著色仏涅槃図	極楽寺	—	河原林町勝林島	文化財一覧	◆	1 幅。
		395	絹本著色釈迦十六善神像	千手寺	—	薙田野町鹿谷	文化財一覧	＊	1 幅。
	美術工芸品（彫刻）	396	阿弥陀三尊立像	昌寿院	鎌倉時代 13 世紀後半～14 世紀	三宅町	資料編第 4 巻 p314	＊	3 軀。木造。像高 79.2cm（中尊）・54.5cm（右脇侍）・49.7cm（左脇侍）。府暫定登録名称「木造阿弥陀如来立像」・「木造観音菩薩立像」・「木造勢至菩薩立像」。

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
有形文化財	美術工芸品（彫刻）	397	毘沙門天立像	聖隣寺	鎌倉時代（鎌倉時代の半ば以降）	東竪町	資料編第4巻 p315	■	1軀。木造。像高111.2cm。
		398	阿弥陀如来立像	称名寺	平安時代 12世紀後半	西竪町	資料編第4巻 p316	／	1軀。木造。像高72.4cm。
		399	阿弥陀如来坐像	称名寺	平安時代 11世紀後半～12世紀	西竪町	資料編第4巻 p317	／	1軀。木造。像高51.8cm。
		400	阿弥陀如来立像	称名寺	室町時代 14世紀後半～15世紀	西竪町	資料編第4巻 p318	／	1軀。木造。像高68.7cm。
		401	聖観音立像	称名寺	鎌倉時代（あるいは南北朝時代） 13世紀末～14世紀	西竪町	資料編第4巻 p319	／	1軀。木造。像高58.4cm。
		402	如意輪観音坐像	宗堅寺	永仁6(1298)	西竪町	資料編第4巻 p320	◆	法橋賢清作。1軀。木造。像高101.5cm。
		403	地蔵菩薩立像	宗福寺	平安時代 10世紀半ば	矢田町	資料編第4巻 p322	＊	1軀。木造。像高95.7cm。
		404	阿弥陀如来坐像	宗福寺	平安時代 12世紀前半	矢田町	資料編第4巻 p323	／	1軀。木造。像高69.5cm。
		405	阿弥陀如来立像	専念寺	鎌倉時代 13世紀以降	塩屋町	資料編第4巻 p324	■	1軀。木造。像高97.0cm。
		406	阿弥陀如来坐像	専念寺	鎌倉時代（鎌倉時代初期） 13世紀前半	塩屋町	資料編第4巻 p324	／	1軀。木造。像高51.1cm。
		407	薬師如来坐像	大円寺	鎌倉時代	西町	資料編第4巻 p325	■	1軀。鉄造。像高51.0cm。
		408	地蔵菩薩半跏像	地蔵堂（安置）	平安時代 12世紀前半	西町	資料編第4巻 p326	／	1軀。木造。像高（坐高）83.2cm。北町の地蔵といわれる。
		409	薬師如来立像	西光寺	平安時代 10世紀	安町	資料編第4巻 p327	／	1軀。木造。像高42.7cm。
		410	阿弥陀如来坐像	西光寺	平安時代 12世紀	安町	資料編第4巻 p328	／	1軀。木造。像高56.5cm。
		411	釈迦如来坐像	長興寺	平安時代 10世紀後半	余部町上条	資料編第4巻 p329	／	1軀。木造。像高34.8cm。
		412	阿弥陀如来立像	法蔵寺	平安時代 11世紀	宇津根町東浦	資料編第4巻 p330	／	1軀。木造。像高99.0cm。
		413	薬師如来坐像	願成寺	平安時代 9世紀	大井町並河	資料編第4巻 p330	◆	1軀。木造。像高89.6cm。
		414	地蔵菩薩半跏像	法然寺	平安時代 12世紀末	大井町並河	資料編第4巻 p334	／	1軀。木造。像高（坐高）50.6cm。寺伝では智証大師円珍作。
		415	阿弥陀如来立像	法然寺	平安時代 12世紀後半	大井町並河	資料編第4巻 p335	／	1軀。木造。像高94.2cm。
		416	毘沙門天立像	正福寺	平安時代（平安時代末期） 12世紀	大井町並河	資料編第4巻 p336	／	1軀。木造。像高95.9cm。

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
有形文化財	美術工芸品（彫刻）	417	不動明王立像	正福寺	平安時代 12 世紀	大井町 並河	資料編第 4 巻 p336	／	1 軀。木造。像高 95.5cm。本寺の略縁起では春日作。
		418	獅子・狛犬	大井神社	室町時代	大井町 並河	資料編第 4 巻 p337	／	1 対。木造。像高 49.8 cm（獅子）・50.0 cm（狛犬）。
		419	聖観音立像	南金岐 （管理）	平安時代 （平安時代後期） 12 世紀	大井町 南金岐	資料編第 4 巻 p338	／	1 軀。木造。像高 101.5cm。
		420	十一面観音立像	大乗寺	鎌倉時代 13 世紀前半	大井町 南金岐	資料編第 4 巻 p339	／	1 軀。木造。像高 46.0cm。
		421	聖観音立像	嶺松寺	平安時代 （平安時代中期） 11 世紀	千代川町 北ノ庄	資料編第 4 巻 p340	／	1 軀。木造。像高 102.5cm。寺伝では恵心僧都源信作。
		422	阿弥陀如来立像	小松寺	平安時代 12 世紀後半	千代川町 千原	資料編第 4 巻 p341	／	1 軀。木造。像高 47.0cm。
		423	十一面観音立像	宗蓮寺	平安時代	篠町王子	資料編第 4 巻 p341	／	1 軀。木造。像高 73.2cm。
		424	聖観音立像	意泉院	南北朝時代 （頭部）・ 室町時代（胴部）	篠町王子	資料編第 4 巻 p342	／	1 軀。木造。像高 58.0cm。
		425	木造地蔵菩薩坐像	安置	平安時代	篠町王子	—	＊	1 軀。木造。像高 61.3cm。
		426	木造神像	王子神社	平安時代後期	篠町王子	—	＊	3 軀。木造。像高 ① 30.6cm ② 18.4cm ③ 18.4cm
		427	薬師如来坐像	如意寺	平安時代 12 世紀	篠町山本	資料編第 4 巻 p343	■	1 軀。木造。像高 105.0cm。
		428	阿弥陀如来立像	常福寺	鎌倉時代 13 世紀前半	篠町山本	資料編第 4 巻 p344	／	1 軀。木造。像高 98.6cm。
		429	釈迦如来坐像	念仏寺	鎌倉時代 （鎌倉時代初期）	篠町柏原	資料編第 4 巻 p345	■	1 軀。木造。像高 87.3cm。
		430	阿弥陀如来坐像	浄法寺奉賛会（浄法寺区）	平安時代 （平安時代後期） 12 世紀後半	篠町 浄法寺	資料編第 4 巻 p346	■	1 軀。木造。像高 97.0cm。
		431	千手観音立像	奉賛会	江戸時代	篠町 浄法寺	資料編第 4 巻 p347	／	1 軀。木造。像高 44.0cm。
		432	阿弥陀如来坐像	大恩寺	平安時代 （平安時代後期） 12 世紀前半	篠町広田	資料編第 4 巻 p348	／	1 軀。木造。像高 51.2cm。
		433	阿弥陀如来坐像	大恩寺	鎌倉時代 13 世紀後半～ 14 世紀初め	篠町広田	資料編第 4 巻 p349	／	1 軀。木造。像高 62.5cm。
		434	阿弥陀如来坐像	大恩寺	平安時代後期 （頭部）・江戸時代 （体軀） 12 世紀後半 （頭部）	篠町広田	資料編第 4 巻 p350	／	1 軀。木造。像高 53.5cm。
		435	千手観音立像	称名寺	平安時代後期 （頭部）・室町時代 （体部）	篠町森	資料編第 4 巻 p351	／	1 軀。木造。像高 166.0cm。
		436	坂上田村麻呂坐像	称名寺	江戸時代	篠町森	資料編第 4 巻 p352	／	1 軀。木造。像高 52.7cm。

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
有形文化財	美術工芸品（彫刻）	437	宙外玄果像	慶応寺	明暦 4(1658)	馬路町池尻	資料編第 4 巻 p352	／	大仏師吉野右京種久作。1 軀。木造。像高 78.0cm。
		438	毘沙門天立像	大雲寺	平安時代 11 世紀	旭町父畑	資料編第 4 巻 p354	／	1 軀。木造。像高 102.8cm。
		439	薬師如来坐像	国分寺	平安時代（平安時代後期）11 世紀	千歳町国分	資料編第 4 巻 p355	◎	1 軀。木造。像高 86.0cm。
		440	地蔵菩薩坐像	国分寺	平安時代 10 世紀	千歳町国分	資料編第 4 巻 p356	／	1 軀。木造。像高 34.3cm。
		441	行基菩薩坐像	国分寺	平安時代 11 世紀	千歳町国分	資料編第 4 巻 p357	／	1 軀。木造。像高 58.2cm。
		442	聖観音立像	養仙寺	平安時代 11 世紀	千歳町国分	資料編第 4 巻 p359	／	1 軀。木造。像高 98.5cm。
		443	地蔵菩薩立像	養仙寺	鎌倉時代	千歳町国分	資料編第 4 巻 p360	／	1 軀。木造。像高 71.6cm。
		444	十一面観音立像	極楽寺	平安時代（平安時代後期）10 世紀	千歳町千歳	資料編第 4 巻 p360	◎	1 軀。木造。像高 201.1cm。
		445	阿弥陀如来立像	極楽寺	平安時代 10 世紀	千歳町千歳	資料編第 4 巻 p362	＊	1 軀。木造。像高 101.0cm。
		446	十一面観音頭部	極楽寺	鎌倉時代	千歳町千歳	資料編第 4 巻 p363	／	1 箇。木造。全高 25.7 cm。
		447	聖観音坐像	耕雲寺	平安時代 11 世紀	千歳町千歳	資料編第 4 巻 p363	／	1 軀。木造。像高 31.2cm。
		448	地蔵菩薩立像	蔵宝寺	鎌倉時代	千歳町千歳	資料編第 4 巻 p364	／	1 軀。木造。像高 89.5cm。
		449	阿弥陀如来坐像	金光寺	平安時代 10 世紀後半	千歳町千歳	資料編第 4 巻 p365	＊	1 軀。木造。像高 85.2cm。
		450	男神（伝大国主命）坐像	出雲大神宮	平安時代 9 世紀	千歳町千歳	資料編第 4 巻 p365	◎	1 軀。木造。像高 87.1cm。国指定名称「木造男神坐像 2 躯附木造男神坐像」。
		451	男神（伝三穂津姫命）坐像	出雲大神宮	平安時代 9 世紀	千歳町千歳	資料編第 4 巻 p367	◎	1 軀。木造。像高 72.6cm。国指定名称「木造男神坐像 2 躯附木造男神坐像」。
		452	男神（伝少那毘女命）坐像	出雲大神宮	鎌倉時代	千歳町千歳	資料編第 4 巻 p369	◎	1 軀。木造。像高 63.0cm。国指定名称「木造男神坐像 2 躯附木造男神坐像」。
		453	如来坐像	宝光寺	鎌倉時代	河原林町河原尻	資料編第 4 巻 p370	／	1 軀。木造。像高 36.5cm。
		454	天縦宗受坐像	宝光寺	室町時代	河原林町河原尻	資料編第 4 巻 p371	／	1 軀。木造。像高 83.3cm。
		455	地蔵菩薩立像	延命寺	平安時代	河原林町河原尻	資料編第 4 巻 p372	／	1 軀。木造。像高 87.3cm。
		456	釈迦如来坐像	文覚寺	宝永 3(1706)	保津町	資料編第 4 巻 p373	／	1 軀。木造。像高 52.7cm。

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
有形文化財	美術工芸品（彫刻）	457	地蔵菩薩立像	養源寺	鎌倉時代	保津町訳目	資料編第4巻 p373	／	1軀。木造。像高103.2cm。
		458	如来立像	養源寺	室町時代	保津町訳目	資料編第4巻 p374	／	1軀。木造。像高24.0cm。
		459	不動明王坐像	養源寺	室町時代	保津町訳目	資料編第4巻 p375	／	1軀。木造。像高62.9cm。
		460	薬師如来坐像	神蔵寺	平安時代12世紀	薗田野町佐伯	資料編第4巻 p376	◎	1軀。木造。像高95.7cm。
		461	日光・月光菩薩立像	神蔵寺	鎌倉時代13世紀	薗田野町佐伯	資料編第4巻 p377	■	2軀。木造。像高156.0cm（左･日光）･157.0cm（右･月光）。
		462	男神坐像	薗田野神社	平安時代10世紀	薗田野町佐伯	資料編第4巻 p378	／	1軀。木造。像高64.5cm。
		463	女神坐像	薗田野神社	平安時代（平安時代末期）	薗田野町佐伯	資料編第4巻 p379	／	1軀。木造。像高46.5cm。
		464	僧形坐像	薗田野神社	平安時代（平安時代末期）	薗田野町佐伯	資料編第4巻 p380	／	1軀。木造。像高53.2cm。
		465	千手観音坐像	千手寺	鎌倉時代13世紀	薗田野町鹿谷	資料編第4巻 p381	■	1軀。木造。像高96.5cm。
		466	聖観音立像	法常寺	平安時代12世紀前半	畑野町千ヶ畑	資料編第4巻 p382	／	1軀。木造。像高102.0cm。
		467	如来坐像	法常寺	平安時代12世紀	畑野町千ヶ畑	資料編第4巻 p383	／	1軀。木造。像高38.3cm。
		468	馬頭観音立像	桂林寺	平安時代（平安時代後期）10世紀～11世紀	本梅町平松	資料編第4巻 p383	＊■	1軀。木造。像高124.5cm。
		469	阿弥陀如来立像	谷性寺	平安時代12世紀前半	宮前町猪倉	資料編第4巻 p384	／	1軀。木造。像高91.0cm。
		470	金剛力士立像	金輪寺	鎌倉時代～江戸時代（阿形）・正安3(1301)（吽形）	宮前町宮川	資料編第4巻 p385	◆	2軀。木造。巧匠定有作（吽形像）。像高317.3cm（阿形）・302.3cm（吽形）。
		471	元三大師坐像	金輪寺	安永9(1780)	宮前町宮川	資料編第4巻 p387	／	長谷川文蔵信孝作。1軀。木造。像高43.0cm。
		472	薬師如来坐像	宝林寺	平安時代～鎌倉時代	宮前町神前	資料編第4巻 p388	◎	1軀。木造。像高118.3cm。
		473	釈迦如来坐像	宝林寺	鎌倉時代（鎌倉時代初期）	宮前町神前	資料編第4巻 p389	◎	1軀。木造。像高142.5cm。
		474	阿弥陀如来像	宝林寺	平安時代12世紀	宮前町神前	資料編第4巻 p390	◎	1軀。木造。像高136.6cm。
		475	多聞天立像	浄念寺	平安時代後期（頭部は江戸時代）12世紀	宮前町神前	資料編第4巻 p391	／	1軀。木造。像高167.5cm。広目天立像と一具。
		476	広目天立像	浄念寺	平安時代後期（頭部は江戸時代）12世紀	宮前町神前	資料編第4巻 p391	／	1軀。木造。像高166.0cm。多聞天立像と一具。
		477	阿弥陀如来坐像	浄念寺	平安時代10世紀	宮前町神前	資料編第4巻 p394	／	1軀。木造彩色。像高51.6cm。
		478	釈迦如来坐像	春現寺	鎌倉時代	東別院町東掛	資料編第4巻 p394	＊	1軀。木造。像高49.4cm。

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
有形文化財	美術工芸品（彫刻）	479	伝千手観音立像	春現寺	室町時代	東別院町東掛	資料編第4巻 p395	／	1軀。木造。像高82.5cm。
		480	阿弥陀如来坐像	安楽寺	平安時代 10世紀前半	東別院町大野	資料編第4巻 p396	＊■	1軀。木造。像高85.0cm。
		481	二天立像	安楽寺	平安時代 10世紀	東別院町大野	資料編第4巻 p398	＊	2軀。木造。像高97.0cm（右像）・86.0cm（左像）。府暫定登録名称「木造伝毘沙門天立像」・「木造伝不動明王立像」。
		482	十一面観音坐像	甘露寺	平安時代 9世紀後半	東別院町南掛	資料編第4巻 p399	◆	1軀。木造。像高87.6cm。
		483	天部形立像	甘露寺	平安時代 （平安時代前期） 9世紀後半～ 10世紀初め	東別院町南掛	資料編第4巻 p400	／	2軀。木造。像高94.2cm（その1，増長天ヵ）・97.8cm（その2，毘沙門天ヵ）。
		484	十一面観音立像	甘露寺	平安時代 天徳3(959)ヵ	東別院町南掛	資料編第4巻 p401	／	1軀。木造。像高80.4cm。別院に仁和寺領弥勒寺別院が設定された天徳3年（959）ごろの製作と考えられる。
		485	阿弥陀如来坐像	甘露寺	鎌倉時代（頭部）・ 元禄5(1692) （体部）	東別院町南掛	資料編第4巻 p402	／	1軀。木造。像高133.6cm。
		486	阿弥陀如来坐像	金輪寺	平安時代 10世紀後半～ 11世紀初め	東別院町栢原	資料編第4巻 p403	＊■	1軀。木造。像高50.5cm。
		487	如来坐像	金輪寺	鎌倉時代	東別院町栢原	資料編第4巻 p404	■	1軀。木造。像高49.0cm。
		488	薬師如来坐像	金輪寺	南北朝時代	東別院町栢原	資料編第4巻 p405	／	1軀。木造。像高40.5cm。
		489	十一面観音坐像	金輪寺	南北朝時代	東別院町栢原	資料編第4巻 p405	／	1軀。木造。像高45.5cm。
		490	如意輪観音坐像	金輪寺	鎌倉時代 （鎌倉時代後期）	東別院町栢原	資料編第4巻 p406	■	1軀。木造。像高55.3cm。
		491	薬師如来立像	極楽寺	平安時代 （平安時代初期） 9世紀後半～ 10世紀前半	西別院町大槻並	資料編第4巻 p407	＊	1軀。木造。像高76.8cm。
		492	如来立像	万願寺区	平安時代 （平安時代後期） 11世紀～12世紀	西別院町万願寺	資料編第4巻 p408	／	1軀。木造。像高76.2cm。
		493	聖観音立像	西光寺	元徳3 1331	西別院町笑路	資料編第4巻 p409	／	1軀。木造。像高56.7cm。
		494	吉祥天立像	—	平安時代 10世紀末	西別院町	資料編第4巻 p410	／	1軀。木造。像高59.0cm。
		495	如来坐像	無量寺	平安時代 10世紀後半	曽我部町寺	資料編第4巻 p411	／	1軀。木造。像高50.0cm。
		496	聖観音立像	無量寺	平安時代 10世紀	曽我部町寺	資料編第4巻 p412	◆	府指定文化財名称「木造菩薩立像（伝聖観音像）」。1軀。木造。像高171.7cm。京都国立博物館寄託。

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
有形文化財	美術工芸品（彫刻）	497	阿弥陀如来立像	無量寺	平安時代 12 世紀後期	曽我部町寺	資料編第 4 巻 p413	／	1 軀。木造。像高 154.0cm。
		498	薬師如来坐像	無量寺	鎌倉時代 13 世紀	曽我部町寺	資料編第 4 巻 p414	／	1 軀。木造。像高 53.5cm。
		499	毘沙門天立像	寺区	平安時代 11 世紀	曽我部町寺	資料編第 4 巻 p414	／	1 軀。木造。像高 91.0cm。無量寺毘沙門堂に安置。
		500	阿弥陀如来立像	穴太寺	平安時代 12 世紀後半	曽我部町穴太	資料編第 4 巻 p415	／	1 軀。木造。像高 97.7cm。
		501	仏涅槃像	穴太寺	鎌倉時代	曽我部町穴太	資料編第 4 巻 p416	■	1 軀。木造。像高 160.0cm。市指定名称「木造釈迦涅槃像」。
		502	阿弥陀如来坐像	穴太寺	鎌倉時代（頭部）・江戸時代（膝部）	曽我部町穴太	資料編第 4 巻 p416	／	1 軀。木造。像高 85.1cm。
		503	男神坐像	小幡神社	平安時代 11 世紀	曽我部町穴太	資料編第 4 巻 p417	＊	1 軀。木造。像高 83.5cm（現状）。随身像 2 軀あり。
		504	木造随身坐像　その一	小幡神社	―	曽我部町穴太	文化財一覧	＊	1 軀。
		505	木造随身坐像　その二	小幡神社	―	曽我部町穴太	文化財一覧	＊	1 軀。
		506	阿弥陀如来坐像	大井神社	南北朝時代	大井町並河	資料編第 4 巻 p419	／	1 軀。石造。像高 81.0cm。
		507	神宮寺参道脇石仏群	南金岐区	鎌倉時代～江戸時代	大井町南金岐	資料編第 4 巻 p420	／	14 軀。石造。像高 53.5 ～ 20.0cm。鎌倉時代に制作されたのは 4 軀ほど。
		508	阿弥陀如来坐像	小金岐区	鎌倉時代	大井町小金岐	資料編第 4 巻 p421	／	1 軀。石造。像高 52.5cm。
		509	八ツ岩権現二十一尊磨崖仏	嶺松寺	南北朝時代（鎌倉時代～室町時代）	千代川町北ノ庄	資料編第 4 巻 p421	■	1 石。石造。先端全長 460 cm。磨滅した現状では制作年代の特定は困難。
		510	薬師如来坐像	北ノ庄区	鎌倉時代	千代川町北ノ庄	資料編第 4 巻 p423	／	1 軀。石造。像高 113.0cm。
		511	阿弥陀如来坐像・地蔵菩薩坐像	松尾神社	鎌倉時代	千代川町湯井	資料編第 4 巻 p424	／	2 軀。石造。像高（いずれも地表面からの高さ）49.0cm（阿弥陀）・49.5 cm（地蔵）。両像は石質などから同時の制作と思われる。
		512	時塚石仏群	―	鎌倉時代（中尊）	馬路町時塚	資料編第 4 巻 p425	／	石造。像高 78.0cm（中尊）。地蔵菩薩立像 2 軀・中尊・六地蔵石龕仏・地蔵菩薩立像 2 軀・その他が並ぶ。
		513	大日如来坐像	蔵宝寺	鎌倉時代	千歳町千歳	資料編第 4 巻 p426	／	1 軀。石造。像高 56.0cm。
		514	九体阿弥陀如来坐像・不動明王立像	耕雲寺	鎌倉時代	千歳町千歳	資料編第 4 巻 p427	／	10 軀。石造。像高 77.5 ～ 56.0 cm。
		515	阿弥陀如来坐像	犬甘野区	康永 3(1344)	西別院町犬甘野	資料編第 4 巻 p428	／	1 軀。石造。像高 22.7cm。
		516	木造天部形立像	西別院町犬甘野	―	西別院町犬甘野	文化財一覧	＊	1 軀。

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
有形文化財	美術工芸品（彫刻）	517	地蔵菩薩坐像	無量寺	鎌倉時代	曽我部町寺	資料編第4巻 p429	／	1軀。石造。像高56.0cm。
		518	地蔵菩薩坐像	法貴区	室町時代	曽我部町法貴	資料編第4巻 p429	／	1軀。石造。像高45.0cm。
		519	木造師子狛犬	愛宕神社	鎌倉時代 13世紀前半	千歳町国分	文化財一覧	＊■	1対。
		520	木造師子狛犬	愛宕神社	鎌倉時代 13世紀後半	千歳町国分	文化財一覧	＊■	1対。
		521	木造大山咋命坐像	請田神社	—	保津町立岩	文化財一覧	＊	1軀。
		522	木造市杵島姫坐像	請田神社	—	保津町立岩	文化財一覧	＊	1軀。
		523	木造男神坐像	日慈谷神社	—	東本梅町赤熊	文化財一覧	＊	1軀。
		524	木造女神坐像	日慈谷神社	—	東本梅町赤熊	文化財一覧	＊	1軀。
		525	木造男神坐像	御霊神社	—	薗田野町佐伯	文化財一覧	＊	1軀。
	美術工芸品（工芸品）	526	鰐口	金光寺	寛文9(1669)	千歳町千歳	資料編第4巻 p433	／	筑後大掾氏重作。1口。銅造。径27.0dm(横幅)。厚7.8cm。
		527	梵鐘	桂林寺	天文11(1542)	本梅町平松	資料編第4巻 p434	◇■	大工三条藤原国久作。1口。銅造。総高100.0cm。
		528	梵鐘	金輪寺	天文3(1534)	宮前町宮川	資料編第4巻 p435	■	1口。銅造。総高104.7cm。
		529	鰐口	金輪寺	永徳2(1382)	宮前町宮川	資料編第4巻 p436	◆	大工沙弥円道作。1口。銅造。径44.5cm。
		530	鰐口	無量寺	慶長2(1597)	曽我部町寺	資料編第4巻 p437	／	鉄造。径24.3cm。
		531	刀	天満宮社	室町時代 (室町時代末期)	馬路町池尻	資料編第4巻 p438	■	銘村正(2代目作ヵ)。1口。鉄鍛造。刃長58.6cm。市指定名称「二代目村正脇差」。
		532	懸仏	小松寺	鎌倉時代	千代川町千原	資料編第4巻 p440	／	1面。石造。径16.7～17.0cm。
		533	御正体	真神寺	鎌倉時代	旭町西島	資料編第4巻 p441	◇	4面（如来形2面、菩薩形1面、十一面観音1面）。石造。径19.0～21.9cm。
		534	石灯籠	薗田野神社	鎌倉時代（鎌倉時代～南北朝時代）	薗田野町佐伯	資料編第4巻 p443	◆ ▲※	※重要美術品 1基。石造。総高196.0cm。重要美術品。
		535	板碑	積善寺墓地	南北朝時代	薗田野町柿花	資料編第4巻 p443	／	1基。石造。高さ98.0cm。
		536	板碑	瑞巌寺墓地	永禄6(1563)	薗田野町奥条	資料編第4巻 p444	／	1基。石造。高さ99.5cm（基礎を含む）。
		537	板碑	中野・宮川惣墓	室町時代	宮前町宮川	資料編第4巻 p444	／	6基。石造。各高さ約77cm。
		538	板碑	常泉寺	永和2(1376)	西別院町犬甘野	資料編第4巻 p444	■	1基。石造。高さ198.0cm。市指定名称「犬甘野板碑」。

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
有形文化財	美術工芸品（工芸品）	539	板碑	厚元寺墓地	天文 13(1544)	曽我部町中	資料編第 4 巻 p445	／	1 基。石造。高さ 108.0cm。
		540	板碑①	桑田寺墓地	応永 28(1421) ヵ	曽我部町寺	資料編第 4 巻 p446	／	1 基。高さ 49.0cm。
		541	板碑②	桑田寺墓地	康正 3(1457)	曽我部町寺	資料編第 4 巻 p446	／	1 基。高さ 135.5cm（基礎を含む）。
		542	板碑③	桑田寺墓地	文正元（1466）	曽我部町寺	資料編第 4 巻 p446	／	1 基。高さ 74.0cm。
		543	板碑④	桑田寺墓地	明応 6(1497)	曽我部町寺	資料編第 4 巻 p446	／	1 基。高さ 72.0cm。
		544	板碑⑤	桑田寺墓地	永正 9(1512)	曽我部町寺	資料編第 4 巻 p446	／	1 基。高さ 45.5cm。
		545	板碑⑥	桑田寺墓地	永正 17(1520)	曽我部町寺	資料編第 4 巻 p446	／	1 基。高さ 58.0cm。
		546	板碑⑦	桑田寺墓地	天文 4(1535)	曽我部町寺	資料編第 4 巻 p446	／	1 基。高さ 54.1cm。
		547	板碑⑧	桑田寺墓地	天文 4(1535) ヵ	曽我部町寺	資料編第 4 巻 p446	／	1 基。高さ 59.0cm。
		548	板碑⑨	桑田寺墓地	天文 5(1536)	曽我部町寺	資料編第 4 巻 p446	／	1 基。高さ 67.5cm。
		549	板碑⑩	桑田寺墓地	天文 6(1537)	曽我部町寺	資料編第 4 巻 p446	／	1 基。高さ 68.2cm。
		550	石灯籠	與能神社	応永 21(1414)	曽我部町寺	資料編第 4 巻 p448	／	1 基。総高 209.5cm。
		551	手水鉢	與能神社	応永元（1521）	曽我部町寺	資料編第 4 巻 p449	／	1 口。石造。高さ 27.8cm。
		552	旧呉服町火の見の鐘	亀岡市	—	千歳町国分	文化財一覧	■	1 口。
	美術工芸品（書跡典籍）	553	後奈良天皇宸翰和歌懐紙	千手寺	室町時代	薗田野町鹿谷	資料編第 4 巻 p451	／	1 幅。紙本墨書。縦 34.1cm。横 60.3cm。天文 4（1539）年重用節会の際の和歌を書き留めたもの。京都国立博物館寄託。
		554	穴太寺観音縁起	穴太寺	室町時代 宝徳 2(1450)	曽我部町穴太	資料編第 4 巻 p452	◆	1 巻。紙本墨書。縦 34.1cm。横 421.6cm。
		555	見桃録	龍潭寺	桃山時代 天文 18(1549) ～ 享保 19(1734)	薗田野町太田	資料編第 4 巻 p453	◆	1 冊。紙本墨書。縦 25.7cm。横 20.5cm。初編後から重編までの間に書写されたヵ。府指定文化財名称「特芳禅傑関係資料」（全 21 点）。
		556	法華経	千手寺	平安時代	薗田野町鹿谷	資料編第 4 巻 p454	◎	7 巻。紙本墨書。縦 25.9cm。横（一紙長）50.2cm。巻第 4 の 1 巻を欠き（現在天理大学図書館蔵）、巻第 1 の巻首・第 2 の巻末・第 6 の巻末は欠失。京都国立博物館寄託。
		557	版本倭訓附刻妙法蓮華経	金輪寺	室町時代 応永 5(1398)	東別院町栢原	資料編第 4 巻 p456	／	8 巻。版本。縦 26.4cm。横（一紙長）約 57.0cm。京都国立博物館寄託。

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
有形文化財	美術工芸品（書跡典籍）	558	法華経普門品	穴太寺	江戸時代 延宝4(1676)	曽我部町 穴太	資料編第4巻 p456	／	光子内親王筆。1巻。紺紙金字。縦29.3cm。横296.2cm。
		559	大般若経	徳寿院・宝泉寺・如意寺大般若経保存会	平安時代・ 鎌倉時代	篠町	資料編第4巻 p457	■	600帖。折本装。紙本墨書。縦23.8cm。横9.6cm。
		560	大般若経	春現寺	平安時代～江戸時代・南宋時代	東別院町 東掛	資料編第4巻 p459	／	(約)600帖。折本装。紙本墨書・版本。縦25.1cm。横9.5cm。
		561	大般若経	宝光寺	鎌倉時代～ 南北朝時代	河原林町 河原尻	資料編第4巻 p460	／	598帖（首尾欠）。折本装。紙本墨書・版本。縦26.0cm。横7.6cm。
	美術工芸品（古文書）	562	篠村八幡宮文書	篠村八幡宮	鎌倉時代～ 南北朝時代 元弘3(1333)・ 建武2(1335)	篠町篠	資料編第4巻 p461	◆	2通。紙本墨書。府指定名称「足利高氏願文附足利尊氏御判御教書1巻」(1巻)。亀岡市文化資料館寄託。
		563	遠山家文書	個人・亀岡市文化資料館	南北朝時代～ 室町時代	古世町 中内坪	資料編第4巻 p463	＊	1巻（11通）・6通。紙本墨書。亀岡市文化資料館寄託。
		564	田所家文書	個人	南北朝時代～ 室町時代	—	資料編第4巻 p464	／	1巻（10通）・5通。紙本墨書。
		565	穴太寺文書	穴太寺	室町時代	曽我部町 穴太	資料編第4巻 p465	／	7幅。紙本墨書。
		566	龍潭寺文書	龍潭寺	室町時代	薙田野町 太田	資料編第4巻 p466	／	3通。紙本墨書。(特芳禅傑書状：縦24.2cm。横40.8cm。)。
		567	文覚寺文書	文覚寺	江戸時代	保津町 山ノ坊	資料編第4巻 p467	／	1巻。紙本墨書。
		568	明智光秀書状	保津五苗財団	—	保津町 訳目	文化財一覧	■	1通。
		569	丹波国一宮上棟棟札	出雲大神宮	—	千歳町 出雲	文化財一覧	＊	1点。
		570	丹波国一宮上葺棟札	出雲大神宮	—	千歳町 出雲	文化財一覧	＊	1点。
		571	丹波国一宮出雲社御前造営棟札	出雲大神宮	—	千歳町 出雲	文化財一覧	＊	1点。
		572	冨松家文書	個人・亀岡市文化資料館	—	古世町 中内坪	文化財一覧	＊	58点。亀岡市文化資料館寄託。
		573	馬路町自治会文書	馬路町自治会	—	馬路町 流川	文化財一覧	＊	一括。
		574	日慈谷神社棟札類	日慈谷神社	—	東本梅町 赤熊	文化財一覧	＊	一括。
		575	某天王棟上棟札	廣峯神社	—	本梅町 中野	文化財一覧	＊	1点。

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
有形文化財	美術工芸品（古文書）	576	一絲文守山居詩并後水尾天皇御次韻和歌	法常寺	江戸時代	畑野町千ヶ畑	資料編第4巻 p468	◎◆	後水尾上皇筆。1巻。紙本墨書。縦24.8cm。横138.8cm。国指定名称「紙本墨書後水尾天皇宸翰一絲和尚山居詩並御次韻和歌」。府指定文化財名称「法常寺一絲文守他歴代関係資料」（全355点）。
		577	後水尾天皇宸翰古則御詠	法常寺	江戸時代	畑野町千ヶ畑	資料編第4巻 p470	◆	後水尾上皇筆。1幅。紙本墨書。縦36.8cm。横51.2cm。府指定文化財名称「法常寺一絲文守他歴代関係資料」（全355点）。
		578	金輪寺奉加帳	金輪寺	—	宮前町宮川	—	＊	1巻
	美術工芸品（歴史資料）	579	後水尾天皇宸翰「大梅山」・「法常寺」額字及び扁額	法常寺	江戸時代 寛文6（1666） （額字）	畑野町千ヶ畑	資料編第4巻 p471	◆	後水尾上皇筆。2幅及び2面。紙本墨書。（額字「大梅山」：縦125.1cm。横53.7cm。）。（額字「法常寺」：縦126.1cm。横53.6cm。）。（扁額2面共：縦146.1cm。横82.0cm。）。府指定文化財名称「法常寺一絲文守他歴代関係資料」（全355点）。
		580	霊元天皇宸翰諡号勅書（両翼の宸翰）	法常寺	江戸時代 貞享2(1685)	畑野町千ヶ畑	資料編第4巻 p472	◆	霊元天皇筆。1幅。紙本墨書。縦42.5cm。横54.4cm。府指定文化財名称「法常寺一絲文守他歴代関係資料」（全355点）。
		581	仏頂国師髪塔銘并序	法常寺	江戸時代 享保3(1718)	畑野町千ヶ畑	資料編第4巻 p473	◆	尊昭法親王筆。1巻。縦29.0cm。横1260.0cm。府指定文化財名称「法常寺一絲文守他歴代関係資料」（全355点）。
		582	山居詩十首	法常寺	江戸時代	畑野町千ヶ畑	資料編第4巻 p474	◆	一絲文守筆。1巻。紙本墨書。縦29.4cm。横132.0cm。府指定文化財名称「法常寺一絲文守他歴代関係資料」（全355点）。
		583	大梅山夜話	法常寺	江戸時代	畑野町千ヶ畑	資料編第4巻 p475	◆	一絲文守筆。1冊。紙本墨書。縦26.9cm。横19.4cm。府指定文化財。府指定文化財名称「法常寺一絲文守他歴代関係資料」（全355点）。
		584	後水尾天皇御製註	法常寺	江戸時代	畑野町千ヶ畑	資料編第4巻 p475	◆	近衛信尋筆。1帖。紙本墨書。縦19.2cm。横13.6cm。府指定文化財。府指定文化財名称「法常寺一絲文守他歴代関係資料」（全355点）。

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
有形文化財	美術工芸品（歴史資料）	585	法常寺縁起	法常寺	江戸時代 延宝 6（1678）	畑野町 千ヶ畑	資料編第 4 巻 p476	◆	近衛基熙筆。1 巻。紙本墨書。縦 18.3cm。横 192.0cm。府指定文化財名称「法常寺一絲文守他歴代関係資料」（全 355 点）。
		586	烏丸光広尋訪和歌	法常寺	江戸時代 寛永 10（1633）	畑野町 千ヶ畑	資料編第 4 巻 p477	◆	烏丸光広筆。1 幅。紙本墨書。縦 78.0cm。横 52.5cm。府指定文化財名称「法常寺一絲文守他歴代関係資料」（全 355 点）。
		587	烏丸光広投機偈并頌	法常寺	江戸時代	畑野町 千ヶ畑	資料編第 4 巻 p478	◆	烏丸光広筆。2 幅。紙本墨書。（偈：縦 28.3cm。横 97.7cm。）。（頌：縦 34.2cm。横 57.4cm。）。府指定文化財名称「法常寺一絲文守他歴代関係資料」（全 355 点）。
		588	法常寺文書	法常寺	江戸時代	畑野町 千ヶ畑	資料編第 4 巻 p479	◆	3 巻。紙本墨書。法常寺に来簡した書状類のうち、特に堂上家や沢庵宗彭等からのものを成巻したもの。府指定文化財名称「法常寺一絲文守他歴代関係資料」（全 355 点）。
		589	後水尾上皇坐像	法常寺	江戸時代	畑野町 千ヶ畑	資料編第 4 巻 p480	◆	1 軀。木造。像高 68.5cm。府指定文化財名称「法常寺一絲文守他歴代関係資料」（全 355 点）。
		590	一絲文守（仏頂国師）坐像	法常寺	江戸時代	畑野町 千ヶ畑	資料編第 4 巻 p481	◆	1 軀。木造。総高（頭頂　裳下端）133.1cm。座高 89.0cm。府指定文化財名称「法常寺一絲文守他歴代関係資料」（全 355 点）。
		591	青磁染付彫花牡丹木蓮尾長鳥文双耳大花瓶	法常寺	江戸時代 19 世紀	畑野町 千ヶ畑	資料編第 4 巻 p482	／	伊万里。1 口。高 85.2cm。口径 31.5cm。底径 29.0cm。
		592	染付籠目透し文遊環大花瓶	法常寺	江戸時代 19 世紀	畑野町 千ヶ畑	資料編第 4 巻 p482	／	伊万里。1 口。高 55.5cm。口径 50.7cm。底径 26.7cm。
		593	絵志野木戸文矢筈口水指（共蓋）	法常寺	江戸時代 17 世紀	畑野町 千ヶ畑	資料編第 4 巻 p483	／	修学院焼。1 口。高 17.8cm。口径 18.0cm。底径 18.0cm。箱書きによれば後水尾上皇作。
		594	御本撫四方茶碗	法常寺	江戸時代 17 世紀	畑野町 千ヶ畑	資料編第 4 巻 p484	／	修学院焼。1 口。高 9.0cm。口径 14.5cm。高台径 6.2cm。箱書きによれば霊元法皇作。

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
有形文化財	美術工芸品（歴史資料）	595	九条袈裟　伝法衣（大衣）	法常寺	文政 7(1824)	畑野町千ヶ畑	資料編第 4 巻 p484	／	環佩なし。1 領。長丈 116cm。幅 316cm。
		596	九条袈裟　伝法衣	法常寺	文政 10(1827)	畑野町千ヶ畑	資料編第 4 巻 p488	／	象牙環佩付き。1 領。長丈 141cm。幅 250cm。
		597	七条袈裟（小型）	法常寺	江戸時代後期	畑野町千ヶ畑	資料編第 4 巻 p489	／	黒漆環佩付き。1 領。長丈 40.6cm。幅 77cm。
		598	薬師如来坐像	楽音寺	元亀 4(1573)	東本梅町大内	資料編第 4 巻 p490	＊■	康清作。1 軀。木造。像高 65.5cm。
		599	犬不動阿弥陀如来石龕仏	区有	鎌倉時代	東本梅町大内	資料編第 4 巻 p491	／	1 軀。石造。像高 68cm。
		600	医王山縁起絵	楽音寺	文化 10(1813)	東本梅町大内	資料編第 4 巻 p492	／	2 幅。紙本着色。各縦 167.0cm。横 89.6cm。
		601	医王山縁起絵旧裏書	楽音寺	文化 10(1813)	東本梅町大内	資料編第 4 巻 p492	／	1 幅。紙本墨書。縦 151.0cm。横 111.0cm。
		602	医王山縁起写	楽音寺	—	東本梅町大内	資料編第 4 巻 p492	／	1 冊。紙本墨書。袋綴装。縦 25.1cm。横 17.2cm。10 丁（含表紙）。焼失した原本の写。内容は宝亀年間より天正年間までの記載。
		603	亀山藩史料	亀岡市・亀岡市文化資料館	—	古世町中内坪	文化財一覧	◆	198 点。
	美術工芸品（考古資料）	604	坊主塚古墳出土遺物一括	亀岡市・亀岡市文化資料館	—	古世町中内坪	文化財一覧	■	
		605	丹波国分寺跡　鏡	亀岡市教育委員会	—	安町野々神	文化財一覧	＊	1 点。
		606	丹波国分寺跡　三彩陶器	亀岡市教育委員会	—	安町野々神	文化財一覧	＊	5 点。
		607	丹波国分寺跡　創建瓦	亀岡市教育委員会	—	安町野々神	文化財一覧	＊	6 点。
		608	舟形木製品　北金岐遺跡出土	亀岡市教育委員会	—	安町野々神	文化財一覧	＊	1 点。
		609	筒型銅器　穴太古墳出土	個人・亀岡市文化資料館	—	古世町中内坪	文化財一覧	＊	1 点。亀岡市文化資料館寄託。
有形民俗文化財		610	緑釉陶器　黒岩 1 号窯出土	亀岡市教育委員会	—	古世町中内坪	文化財一覧	＊	4 点。
		611	民具	亀岡市文化資料館	—	古世町中内坪	資料編第 4 巻 p766	／	
		612	酒造用具	関酒造有限会社	—	—	資料編第 4 巻 p772	／	
		613	佐伯灯籠串人形	佐伯灯籠保存会	—	—	資料編第 4 巻 p778	／	
		614	奥条人形浄瑠璃用具	薙田野町奥条区・亀岡市文化資料館	—	古世町中内坪	資料編第 4 巻 p783	◇■	亀岡市文化資料館寄託。市指定文化財名称「奥条人形浄瑠璃人形頭・衣装・道具一括」（125 点）。

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
有形民俗文化財		615	舟筏無難銘石灯籠	桑田神社	—	篠町山本	文化財一覧	■	
		616	金刀比羅神社奉納船	金刀比羅神社	—	保津町保津山	文化財一覧	■	
		617	馬路町梵鐘等埋け型原型資料	個人	—	—	文化財一覧	＊	1 点。
		618	亀岡の船大工用具及び部材	亀岡市文化資料館	—	古世町中内坪	文化財一覧	＊	795 点。
		619	篠町の鍛冶関連用具	亀岡市文化資料館	—	古世町中内坪	文化財一覧	＊	35 点。
		620	安町の鍛冶関連用具	亀岡市文化資料館	—	古世町中内坪	文化財一覧	＊	103 点。
		621	旭町の鍛冶関連用具及び製品	亀岡市文化資料館	—	古世町中内坪	文化財一覧	＊	97 点。
		622	宇津根浜の産着	亀岡市文化資料館	—	古世町中内坪	文化財一覧	＊	1 点。
		623	紺屋町念仏講関連資料	亀岡市文化資料館	—	古世町中内坪	文化財一覧	＊	14 点。
		624	保津神変教会大瀧組行者講関連資料	保津神変教会大瀧組行者講	—	保津町今石	文化財一覧	＊	23 点。
		625	亀岡の寒天製造用具	亀岡市	—	安町野々神	文化財一覧	●	517 点。
無形民俗文化財	民俗技術	626	保津川船下り操船技術	保津川遊船企業組合	—	保津町下中島	文化財一覧	■	
	暮らしといのり	627	松の切り出し	—	—	—	資料編第 4 巻 p505	／	12 月 25 日頃から山へ行って、正月の門松やその他の飾りものに使用する松などを採ってくる。オマッツァンキリ（お松さん切り）という。
		628	松の切り出し	旭町印地	—	旭町印地	資料編第 4 巻 p505	／	ホナガトリと呼ぶ。
		629	松の切り出し	篠町王子	—	篠町王子	資料編第 4 巻 p505	／	ホナガトリと呼ぶ。
		630	松の切り出し	本梅町平松	—	本梅町平松	資料編第 4 巻 p505	／	ホナガトリと呼ぶ。
		631	松の切り出し	本梅町西加舎	—	本梅町西加舎	資料編第 4 巻 p505	／	ホナガトリと呼ぶ。
		632	松の切り出し	本梅町東加舎	—	本梅町東加舎	資料編第 4 巻 p505	／	ホナガトリと呼ぶ。松のことはオハヤシマツと呼ぶ。
		633	餅つき	—	—	—	資料編第 4 巻 p505	／	12 月 28 日か 30 日につく例がほとんどで、29 日についた餅はクモチ（苦餅）になるといって避ける例が多い。
		634	餅つき	西別院町柚原	—	西別院町柚原	資料編第 4 巻 p505	／	

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
無形民俗文化財	暮らしといのり	635	大晦日の行事と伝承	—	—	—	資料編第4巻 p505	／	大晦日に檀那寺と墓へ参ること、同日に蕎麦を食べる例は多くの地域で聞かれる。
		636	大晦日の行事と伝承	東本梅町中野	—	東本梅町中野	資料編第4巻 p505	／	
		637	大晦日の行事と伝承	東別院町東掛	—	東別院町東掛	資料編第4巻 p505	／	
		638	大晦日の行事と伝承	旭町美濃田	—	旭町美濃田	資料編第4巻 p505	／	
		639	大晦日の行事と伝承	馬路町	—	馬路町	資料編第4巻 p505	／	
		640	大晦日の行事と伝承	畑野町千ヶ畑	—	畑野町千ヶ畑	資料編第4巻 p505	／	
		641	歳徳さん	—	—	—	資料編第4巻 p506	／	米俵に松を立てたもので、正月のいわゆる歳神に相当するもの。稲作の神。
		642	歳徳さん	畑野町千ヶ畑	—	畑野町千ヶ畑	資料編第4巻 p506	／	
		643	歳徳さん	大井町南金岐	—	大井町南金岐	資料編第4巻 p506	／	
		644	歳徳さん	宮前町	—	宮前町	資料編第4巻 p506	／	
		645	ホウライサン	—	—	—	資料編第4巻 p507	／	蓬莱さん。サンボウに洗米・かち栗・吊し柿等をのせる。歳徳さんに対する供物と想像される。
		646	ホウライサン	千代川町	—	千代川町	資料編第4巻 p507	／	
		647	ホウライサン	篠町森	—	篠町森	資料編第4巻 p507	／	サンボウサンと呼ばれる。
		648	門松と注連飾り	—	—	—	資料編第4巻 p507	／	オマッツァンキリで切ってきた松に竹や梅を括りつけ、門口に立てていたが、今日までそれを残している例は少なく、門松の絵が印刷された紙を門口にはる例が多くなっている。注連飾りはほとんどの家で飾られる。
		649	若水汲みと雑煮	—	—	—	資料編第4巻 p508	／	正月元旦夜明けとともに、家の男性が井戸から水を汲み、これをワカミズ（若水）とかハツミズ（初水）と呼ぶ。この水で雑煮を炊く他、神棚や仏壇に供えられる。雑煮は白味噌仕立て、小芋（古くは頭芋）・大根・餅を入れる。
		650	若水汲みと雑煮	千代川町川関	—	千代川町川関	資料編第4巻 p508	／	

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
無形民俗文化財	暮らしといのり	651	若水汲みと雑煮	千代川町千原	—	千代川町千原	資料編第４巻 p508	／	
		652	若水汲みと雑煮	宮前町猪倉	—	宮前町猪倉	資料編第４巻 p508	／	
		653	若水汲みと雑煮	宮前町神前	—	宮前町神前	資料編第４巻 p508	／	
		654	若水汲みと雑煮	篠町森	—	篠町森	資料編第４巻 p508	／	
		655	若水汲みと雑煮	東本梅町	—	東本梅町	資料編第４巻 p508	／	
		656	若水汲みと雑煮	東本梅町赤熊	—	東本梅町赤熊	資料編第４巻 p508	／	
		657	若水汲みと雑煮	東本梅町大内	—	東本梅町大内	資料編第４巻 p508	／	
		658	若水汲みと雑煮	畑野町千ヶ畑	—	畑野町千ヶ畑	資料編第４巻 p508	／	
		659	若水汲みと雑煮	畑野町土ヶ畑	—	畑野町土ヶ畑	資料編第４巻 p508	／	
		660	若水汲みと雑煮	旭町美濃田	—	旭町美濃田	資料編第４巻 p508	／	
		661	若水汲みと雑煮	河原林町	—	河原林町	資料編第４巻 p508	／	
		662	若水汲みと雑煮	保津町	—	保津町	資料編第４巻 p508	／	
		663	若水汲みと雑煮	西別院町万願寺	—	西別院町万願寺	資料編第４巻 p508	／	
		664	初詣と初集会	—	—	—	資料編第４巻 p509	／	正月元旦に氏神と寺院へ参拝に行き、同時に村人の初集会の場を設けている。寺へはオトシダマ（お年玉）と称して古くは米や餅などを持参したという。
		665	初詣と初集会	篠町山本	—	篠町山本	資料編第４巻 p509	／	
		666	初詣と初集会	篠町王子	—	篠町王子	資料編第４巻 p509	／	
		667	初詣と初集会	東本梅町	—	東本梅町	資料編第４巻 p509	／	
		668	初詣と初集会	上矢田町	—	上矢田町	資料編第４巻 p509	／	
		669	初詣と初集会	余部町	—	余部町	資料編第４巻 p509	／	
		670	初詣と初集会	大井町	—	大井町	資料編第４巻 p509	／	
		671	初詣と初集会	大井町南金岐	—	大井町南金岐	資料編第４巻 p509	／	
		672	２日以降の行事	—	—	—	資料編第４巻 p510	／	正月２日に檀那寺の住職が家々を回り、またこの日から３・４日にかけて各種の仕事初めが行われる事例が多い。４日にカガミビラキ（鏡開き）と称して鏡餅を開くということもよく聞かれる。
		673	２日以降の行事	曽我部町重利	—	曽我部町重利	資料編第４巻 p510	／	
		674	２日以降の行事	穴太寺	—	曽我部町穴太	資料編第４巻 p510	／	
		675	２日以降の行事	旭町	—	旭町	資料編第４巻 p510	／	

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
無形民俗文化財	暮らしといのり	676	2日以降の行事	旭町印地	—	旭町印地	資料編第4巻 p510	／	
		677	2日以降の行事	畑野町千ヶ畑	—	畑野町千ヶ畑	資料編第4巻 p510	／	
		678	2日以降の行事	東本梅町大内	—	東本梅町大内	資料編第4巻 p510	／	
		679	2日以降の行事	千代川町川関	—	千代川町川関	資料編第4巻 p510	／	
		680	ホナガと山の神	—	—	—	資料編第4巻 p511	／	ホナガ（穂長）は予祝（来る秋の豊作をあらかじめ仮想して先に祝う、一種の豊穣祈願）儀礼で、正月に初めて山に入り刈ってくる柴の束、あるいはその一連の行事全体を指す。山の神を祀る儀礼として伝承されている例が多い。
		681	ホナガと山の神	曽我部町重利	—	曽我部町重利	資料編第4巻 p511	／	
		682	ホナガと山の神	畑野町千ヶ畑	—	畑野町千ヶ畑	資料編第4巻 p511	／	
		683	ホナガと山の神	千代川町川関	—	千代川町川関	資料編第4巻 p511	／	
		684	ホナガと山の神	馬路町這下	—	馬路町這下	資料編第4巻 p511	／	
		685	ホナガと山の神	馬路町	—	馬路町	資料編第4巻 p511	／	
		686	ホナガと山の神	旭町山階	—	旭町山階	資料編第4巻 p511	／	
		687	ホナガと山の神	旭町印地	—	旭町印地	資料編第4巻 p511	／	
		688	ホナガと山の神	旭町美濃田	—	旭町美濃田	資料編第4巻 p511	／	
		689	ホナガと山の神	東別院町東掛	—	東別院町東掛	資料編第4巻 p511	／	
		690	ホナガと山の神	東別院町小泉	—	東別院町小泉	資料編第4巻 p511	／	
		691	ホナガと山の神	東別院町大野	—	東別院町大野	資料編第4巻 p511	／	
		692	ホナガと山の神	保津町	—	保津町	資料編第4巻 p511	／	
		693	ホナガと山の神	薙田野町佐伯	—	薙田野町佐伯	資料編第4巻 p511	／	
		694	ホナガと山の神	畑野町土ヶ畑	—	畑野町土ヶ畑	資料編第4巻 p511	／	
		695	ホナガと山の神	本梅町西加舎	—	本梅町西加舎	資料編第4巻 p511	／	
		696	ホナガと山の神	本梅町平松	—	本梅町平松	資料編第4巻 p511	／	
		697	ホナガと山の神	本梅町東加舎	—	本梅町東加舎	資料編第4巻 p511	／	
		698	ホナガと山の神	篠町山本	—	篠町山本	資料編第4巻 p511	／	
		699	ホナガと山の神	千歳町国分	—	千歳町国分	資料編第4巻 p511	／	

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
無形民俗文化財	暮らしといのり	700	ホナガと山の神	宮前町神前	—	宮前町神前	資料編第4巻 p511	／	
		701	ホナガと山の神	宮前町宮川	—	宮前町宮川	資料編第4巻 p511	／	
		702	ホナガと山の神	宮前町東神前	—	宮前町東神前	資料編第4巻 p511	／	
		703	ホナガと山の神	篠町王子	—	篠町王子	資料編第4巻 p511	／	
		704	七日正月	—	—	—	資料編第4巻 p514	／	5日に摘んできた七草で七草粥を炊く。6日は一種の物忌みの日であったと考えられる。
		705	七日正月	大井町	—	大井町	資料編第4巻 p514	／	
		706	七日正月	旭町	—	旭町	資料編第4巻 p514	／	
		707	七日正月	曽我部町寺	—	曽我部町寺	資料編第4巻 p514	／	
		708	七日正月	畑野町千ヶ畑	—	畑野町千ヶ畑	資料編第4巻 p514	／	
		709	七日正月	篠町王子	—	篠町王子	資料編第4巻 p514	／	
		710	トンドと小豆粥	—	—	—	資料編第4巻 p515	／	正月15日にトンドが行われ正月の飾り物などを焼く。同日に小豆粥を炊いて家族で祝う。
		711	トンドと小豆粥	東本梅町	—	東本梅町	資料編第4巻 p515	／	
		712	トンドと小豆粥	本梅町	—	本梅町	資料編第4巻 p515	／	
		713	トンドと小豆粥	旭町	—	旭町	資料編第4巻 p515	／	
		714	トンドと小豆粥	旭町美濃田	—	旭町美濃田	資料編第4巻 p515	／	
		715	トンドと小豆粥	馬路町	—	馬路町	資料編第4巻 p515	／	
		716	トンドと小豆粥	河原林町	—	河原林町	資料編第4巻 p515	／	
		717	トンドと小豆粥	上矢田町	—	上矢田町	資料編第4巻 p515	／	
		718	トンドと小豆粥	余部町	—	余部町	資料編第4巻 p515	／	
		719	トンドと小豆粥	突抜町	—	突抜町	資料編第4巻 p515	／	
		720	トンドと小豆粥	曽我部町寺	—	曽我部町寺	資料編第4巻 p515	／	
		721	トンドと小豆粥	東別院町	—	東別院町	資料編第4巻 p515	／	
		722	トンドと小豆粥	東別院町東掛	—	東別院町東掛	資料編第4巻 p515	／	
		723	トンドと小豆粥	東別院町栢原	—	東別院町栢原	資料編第4巻 p515	／	
		724	トンドと小豆粥	西別院町万願寺	—	西別院町万願寺	資料編第4巻 p515	／	
		725	トンドと小豆粥	西別院町犬甘野	—	西別院町犬甘野	資料編第4巻 p515	／	
		726	トンドと小豆粥	大井町北金岐	—	大井町北金岐	資料編第4巻 p515	／	
		727	トンドと小豆粥	千代川町千原	—	千代川町千原	資料編第4巻 p515	／	
		728	トンドと小豆粥	出雲大神宮	—	千歳町千歳	資料編第4巻 p515	／	

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
無形民俗文化財	暮らしといのり	729	骨正月	—	—	—	資料編第4巻 p517	／	市域の一部の村では正月20日をホネショウガツ（骨正月）と称して、餅を食べる等が行われる。
		730	骨正月	東本梅町 赤熊	—	東本梅町 赤熊	資料編第4巻 p517	／	
		731	骨正月	旭町	—	旭町	資料編第4巻 p517	／	
		732	骨正月	東別院町 大野	—	東別院町 大野	資料編第4巻 p517	／	
		733	骨正月	千代川町	—	千代川町	資料編第4巻 p517	／	
		734	節分	—	—	—	資料編第4巻 p518	／	2月3日の節分、あるいは4日をトシコシ（年越し）・カミサンショウガツ（神さん正月）・カミノガンチョウ（神の元朝）などといい、餅をついて神棚や仏壇などに供えたり、雑煮を作ったりする。また豆を煎って神棚に供えるとともに、豆まきをしたり、柊の葉に鰯の頭をつけたものを門口に挿す。
		735	節分	大井町 並河	—	大井町 並河	資料編第4巻 p518	／	
		736	節分	宮前町 宮川	—	宮前町 宮川	資料編第4巻 p518	／	
		737	節分	旭町 美濃田	—	旭町 美濃田	資料編第4巻 p518	／	
		738	節分	旭町印地	—	旭町印地	資料編第4巻 p518	／	
		739	節分	篠町王子	—	篠町王子	資料編第4巻 p518	／	
		740	節分	曽我部町 重利	—	曽我部町 重利	資料編第4巻 p518	／	
		741	節分	東本梅町 中野	—	東本梅町 中野	資料編第4巻 p518	／	
		742	節分	東本梅町 赤熊	—	東本梅町 赤熊	資料編第4巻 p518	／	
		743	節分	本梅町 東加舎	—	本梅町 東加舎	資料編第4巻 p518	／	
		744	節分	畑野町 千ヶ畑	—	畑野町 千ヶ畑	資料編第4巻 p518	／	
		745	初午の行事	—	—	—	資料編第4巻 p519	／	2月初午の日に村々で稲荷を祀り、小豆ご飯や油揚げを供える。
		746	初午の行事	薗田野町 鹿谷	—	薗田野町 鹿谷	資料編第4巻 p519	／	
		747	初午の行事	薗田野町 佐伯	—	薗田野町 佐伯	資料編第4巻 p519	／	
		748	初午の行事	旭町杉	—	旭町杉	資料編第4巻 p519	／	
		749	初午の行事	旭町印地	—	旭町印地	資料編第4巻 p519	／	

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
無形民俗文化財	暮らしといのり	750	初午の行事	旭町 美濃田	—	旭町 美濃田	資料編第4巻 p519	／	
		751	初午の行事	突抜町	—	突抜町	資料編第4巻 p519	／	
		752	初午の行事	畑野町 千ヶ畑	—	畑野町 千ヶ畑	資料編第4巻 p519	／	
		753	お釈迦さん	—	—	—	資料編第4巻 p520	／	3月15日に行う行事。例えば篠町柏原の念仏寺の涅槃会では、参詣者がハナクソ（花供）あるいはコロコロと称される小餅を頂きそれを食べるなど、各村あるいは家々でも種々の行事が行われる。
		754	お釈迦さん	念仏寺	—	篠町柏原	資料編第4巻 p520	／	
		755	お釈迦さん	大井町 小金岐	—	大井町 小金岐	資料編第4巻 p520	／	
		756	お釈迦さん	大井町 並河	—	大井町 並河	資料編第4巻 p520	／	
		757	お釈迦さん	突抜町	—	突抜町	資料編第4巻 p520	／	
		758	お釈迦さん	東本梅町 中野	—	東本梅町 中野	資料編第4巻 p520	／	
		759	お釈迦さん	西別院町 笑路	—	西別院町 笑路	資料編第4巻 p520	／	
		760	春の彼岸	—	—	—	資料編第4巻 p520	／	ボタモチや草餅を作り、檀那寺と墓へ参って供える。
		761	春の彼岸	大井町 北金岐	—	大井町 北金岐	資料編第4巻 p520	／	
		762	春の彼岸	大井町 並河	—	大井町 並河	資料編第4巻 p520	／	
		763	春の彼岸	宮前町 神前	—	宮前町 神前	資料編第4巻 p520	／	
		764	春の彼岸	宮前町 猪倉	—	宮前町 猪倉	資料編第4巻 p520	／	
		765	春の彼岸	宮前町 宮川	—	宮前町 宮川	資料編第4巻 p520	／	
		766	春の彼岸	旭町	—	旭町	資料編第4巻 p520	／	
		767	春の彼岸	旭町印地	—	旭町印地	資料編第4巻 p520	／	
		768	春の彼岸	東別院町 大野	—	東別院町 大野	資料編第4巻 p520	／	
		769	春の彼岸	東別院町 小泉	—	東別院町 小泉	資料編第4巻 p520	／	
		770	春の彼岸	東別院町 神原	—	東別院町 神原	資料編第4巻 p520	／	
		771	春の彼岸	本梅町 西加舎	—	本梅町 西加舎	資料編第4巻 p520	／	

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
無形民俗文化財	暮らしといのり	772	三月節句	—	—	—	資料編第4巻 p521	／	かつては月遅れの4月3日に行う例がほとんどであったが、近年は新暦3月3日に行っている。今日では女の子の節句で、雛人形を飾って桃の花を供え、よもぎ餅や菱餅を作って食べるという伝承のみ。
		773	三月節句	千代川町川関	—	千代川町川関	資料編第4巻 p521	／	
		774	ヨウカビ	—	—	—	資料編第4巻 p522	／	旧暦4月8日をヨウカビ(8日日)と呼び、テントウバナ（天道花）という山つつじの花を丈の先に括って空高くかかげる。近年は5月8日に行う例がほとんど。
		775	ヨウカビ	畑野町	—	畑野町	資料編第4巻 p522	／	
		776	ヨウカビ	畑野町土ヶ畑	—	畑野町土ヶ畑	資料編第4巻 p522	／	
		777	ヨウカビ	本梅町	—	本梅町	資料編第4巻 p522	／	
		778	ヨウカビ	本梅町西加舎	—	本梅町西加舎	資料編第4巻 p522	／	
		779	ヨウカビ	東本梅町中野	—	東本梅町中野	資料編第4巻 p522	／	
		780	ヨウカビ	東本梅町赤熊	—	東本梅町赤熊	資料編第4巻 p522	／	
		781	ヨウカビ	西別院町	—	西別院町	資料編第4巻 p522	／	
		782	ヨウカビ	余部町	—	余部町	資料編第4巻 p522	／	
		783	ヨウカビ	保津町	—	保津町	資料編第4巻 p522	／	
		784	ヨウカビ	東別院町	—	東別院町	資料編第4巻 p522	／	
		785	ヨウカビ	東別院町湯谷	—	東別院町湯谷	資料編第4巻 p522	／	
		786	ヨウカビ	千歳町国分	—	千歳町国分	資料編第4巻 p522	／	
		787	ヨウカビ	千歳町	—	千歳町	資料編第4巻 p522	／	
		788	ヨウカビ	河原林町	—	河原林町	資料編第4巻 p522	／	
		789	ヨウカビ	宮前町	—	宮前町	資料編第4巻 p522	／	
		790	ヨウカビ	宮前町猪倉	—	宮前町猪倉	資料編第4巻 p522	／	
		791	ヨウカビ	宮前町神前	—	宮前町神前	資料編第4巻 p522	／	
		792	五月節句	—	—	—	資料編第4巻 p523	／	菖蒲やよもぎで屋根を葺いたり、柏餅やチマキを作って食べる。
		793	五月節句	東別院町	—	東別院町	資料編第4巻 p523	／	
		794	五月節句	本梅町中野	—	本梅町中野	資料編第4巻 p523	／	
		795	五月節句	曽我部町寺	—	曽我部町寺	資料編第4巻 p523	／	

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
無形民俗文化財	暮らしといのり	796	五月節句	畑野町千ヶ畑	—	畑野町千ヶ畑	資料編第４巻 p523	／	
		797	五月節句	大井町並河	—	大井町並河	資料編第４巻 p523	／	
		798	五月節句	大井町	—	大井町	資料編第４巻 p523	／	
		799	苗代作りをめぐる儀礼	—	—	—	資料編第４巻 p524	／	苗代への種まきに際しては天田郡三和町大原の大原神社のお札を水口に立てる。
		800	苗代作りをめぐる儀礼	薙田野町柿花	—	薙田野町柿花	資料編第４巻 p524	／	
		801	苗代作りをめぐる儀礼	吉川町吉田	—	吉川町吉田	資料編第４巻 p524	／	
		802	苗代作りをめぐる儀礼	宮前町宮川	—	宮前町宮川	資料編第４巻 p524	／	
		803	苗代作りをめぐる儀礼	千歳町国分	—	千歳町国分	資料編第４巻 p524	／	
		804	苗代作りをめぐる儀礼	河原林町河原尻	—	河原林町河原尻	資料編第４巻 p524	／	
		805	苗代作りをめぐる儀礼	突抜町	—	突抜町	資料編第４巻 p524	／	
		806	苗代作りをめぐる儀礼	上矢田町	—	上矢田町	資料編第４巻 p524	／	
		807	苗代作りをめぐる儀礼	曽我部町重利	—	曽我部町重利	資料編第４巻 p524	／	
		808	田植え前の儀礼	—	—	—	資料編第４巻 p525	／	田植え前には少量の苗を神棚やサンポウサンに備えたり、1日休みにして団子などを作ったりする。
		809	田植え前の儀礼	本梅町平松	—	本梅町平松	資料編第４巻 p525	／	
		810	田植え前の儀礼	本梅町西加舎	—	本梅町西加舎	資料編第４巻 p525	／	ノロジマイという。
		811	田植え前の儀礼	突抜町	—	突抜町	資料編第４巻 p525	／	ノロシマイという。
		812	田植え前の儀礼	宮前町宮川	—	宮前町宮川	資料編第４巻 p525	／	
		813	田植え前の儀礼	千代川町千原	—	千代川町千原	資料編第４巻 p525	／	
		814	田植え前の儀礼	篠町王子	—	篠町王子	資料編第４巻 p525	／	
		815	田植え前の儀礼	東別院町	—	東別院町	資料編第４巻 p525	／	
		816	田植え前の儀礼	東別院町東掛	—	東別院町東掛	資料編第４巻 p525	／	
		817	田植え前の儀礼	畑野町千ヶ畑	—	畑野町千ヶ畑	資料編第４巻 p525	／	
		818	田植え前の儀礼	畑野町土ヶ畑	—	畑野町土ヶ畑	資料編第４巻 p525	／	
		819	サナブリ	—	—	—	資料編第４巻 p525	／	田植えの終了を祝うことをサナブリあるいはウエツケヤスミ（植えつけ休み）という。
		820	サナブリ	本梅町	—	本梅町	資料編第４巻 p525	／	

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
無形民俗文化財	暮らしといのり	821	サナブリ	旭町 美濃田	—	旭町 美濃田	資料編第4巻 p525	／	
		822	サナブリ	馬路町	—	馬路町	資料編第4巻 p525	／	
		823	サナブリ	千歳町	—	千歳町	資料編第4巻 p525	／	
		824	サナブリ	河原林町	—	河原林町	資料編第4巻 p525	／	
		825	サナブリ	宮前町宮川	—	宮前町 宮川	資料編第4巻 p525	／	
		826	サナブリ	千代川町 川関	—	千代川町 川関	資料編第4巻 p525	／	
		827	サナブリ	大井町 南金岐	—	大井町 南金岐	資料編第4巻 p525	／	
		828	サナブリ	篠町王子	—	篠町王子	資料編第4巻 p525	／	
		829	サナブリ	東別院町	—	東別院町	資料編第4巻 p525	／	
		830	サナブリ	東別院町 湯谷	—	東別院町 湯谷	資料編第4巻 p525	／	
		831	サナブリ	畑野町 千ヶ畑	—	畑野町 千ヶ畑	資料編第4巻 p525	／	
		832	サナブリ	畑野町 土ヶ畑	—	畑野町 土ヶ畑	資料編第4巻 p525	／	
		833	ハゲッショ	—	—	—	資料編第4巻 p527	／	半夏生の日（新暦では7月2日か3日頃）を、ハゲッショあるいはハンゲショといい、村の休日としている例が多い。田植えが終了する時期に当たり、そのための休みの日とされている。
		834	ハゲッショ	畑野町	—	畑野町	資料編第4巻 p527	／	
		835	ハゲッショ	本梅町	—	本梅町	資料編第4巻 p527	／	
		836	ハゲッショ	西別院町	—	西別院町	資料編第4巻 p527	／	
		837	ハゲッショ	余部町	—	余部町	資料編第4巻 p527	／	
		838	ハゲッショ	曽我部町	—	曽我部町	資料編第4巻 p527	／	
		839	ハゲッショ	篠町	—	篠町	資料編第4巻 p527	／	
		840	ハゲッショ	宮前町	—	宮前町	資料編第4巻 p527	／	
		841	ハゲッショ	薙田野町	—	薙田野町	資料編第4巻 p527	／	
		842	ハゲッショ	千代川町 川関	—	千代川町 川関	資料編第4巻 p527	／	
		843	ハゲッショ	突抜町	—	突抜町	資料編第4巻 p527	／	
		844	ハゲッショ	宮前町 神前	—	宮前町 神前	資料編第4巻 p527	／	
		845	牛祭り	—	—	—	資料編第4巻 p527	／	初夏に曽我部町犬飼と重利で行われる。野祭りとも呼ばれ、牛が健康であることを願う。子供たちが供物を準備し供えるといったことなどが行われる。
		846	牛祭り	曽我部町 犬飼	—	曽我部町 犬飼	資料編第4巻 p527	／	
		847	牛祭り	曽我部町 重利	—	曽我部町 重利	資料編第4巻 p527	／	

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
無形民俗文化財	暮らしといのり	848	虫送りと雨乞い	—	—	—	資料編第4巻 p529	／	7月中旬頃に松明を持って歩き、虫送りを行っていた。また、雨が少ない年は雨乞いを行っていた。ヒアケと称して日照りが続いた時に行う例が多い。
		849	虫送りと雨乞い	千歳町国分	—	千歳町国分	資料編第4巻 p529	／	
		850	虫送りと雨乞い	河原林町河原尻	—	河原林町河原尻	資料編第4巻 p529	／	
		851	虫送りと雨乞い	宮前町宮川	—	宮前町宮川	資料編第4巻 p529	／	
		852	虫送りと雨乞い	西別院町万願寺	—	西別院町万願寺	資料編第4巻 p529	／	
		853	虫送りと雨乞い	西別院町柚原	—	西別院町柚原	資料編第4巻 p529	／	
		854	虫送りと雨乞い	上矢田町	—	上矢田町	資料編第4巻 p529	／	
		855	虫送りと雨乞い	宮前町神前	—	宮前町神前	資料編第4巻 p529	／	
		856	タッチョマイリ	—	—	—	資料編第4巻 p529	／	8月7日を中心として、その前後に墓参りに行く。オタッチョマイリ・タチマイリ・ラントウマイリなどと称す。
		857	タッチョマイリ	千歳町国分	—	千歳町国分	資料編第4巻 p529	／	
		858	タッチョマイリ	東本梅町大内	—	東本梅町大内	資料編第4巻 p529	／	
		859	タッチョマイリ	旭町美濃田	—	旭町美濃田	資料編第4巻 p529	／	
		860	精霊迎えの時期と方法	—	—	—	資料編第4巻 p531	／	先祖の霊はオショライサンと呼ばれ、だいたい8月13日に家の仏壇に迎えられる。この日をムカエビ（迎え火）・オショライサンムカエ（精霊さん迎え）・ホトケサンムカエ（仏さん迎え）などと称し、近所の川辺や橋へ行き、線香などに火をつけ鉦をたたいて迎えるという例が多い。
		861	精霊迎えの時期と方法	千歳町国分	—	千歳町国分	資料編第4巻 p531	／	
		862	精霊迎えの時期と方法	篠町王子	—	篠町王子	資料編第4巻 p531	／	
		863	精霊迎えの時期と方法	西別院町犬甘野	—	西別院町犬甘野	資料編第4巻 p531	／	
		864	精霊迎えの時期と方法	本梅町東加舎	—	本梅町東加舎	資料編第4巻 p531	／	
		865	精霊迎えの時期と方法	旭町杉	—	旭町杉	資料編第4巻 p531	／	

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
無形民俗文化財	暮らしといのり	866	穴太寺の精霊迎え	穴太寺	—	曽我部町穴太	資料編第4巻 p531	／	8月9日に行われ、開かれた盆市でオショライサンが乗ってくるというホオズキを買い求める。旧町の一部は毎年というところもあるが、多くの地域では初盆から3年間穴太寺へ迎えに行く。畑野町・東別院町・西別院町・本梅町・東本梅町・千歳町国分は少なくともかつては同寺に行くことは稀。
		867	盆の供物	—	—	—	資料編第4巻 p533	／	必ずしも一定したものではないが、芋や蓮の葉を敷いた上にのせて供えられる例が多く、畑作物を中心とした精進料理が多い。また2食分供える例が多い。
		868	盆の供物	篠町山本	—	篠町山本	資料編第4巻 p533	／	
		869	盆の供物	突抜町	—	突抜町	資料編第4巻 p533	／	
		870	盆の供物	西別院町犬甘野	—	西別院町犬甘野	資料編第4巻 p533	／	
		871	盆の供物	千歳町国分	—	千歳町国分	資料編第4巻 p533	／	
		872	盆の供物	東本梅町大内	—	東本梅町大内	資料編第4巻 p533	／	
		873	精霊送りの時期と方法	—	—	—	資料編第4巻 p534	／	15日と16日の早朝に送る例が多いが、14日に送る例もある。線香・ローソク・供物などを持って川や墓などで送る。
		874	精霊送りの時期と方法	突抜町	—	突抜町	資料編第4巻 p534	／	
		875	精霊送りの時期と方法	東本梅町赤熊	—	東本梅町赤熊	資料編第4巻 p534	／	
		876	精霊送りの時期と方法	西別院町神地	—	西別院町神地	資料編第4巻 p534	／	
		877	精霊送りの時期と方法	保津町	—	保津町	資料編第4巻 p534	／	
		878	精霊送りの時期と方法	千歳町国分	—	千歳町国分	資料編第4巻 p534	／	オショライサンオクリという。
		879	精霊送りの時期と方法	河原林町河原尻	—	河原林町河原尻	資料編第4巻 p534	／	
		880	精霊送りの時期と方法	西別院町犬甘野	—	西別院町犬甘野	資料編第4巻 p534	／	
		881	精霊送りの時期と方法	東別院町東掛	—	東別院町東掛	資料編第4巻 p534	／	
		882	精霊送りの時期と方法	旭町印地	—	旭町印地	資料編第4巻 p534	／	ホトケオクリ（仏送り）という。
		883	精霊送りの時期と方法	旭町杉	—	旭町杉	資料編第4巻 p534	／	

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
無形民俗文化財	暮らしといのり	884	初盆と新仏の祭祀	—	—	—	資料編第4巻 p535	／	初盆は新仏を丁重に祀るため普段の盆とは若干異なった儀礼が行われる。穴太寺へ参ってホオズキを求める例が多く、また家に親戚が集まりオタナ（お棚）・シンダナ（新棚）などと呼ばれる新仏を祀るための特別な祭場を作る。新仏は24日の地蔵盆が済むまで祀られる。
		885	初盆と新仏の祭祀	東本梅町中野	—	東本梅町中野	資料編第4巻 p535	／	
		886	初盆と新仏の祭祀	千歳町国分	—	千歳町国分	資料編第4巻 p535	／	
		887	初盆と新仏の祭祀	突抜町	—	突抜町	資料編第4巻 p535	／	
		888	初盆と新仏の祭祀	畑野町土ヶ畑	—	畑野町土ヶ畑	資料編第4巻 p535	／	
		889	無縁仏の祭祀と施餓鬼	—	—	—	資料編第4巻 p537	／	ガキボトケ（餓鬼仏）と称する無縁仏を祀る。新仏の棚とは別に作られた仮設の棚で供物を施されて祀られる。祭場は家屋の外に作られることが多く、供物の供え方も区別される。寺ではセガキ（施餓鬼）が行われ、早い例では8月5日頃から、襲い例では18日頃までに本堂の縁などに餓鬼棚を作り法要が行われる。
		890	無縁仏の祭祀と施餓鬼	千歳町国分	—	千歳町国分	資料編第4巻 p537	／	
		891	無縁仏の祭祀と施餓鬼	西別院町柚原	—	西別院町柚原	資料編第4巻 p537	／	
		892	無縁仏の祭祀と施餓鬼	畑野町千ヶ畑	—	畑野町千ヶ畑	資料編第4巻 p537	／	
		893	無縁仏の祭祀と施餓鬼	東別院町鎌倉	—	東別院町鎌倉	資料編第4巻 p537	／	
		894	無縁仏の祭祀と施餓鬼	宮前町猪倉	—	宮前町猪倉	資料編第4巻 p537	／	
		895	無縁仏の祭祀と施餓鬼	宮前町宮川	—	宮前町宮川	資料編第4巻 p537	／	
		896	地蔵盆	—	—	—	資料編第4巻 p539	／	8月23日もしくは24日前後に各町ごとに行われる。
		897	地蔵盆	宮前町神前	—	宮前町神前	資料編第4巻 p539	／	
		898	地蔵盆	保津町	—	保津町	資料編第4巻 p539	／	
		899	化粧地蔵	—	—	—	資料編第4巻 p540	／	地蔵盆の時期に、地蔵を洗って絵の具などで顔に化粧を施す。

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
無形民俗文化財	暮らしといのり	900	化粧地蔵	追分町	—	追分町	資料編第4巻 p540	／	
		901	化粧地蔵	篠町野条	—	篠町野条	資料編第4巻 p540	／	
		902	化粧地蔵	千代川町小林	—	千代川町小林	資料編第4巻 p540	／	
		903	化粧地蔵	旭町印地	—	旭町印地	資料編第4巻 p540	／	
		904	化粧地蔵	旭町里	—	旭町里	資料編第4巻 p540	／	
		905	化粧地蔵	旭町広保	—	旭町広保	資料編第4巻 p540	／	
		906	六地蔵めぐり	—	—	—	資料編第4巻 p541	／	地蔵盆の時期に、初盆から3年目までの家が行う。曽我部の六地蔵めぐり・川東の地蔵めぐり・本梅の六地蔵めぐりの3パターンがあり、最も多くの村が参るのが曽我部のものである。
		907	六地蔵めぐり	三恵院・晴明寺・真福寺・無量寺・曹流寺・厚元寺・天王寺・東光寺・穴太寺	—	曽我部町重利・南条・西条・寺・春日部・中・法貴・犬飼・穴太	資料編第4巻 p541	／	曽我部の六地蔵。
		908	六地蔵めぐり	旧亀岡町、曽我部町、薙田野町、宮前町神前、千代川町、大井町、河原林町、保津町、篠町、東別院町（内、鎌倉は除く）、西別院町、吉川町	—	—	資料編第4巻 p541	／	曽我部の六地蔵巡りを行っている地域。
		909	六地蔵めぐり	蔵宝寺・国分寺・耕雲寺・極楽寺・導養寺・延命寺	—	千歳町国分・北舎・出雲、馬路町、河原林町河原尻	資料編第4巻 p541	／	川東の六地蔵。
		910	六地蔵めぐり	千歳町・馬路町	—	—	資料編第4巻 p541	／	川東の六地蔵巡りを行っている地域。

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
無形民俗文化財	暮らしといのり	911	六地蔵めぐり	阿弥陀堂・延福寺・毘沙門堂・桂林寺・(中野の倉庫前に祀られる地蔵)・永徳寺	—	本梅町東加舎・西加舎・井手・平松・中野・中野	資料編第4巻 p541	／	本梅の六地蔵。
		912	六地蔵めぐり	本梅町、宮前町(内、神前は除く)・東本梅町	—	—	資料編第4巻 p541	／	本梅の六地蔵巡りを行っている地域。
		913	六地蔵めぐり	宮前町猪倉、東本梅町	—	宮前町宮川	資料編第4巻 p541	／	宮前町猪倉・東本梅町では本梅の六地蔵の4箇所と宮川町宮川にある2箇所の地蔵に参る。
		914	六地蔵めぐり	宮前町前川	—	宮前町猪倉	資料編第4巻 p541	／	宮前町前川では本梅の六地蔵の4箇所と宮川町猪倉にある2箇所の地蔵に参る。
		915	六地蔵めぐり	宗福寺・専念寺・法華寺・(子安地蔵)・(矢の根地蔵)・(突抜町の地蔵)・(台場の坂部の地蔵)・(出世の地蔵)	—	矢田町、塩谷町、本町、北町、横町、突抜町、旅籠町	資料編第4巻 p541	／	旧亀岡町がかつて六地蔵めぐりの対象としていた地蔵。
		916	六地蔵めぐり	畑野町千ヶ畑	—	—	資料編第4巻 p541	／	村内に数多くある地蔵の中から適宜6箇所を選んで参る。
		917	六地蔵めぐり	旭町美濃田	—	旭町杉・美濃田・広保、八木町	資料編第4巻 p541	／	旭町美濃田が六地蔵めぐりの対象とする地蔵。
		918	愛宕信仰と火祭り	土ヶ畑サンヤレ保存会(畑野町土ヶ畑)	—	畑野町土ヶ畑	資料編第4巻 p543	■	8月24日に行われる愛宕信仰に由来する火祭り。サンヤレと称し、小学生から中学生が各家から柴を集めて円山という山の頂上へ運び鉦と太鼓で囃しながら松明を焚く。市指定文化財名称「サンヤレ(火伏せの行事)」。

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
無形民俗文化財	暮らしといのり	919	ハッサク	—	—	—	資料編第4巻 p545	／	月遅れの新暦9月1日にハッサク（八朔）の伝承がある。仕事を休み参詣に行く・相撲をとる等様々。
		920	ハッサク	西別院町、東別院町、宮前町宮川、本梅町西加舎	—	大阪府豊能郡能勢町	資料編第4巻 p545	／	仕事を休み、能勢の妙見さんへ参る。
		921	ハッサク	本梅町中野	—	本梅町中野	資料編第4巻 p545	／	
		922	ハッサク	千歳町	—	千歳町	資料編第4巻 p545	／	
		923	ハッサク	畑野町千ヶ畑	—	畑野町千ヶ畑	資料編第4巻 p545	／	
		924	ハッサク	佐々尾神社	—	宮前町神前	資料編第4巻 p545	／	
		925	ハッサク	大内神社	—	東本梅町大内	資料編第4巻 p545	／	ハッサクではないが、9月初旬に行われる湯立ての祭り。
		926	ハッサク	日慈谷神社	—	東本梅町赤熊	資料編第4巻 p545	／	ハッサクではないが、9月初旬に行われる湯立ての祭り。ハッサクの行事の代わりとして行っている。
		927	神社と寺の祭り	—	—	—	資料編第4巻 p546	／	9月に各村で主として神社や寺院を中心として行われる種々の行事。
		928	神社と寺の祭り	貴船神社	—	西別院町笑路	資料編第4巻 p546	／	貴船神社は氏神である素戔嗚神社の境内に合祀されている。
		929	神社と寺の祭り	宝林寺	—	宮前町神前	資料編第4巻 p546	／	
		930	神社と寺の祭り	称名寺	—	篠町森	資料編第4巻 p546	／	
		931	神社と寺の祭り	無量寺	—	曽我部町寺	資料編第4巻 p546	／	
		932	神社と寺の祭り	八幡神社	—	保津町	資料編第4巻 p546	／	
		933	神社と寺の祭り	会議所の前のシンメイサン（神明さん）	—	突抜町	資料編第4巻 p546	／	
		934	秋の彼岸	—	—	—	資料編第4巻 p547	／	各家でおはぎやボタモチを作り、墓参りをする。
		935	秋の彼岸	千歳町	—	千歳町	資料編第4巻 p547	／	
		936	芋名月・栗名月・豆名月	—	—	—	資料編第4巻 p547	／	芋と栗と豆の三種の名月と、他の行事が混同して伝えられている。
		937	芋名月・栗名月・豆名月	東本梅町中野	—	東本梅町中野	資料編第4巻 p547	／	

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
無形民俗文化財	暮らしといのり	938	芋名月・栗名月・豆名月	東別院町東掛	—	東別院町東掛	資料編第4巻 p547	／	
		939	イノコ	—	—	—	資料編第4巻 p547	／	イノコ（亥の子）は旧暦10月の亥の日に行われる稲の収穫儀礼。新暦11月に行っているところが多い。子供が藁を棒状にしたイノコとよばれるものを持って地面をたたいて回り、ボタモチを作る、等が行われる。
		940	イノコ	西別院町	—	西別院町	資料編第4巻 p547	／	
		941	イノコ	東別院町	—	東別院町	資料編第4巻 p547	／	
		942	イノコ	東別院町栢原	—	東別院町栢原	資料編第4巻 p547	／	
		943	イノコ	東別院町鎌倉	—	東別院町鎌倉	資料編第4巻 p547	／	
		944	イノコ	東別院町大槻並	—	東別院町大槻並	資料編第4巻 p547	／	
		945	イノコ	曽我部町	—	曽我部町	資料編第4巻 p547	／	
		946	イノコ	吉川町	—	吉川町	資料編第4巻 p547	／	
		947	イノコ	保津町	—	保津町	資料編第4巻 p547	／	
		948	イノコ	旭町	—	旭町	資料編第4巻 p547	／	
		949	イノコ	宮前町	—	宮前町	資料編第4巻 p547	／	
		950	イノコ	曽我部町重利	—	曽我部町重利	資料編第4巻 p547	／	
		951	イノコ	薙田野町	—	薙田野町	資料編第4巻 p547	／	
		952	イノコ	余部町	—	余部町	資料編第4巻 p547	／	
		953	イノコ	矢田町	—	矢田町	資料編第4巻 p547	／	
		954	イノコ	畑野町	—	畑野町	資料編第4巻 p547	／	
		955	イノコ	本梅町	—	本梅町	資料編第4巻 p547	／	
		956	イノコ	本梅町中野	—	本梅町中野	資料編第4巻 p547	／	
		957	イノコ	本梅町東加舎	—	本梅町東加舎	資料編第4巻 p547	／	
		958	イノコ	東本梅町	—	東本梅町	資料編第4巻 p547	／	
		959	イノコ	東本梅町大内	—	東本梅町大内	資料編第4巻 p547	／	
		960	イノコ	千代川町川関	—	千代川町川関	資料編第4巻 p547	／	カリオサメ・コキオサメ・スルオサメと称する。
		961	イノコ	千代川町千原	—	千代川町千原	資料編第4巻 p547	／	イノコとは称していない。
		962	イノコ	浄念寺	—	宮前町神前	資料編第4巻 p547	／	お十夜と称して法要を行う。
		963	イノコ	旭町美濃田	—	旭町美濃田	資料編第4巻 p547	／	十夜と称する。
		964	初冬の行事	—	—	—	資料編第4巻 p549	／	11月末から12月にかけて各村で行われる独自の行事。
		965	初冬の行事	蛭子神社	—	吉川町	資料編第4巻 p549	／	

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
無形民俗文化財	暮らしといのり	966	初冬の行事	大井町南金岐	—	大井町南金岐	資料編第4巻 p549	／	
		967	初冬の行事	東本梅町大内	—	東本梅町大内	資料編第4巻 p549	／	
		968	初冬の行事	宮前町神前	—	宮前町神前	資料編第4巻 p549	／	
		969	初冬の行事	大井町北金岐	—	大井町北金岐	資料編第4巻 p549	／	
		970	初冬の行事	東別院町大野	—	東別院町大野	資料編第4巻 p549	／	
		971	初冬の行事	東別院町東掛	—	東別院町東掛	資料編第4巻 p549	／	
		972	初冬の行事	東別院町湯谷	—	東別院町湯谷	資料編第4巻 p549	／	
		973	初冬の行事	東別院町小泉	—	東別院町小泉	資料編第4巻 p549	／	
		974	初冬の行事	東別院町神原	—	東別院町神原	資料編第4巻 p549	／	
	まつりの伝承	975	神幸の祭り	—	—	—	資料編第4巻 p551	／	神輿が本社からお出でになり、お旅所で祭典があってお還りになる形態の祭りなど。
		976	神幸の祭り	鍬山神社	—	上矢田町上垣内	資料編第4巻 p551	／	
		977	神幸の祭り	薙田野神社	—	薙田野町佐伯	資料編第4巻 p551	／	
		978	神幸の祭り	大井神社	—	大井町並河	資料編第4巻 p551	／	
		979	神幸の祭り	與能神社	—	曽我部町寺	資料編第4巻 p551	／	
		980	神幸の祭り	請田神社	—	保津町	資料編第4巻 p551	／	
		981	宮座の祭祀	—	—	—	資料編第4巻 p551	／	ミヤノトウ（宮頭・宮当・宮党）といい、氏神の祭りの頭役を村落の全戸が交代で勤める。頭役は神饌の調進や直会の設営を主たる任務とし、祭りとしては仲間限りの簡単なものが多い。ほか、特定の家株で構成する株座もある。
		982	宮座の祭祀	本梅町東加舎	—	本梅町東加舎	資料編第4巻 p551	／	
		983	宮座の祭祀	日吉神社河原尻の「五苗」	—	河原林町河原尻	資料編第4巻 p551	／	1878年解散。
		984	宮座の祭祀	出雲大神宮　千歳の「四か郷侍惣中」・「四か村七苗」	—	千歳町千歳	資料編第4巻 p551	／	

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
無形民俗文化財	まつりの伝承	985	宮座の祭祀	馬路町の有力4姓	—	馬路町	資料編第4巻 p551	／	
		986	郷の祭り	—	—	—	資料編第4巻 p553	／	村内数戸の同姓からなる株の祭りに村の氏神祭り、さらに数箇村にわたる郷庄的規模の祭りが重なったもの。
		987	郷の祭り	大井神社	—	大井町	資料編第4巻 p553	／	
		988	郷の祭り	與能神社	—	曽我部町	資料編第4巻 p553	／	
		989	郷の祭り	薗田野神社・御霊神社・若宮神社・河阿神社	—	薗田野町	資料編第4巻 p553	／	
		990	郷の祭り	桑田神社	—	篠町山本	資料編第4巻 p553	／	
		991	郷の祭り	日吉神社	—	河原林町河原尻	資料編第4巻 p553	／	
		992	郷の祭り	出雲大神宮	—	千歳町出雲	資料編第4巻 p553	／	
		993	馬路の同姓祭	馬路町	—	—	資料編第4巻 p555	／	5姓で戸数の大半を占め、畑姓を除く4姓は同姓戸ごとに祭祀を行う。いずれも祭祀をトウ（頭）と称する。
		994	馬路の同姓祭	人見姓	—	馬路町祖霊社	資料編第4巻 p555	／	
		995	馬路の同姓祭	中川姓	—	馬路町祖霊社	資料編第4巻 p555	／	
		996	馬路の同姓祭	人見姓・中川姓	—	馬路町八幡社	資料編第4巻 p555	／	
		997	馬路の同姓祭	川原姓	—	馬路町蔵王祠	資料編第4巻 p555	／	
		998	馬路の同姓祭	中沢姓	—	馬路町往古仏（五輪塔）霊域	資料編第4巻 p555	／	
		999	その他の株の祭り	天照皇大神社・吉川株のオモヤ（本家）・インキョ（分家）の計3戸	—	旭町山階	資料編第4巻 p559	／	
		1000	その他の株の祭り	八王権現を祀る小宮　ダンジョ株（人見姓で構成）	—	旭町山階	資料編第4巻 p559	／	
		1001	その他の株の祭り	稲荷社稲荷株	—	薗田野町垣花	資料編第4巻 p559	／	
		1002	その他の株の祭り	天皇神社三宅株	—	大井町並河	資料編第4巻 p559	／	

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
無形民俗文化財	まつりの伝承	1003	その他の株の祭り	千歳町江島里の広瀬5戸（内、2戸は絶家）・野々村4戸	—	千歳町江島里	資料編第4巻 p559	／	当番の家に蔵宝寺の和尚がくる。
		1004	ミヤノトウ	—	—	—	資料編第4巻 p563	／	宮の頭・宮の党・宮の当などと表記される。年末・年始に氏子総代や戸主が参列して宮司が祭典を執り行い、祭祀集団交替で祭祀のトウ役をつとめる。
		1005	ミヤノトウ	素戔嗚神社氏子	—	西別院町笑路	資料編第4巻 p563	／	
		1006	ミヤノトウ	若宮神社八幡講	—	曽我部町南条	資料編第4巻 p563	／	
		1007	ミヤノトウ	出雲神社氏子	—	本梅町井出	資料編第4巻 p563	／	
		1008	ミヤノトウ	西山神社千ヶ畑「六人衆」	—	畑野町千ヶ畑	資料編第4巻 p563	／	
		1009	ミヤノトウ	西山神社広野地区の男	—	畑野町広野	資料編第4巻 p563	／	
		1010	ミヤノトウ	八幡宮社氏子	—	畑野町土ヶ畑	資料編第4巻 p563	／	
		1011	ミヤノトウ	屋磨内神社氏子	—	本梅町東加舎	資料編第4巻 p563	／	
		1012	ミヤノトウ	加舎神社氏子	—	本梅町西加舎	資料編第4巻 p563	／	ミヤノトウと呼ぶ行事はないが、シキジバンと呼ぶ祭祀役はある。
		1013	ミヤノトウ	廣峯神社宮衆（氏子）	—	本梅町中野・平松	資料編第4巻 p563	／	
		1014	ミヤノトウ	日慈谷神社氏子	—	東本梅町赤熊	資料編第4巻 p563	／	
		1015	ミヤノトウ	宮垣神社氏子	—	千代川町川関	資料編第4巻 p563	／	
		1016	ミヤノトウ	梅田神社氏子	—	旭町印地	資料編第4巻 p563	／	
		1017	ミヤノトウ	天照皇大神社氏子	—	旭町山階	資料編第4巻 p563	／	
		1018	ミヤノトウ	天満宮神社　氏子・国分の愛宕神社宮司	—	千歳町千歳	資料編第4巻 p563	／	天満宮神社は金光寺境内に祀られる。
		1019	ミヤノトウ	佐々尾神社氏子	—	宮前町神前	資料編第4巻 p563	／	
		1020	ミヤノトウ	日吉神社氏子	—	河原林町河原尻	資料編第4巻 p563	／	かつては河原尻の家株「五苗」によって祭司が営まれた。

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
無形民俗文化財	まつりの伝承	1021	ミヤノトウ	河阿神社柿花地区の稲荷姓6軒の内の3軒と王子姓1軒と原姓1軒	—	薙田野町柿花	資料編第4巻 p563	／	
		1022	ミヤノトウ	桑田神社氏子	—	篠町山本・野条	資料編第4巻 p563	／	
		1023	ミヤノトウ	天照皇大神社　吉川株の3軒	—	旭町山階	資料編第4巻 p563	／	
		1024	ミヤノトウ	松井八幡神社　八幡講（松井姓のみの5軒）	—	薙田野町太田	資料編第4巻 p563	／	
		1025	ミヤノトウ	天皇神社天皇講（三宅株）	—	大井町並河	資料編第4巻 p563	／	
		1026	ミヤノトウ	祖霊社馬路村の北・中・南に分かれた村組	—	馬路町	資料編第4巻 p563	／	馬路町の氏神は現在、出雲大神宮であるが、一方では小川月神社が村氏神として崇められている。
		1027	亀岡祭	亀岡祭山鉾連合会（鍬山神社）	—	上矢田町上垣内	資料編第4巻 p583	◇■	鍬山神社の鍬山宮・八幡宮2社の例祭。近世は旧暦9月25日を中心に行われたが、現在は10月20～25日にかけて秋季大祭として行われる。府登録・市指定名称「亀岡祭山鉾行事」。
		1028	亀岡祭	亀岡祭山鉾連合会（形原神社）	—	横町	資料編第4巻 p583	◇■	御旅所。府登録・市指定名称「亀岡祭山鉾行事」。
		1029	亀岡祭	亀岡祭山鉾連合会（三宅町、東竪町、西竪町、呉服町、新町、旅籠町、矢田町、京町、上矢田町、塩屋町、柳町、本町、紺屋町、西町、北町）	—	三宅町、東竪町、西竪町、呉服町、新町、旅籠町、矢田町、京町、上矢田町、塩屋町、柳町、本町、紺屋町、西町、北町	資料編第4巻 p583	◇■	山鉾所有。府登録・市指定名称「亀岡祭山鉾行事」。

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
無形民俗文化財	まつりの伝承	1030	立花	大井神社立花保存会	—	大井町並河、薗田野町	資料編第4巻 p596	◆	花祭りの名で毎年8月19日に行われ、氏子が立花を奉献する。府指定文化財名称「大井神社立花行事」。
		1031	立花	大井神社立花保存会（大井町並河・土田・北金岐・南金岐・小金岐、薗田野町太田（内、約半分が氏子）、並河の内の大井垣内	—	大井町並河・土田・北金岐・南金岐・小金岐、薗田野町太田（内、約半分が氏子）、並河の内の大井垣内	資料編第4巻 p596	◆	立花行事を行う地区。府指定文化財名称「大井神社立花行事」。
		1032	佐伯灯籠	佐伯灯籠保存会（薗田野神社・御霊神社・若宮神社・河阿神社）	—	薗田野町佐伯・佐伯・佐伯・柿花	資料編第4巻 p601	◎※	※国選択　記録作成等の措置を講ずるべき無形の民俗文化財 薗田野町一帯で薗田野神社を中心に行われる夏祭り。四社の出会い祭りで「四社合同祭」と称する。旧暦で行われていたころは、7月14・15日であったが、現在は毎年お盆の8月14日に行われる。
		1033	佐伯灯籠	佐伯灯籠保存会（薗田野町佐伯・天川・柿花・奥条・鹿谷・太田、吉川町吉田）	—	佐伯灯籠保存会（薗田野町佐伯・天川・柿花・奥条・鹿谷・太田、吉川町吉田）	資料編第4巻 p601	◎※	※国選択　記録作成等の措置を講ずるべき無形の民俗文化財 氏子が交替で祭事にあたる「輪番」という方式をとる。
		1034	牛祭り	—	—	—	資料編第4巻 p610	／	田植え仕舞いの神祭であった所に野神の性格を習合した行事と思われ、子供達によって進められる。供物を用意し、祭場に供えて拝む、等が行われる。
		1035	牛祭り	曽我部町犬飼	—	曽我部町犬飼	資料編第4巻 p610	／	
		1036	牛祭り	曽我部町重利	—	曽我部町重利	資料編第4巻 p610	／	

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
無形民俗文化財	まつりの伝承	1037	出雲風流花踊り	出雲風流花踊保存会	—	千歳町出雲	資料編第4巻 p611	◇	4月18日の花祭り（花鎮祭り）に行われる。本来は雨乞いやその願済ましの芸能であり、花踊りのほか笹踊りとも浴衣踊りともよばれていた。
		1038	犬甘野の御田祭り	犬甘野御田保存会	—	西別院町犬甘野	資料編第4巻 p627	◇	稲作の様をあらかじめ摸擬し、豊作を得ようとする予祝の祭り。松尾神社の祭礼として行われる。かつては旧暦6月の卯または酉の日と定められていたが、近年は7月の第一日曜日に行われる。
	伝説	1039	頼政矢の根地蔵	地蔵堂	—	横町	資料編第4巻 p632	／	
		1040	和泉式部の墓	称名寺	—	西竪町	資料編第4巻 p633	／	
		1041	鶏山	古世町	—	古世町	資料編第4巻 p633	／	
		1042	鍬山神社	上矢田町	—	上矢田町	資料編第4巻 p634	／	
		1043	鍬山神社の雨乞い	上矢田町	—	上矢田町	資料編第4巻 p634	／	
		1044	医王谷	下矢田町	—	下矢田町	資料編第4巻 p635	／	
		1045	清明塚	下矢田町	—	下矢田町	資料編第4巻 p635	／	
		1046	安行山	下矢田町	—	下矢田町	資料編第4巻 p635	／	
		1047	鍛冶ヶ島	荒塚町	—	荒塚町	資料編第4巻 p636	／	
		1048	北町地蔵堂	西町	—	西町	資料編第4巻 p637	／	
		1049	聖芝・昼塚	河原町	—	河原町	資料編第4巻 p637	／	
		1050	赤川	余部町	—	余部町	資料編第4巻 p638	／	
		1051	庚申堂跡	余部町	—	余部町	資料編第4巻 p638	／	
		1052	走田神社	余部町	—	余部町	資料編第4巻 p638	／	
		1053	鰻塚	余部町	—	余部町	資料編第4巻 p639	／	
		1054	加塚	余部町	—	余部町	資料編第4巻 p640	／	
		1055	大井大明神	大井神社	—	大井町並河	資料編第4巻 p640	／	
		1056	虎天井堰	千代川町川関	—	千代川町川関	資料編第4巻 p641	／	普通、寅天と書く。
		1057	小松寺	千代川町千原	—	千代川町千原	資料編第4巻 p642	／	
		1058	高卒塔婆	千代川町千原	—	千代川町千原	資料編第4巻 p642	／	高卒塔婆は現在、千原の小松寺境内にある。
		1059	老ノ坂子安地蔵堂	篠町王子	—	篠町王子	資料編第4巻 p643	／	
		1060	酒呑童子の首塚	篠町王子、京都市西京区	—	篠町王子、京都市西京区	資料編第4巻 p644	／	
		1061	増井の清水	篠町王子	—	篠町王子	資料編第4巻 p645	／	
		1062	実無し梨	篠町王子	—	篠町王子	資料編第4巻 p645	／	
		1063	竜宮石	篠町王子	—	篠町王子	資料編第4巻 p645	／	
		1064	占坂・舟繋ぎ芝	篠町王子	—	篠町王子	資料編第4巻 p646	／	
		1065	船付の地蔵	篠町王子	—	篠町王子	資料編第4巻 p646	／	

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
無形民俗文化財	伝説	1066	王子神社	篠町王子	—	篠町王子	資料編第4巻 p646	／	
		1067	請田神社	篠町山本	—	篠町山本	資料編第4巻 p647	／	現在の桑田神社。
		1068	九頭竜王社	篠町山本	—	篠町山本	資料編第4巻 p648	／	九頭竜王社は現在、桑田神社に合祀されている。
		1069	尼ヶ池	篠町山本	—	篠町山本	資料編第4巻 p648	／	
		1070	馬堀村のいわれ	篠町馬堀	—	篠町馬堀	資料編第4巻 p648	／	
		1071	子生山観音堂	妙楽寺（廃寺）	—	篠町浄法寺	資料編第4巻 p649	／	安置されていた如意輪観音像は現在、西竪町の宗堅寺にある。
		1072	頼政の墓	頼政塚	—	西つつじヶ丘	資料編第4巻 p649	／	
		1073	元明院	旭町美濃田	—	旭町美濃田	資料編第4巻 p650	／	
		1074	国分寺の田植地蔵	国分寺	—	千歳町国分	資料編第4巻 p651	／	
		1075	車塚	千歳町千歳	—	千歳町千歳	資料編第4巻 p651	／	
		1076	修正党	千歳町千歳（江島里）	—	千歳町千歳（江島里）	資料編第4巻 p652	／	
		1077	首塚地蔵	超願寺	—	河原林町河原尻	資料編第4巻 p652	／	
		1078	保津の銭蔵祝い	保津町	—	保津町	資料編第4巻 p652	／	
		1079	文覚寺	保津町	—	保津町	資料編第4巻 p653	／	
		1080	牛松山	保津町	—	保津町	資料編第4巻 p654	／	
		1081	佐伯灯籠	薗田野神社	—	薗田野町佐伯	資料編第4巻 p654	／	
		1082	源義経休み石	薗田野町佐伯	—	薗田野町佐伯	資料編第4巻 p656	／	
		1083	院の馬場	薗田野町佐伯	—	薗田野町佐伯	資料編第4巻 p656	／	
		1084	千手寺縁起	千手寺	—	薗田野町鹿谷	資料編第4巻 p656	／	
		1085	内裏塚	薗田野町鹿谷	—	薗田野町鹿谷	資料編第4巻 p657	／	
		1086	別れ石	薗田野町芦ノ山	—	薗田野町芦ノ山	資料編第4巻 p657	／	
		1087	義経の駒摺石	本梅町西加舎	—	本梅町西加舎	資料編第4巻 p658	／	
		1088	判官縄手	本梅町東加舎	—	本梅町東加舎	資料編第4巻 p658	／	
		1089	播磨水	本梅町井手	—	本梅町井手	資料編第4巻 p658	／	
		1090	和泉式部の墓	清泉寺	—	東別院町小泉	資料編第4巻 p659	／	『桑下漫録』には小式部内侍（和泉式部の娘）の石塔とする。
		1091	白髭大明神	白髭神社	—	西別院町神地	資料編第4巻 p660	／	

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
無形民俗文化財	伝説	1092	美女御前の塚	慈恩堂	—	西別院町犬甘野	資料編第4巻 p660	／	美女御前は一般には多田（源）満仲の息子、源賢の若名をいうが、ここでは「多田之御息女」。
		1093	屏風岩	曽我部町法貴	—	曽我部町法貴	資料編第4巻 p660	／	
		1094	法華岩	曽我部町法貴	—	曽我部町法貴	資料編第4巻 p661	／	
		1095	妙智堂	曽我部町南条	—	曽我部町南条	資料編第4巻 p661	／	
		1096	宇治成宮長者旧跡	曽我部町重利・西条の間	—	曽我部町重利・西条の間	資料編第4巻 p661	／	
	伝統の手仕事	1097	桶	個人	—	馬路町池尻	伝統の手仕事 p12	／	
		1098	竹細工	個人	—	千歳町毘沙門	伝統の手仕事 p12	／	
		1099	和傘	個人	—	紺屋町	伝統の手仕事 p13	／	
		1100	唐木仏壇	個人	—	篠町篠	伝統の手仕事 p14	／	
		1101	砥石	個人	—	宮前町宮川	伝統の手仕事 p16	／	
		1102	船大工	個人	—	千代川町湯井	伝統の手仕事 p16	／	
		1103	醤油	個人	—	突抜町	伝統の手仕事 p17	／	
		1104	寒天	個人	—	畑野町広野	伝統の手仕事 p17	／	
	行事食	1105	金山(つくね豆)(お正月・正月飾り)	—	—	—	行事と行事食 p5	／	
		1106	お雑煮（お正月）	—	—	—	行事と行事食 p6	／	
		1107	えび芋と棒だらの炊いたん（お正月・おせち）	—	—	—	行事と行事食 p7	／	
		1108	黒豆ふっくら煮(お正月・穂長（ホナガ))	—	—	保津町・馬路町・旭町	行事と行事食 p8	／	
		1109	七草がゆ（七日正月・小正月）	—	—	千歳町	行事と行事食 p9	／	
		1110	かき餅(節分・立春)	—	—	上矢田町	行事と行事食 p11	／	
		1111	こんにゃく入りかやくご飯（針供養）	—	—	篠町	行事と行事食 p12	／	
		1112	小松菜とお揚げの炊いたん（初午）	—	—	旭町	行事と行事食 p13	／	
		1113	よもぎ団子（おしゃかさん）	—	—	篠町	行事と行事食 p15	／	
		1114	よもぎの大福もち(春の彼岸)	—	—	東本梅町	行事と行事食 p16	／	

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
無形民俗文化財	行事食	1115	茶碗蒸し（愛宕講）	—	—	篠町、馬路町、保津町、曽我部町、河原林町	行事と行事食 p19	／	
		1116	ひし餅（ひな祭り）	—	—	—	行事と行事食 p18	／	
		1117	雛寿司（ひな祭り）	—	—	—	行事と行事食 p19・69	／	
		1118	巻き寿司（出雲風流花踊り）	—	—	千歳町	行事と行事食 p20	／	
		1119	桜の花の塩漬け(出雲風流花踊り)	—	—	千歳町	行事と行事食 p20・91	／	
		1120	たけのこご飯（苗代づくり）	—	—	畑野町	行事と行事食 p21	／	
		1121	やまぶきの佃煮(苗代づくり)	—	—	畑野町	行事と行事食 p21・76	／	
		1122	わらびとお揚げの炊いたん（苗代づくり）	—	—	畑野町	行事と行事食 p21・76	／	
		1123	山椒の花の佃煮(苗代づくり)	—	—	畑野町	行事と行事食 p21	／	
		1124	いちごジャム（亀岡光秀まつり）	—	—	宮前町	行事と行事食 p23	／	
		1125	牛乳かん（亀岡光秀まつり）	—	—	宮前町	行事と行事食 p23・90	／	
		1126	えんどうご飯（端午の節句）	—	—	大井町	行事と行事食 p24	／	
		1127	かしわ餅（端午の節句）	—	—	大井町	行事と行事食 p24・87	／	
		1128	ちまき（端午の節句）	—	—	大井町	行事と行事食 p24・87	／	
		1129	いばら団子（ヨウカビ）	—	—	旭町	行事と行事食 p25	／	
		1130	おこびる（炊き合わせ)(サビラキ(田植え))	—	—	東別院町、畑野町、吉川町	行事と行事食 p27	／	
		1131	はったい粉（麦刈り）	—	—	保津町	行事と行事食 p28	／	
		1132	水無月（水無月祭）	—	—	大井町	行事と行事食 p29	／	
		1133	麦餅（サナブリ）	—	—	本梅町、畑野町千ヶ畑	行事と行事食 p31	／	
		1134	あんころ餅（犬甘野の御田）	—	—	西別院町犬甘野	行事と行事食 p32	／	
		1135	冷やしそうめん(土用)	—	—	曽我部町	行事と行事食 p33	／	
		1136	うなぎの蒲焼き(土用)	—	—	曽我部町	行事と行事食 p33	／	
		1137	茄子とあらめの炊いたん（お盆）	—	—	曽我部町	行事と行事食 p35	／	

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
無形民俗文化財	行事食	1138	とり貝寿司（佐伯灯籠）	—	—	薙田野町	行事と行事食 p36	／	
		1139	しんこ団子（地蔵盆）	—	—	曽我部町、篠町	行事と行事食 p37	／	
		1140	すいかポンチ（地蔵盆）	—	—	曽我部町、篠町	行事と行事食 p37・89	／	
		1141	鱧の箱寿司（湯立）	—	—	東別院町、西別院町、千代川町、保津町	行事と行事食 p39	／	
		1142	月見だんご（お月見）	—	—	東別院町	行事と行事食 p40	／	
		1143	三色のおはぎ（秋の彼岸）	—	—	—	行事と行事食 p41	／	
		1144	松茸と地鶏のすき焼き（保津の火祭り）	—	—	保津町	行事と行事食 p43	／	
		1145	松茸のお吸い物(保津の火祭り)	—	—	保津町	行事と行事食 p43	／	
		1146	鯖寿司（亀岡祭）	—	—	上矢田町	行事と行事食 p44	／	
		1147	ぜんざい（秋祭り）	—	—	大井町、旭町、千代川町	行事と行事食 p45	／	
		1148	亥の子のぼたもち（亥の子）	—	—	畑野町	行事と行事食 p47	／	
		1149	小鯛の塩焼き（恵比寿祭り）	—	—	吉川町	行事と行事食 p48	／	
		1150	白みそ（お正月）	—	—	—	行事と行事食 p48・66	／	
		1151	鯉の煮物（新嘗祭）	—	—	旭町	行事と行事食 p49	／	大井町の大井神社の氏子地域では鯉を食べない。
		1152	利休みたらし団子（新嘗祭）	—	—	旭町	行事と行事食 p49・90	／	
		1153	いとこ煮（事始め・冬至）	—	—	—	行事と行事食 p51	／	
		1154	白餅（お火焚き祭）	—	—	東本梅町、東別院町、上矢田町、保津町、千代川町	行事と行事食 p51・52	／	
		1155	麦飯とろろ（大晦日）	—	—	宮前町	行事と行事食 p53	／	
		1156	赤飯（妊娠・食い初め）	—	—	—	行事と行事食 p55	／	
		1157	はらわたもち（産屋餅）（出産）	—	—	—	行事と行事食 p55	／	
		1158	鯉のみそ汁（出産）	—	—	—	行事と行事食 p55	／	
		1159	ずいき（出産）	—	—	—	行事と行事食 p55	／	煮物・和え物などにして食べる。

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
無形民俗文化財	行事食	1160	鯛の塩焼き（食い初め）	—	—	—	行事と行事食 p55	／	
		1161	黒豆（食い初め）	—	—	—	行事と行事食 p55	／	
		1162	蛸（食い初め）	—	—	—	行事と行事食 p55	／	
		1163	巻き寿司（運動会）	—	—	—	行事と行事食 p56	／	
		1164	鯛（ミヤノトウ）	—	—	—	行事と行事食 p58	／	前年と翌年の宮の頭を招き、鯛を筆頭に36品に及ぶ料理で接待をする。
		1165	鯛・海老（ミヤノトウ）	—	—	—	行事と行事食 p58	／	親戚と隣組を招いて本膳でもてなし、鯛や海老などの土産を持たせる。
		1166	鏡餅・マツタケ・枝豆（ミヤノトウ）	—	—	—	行事と行事食 p58	／	氏神様に供える。
		1167	煮干しのだし	—	—	—	行事と行事食 p65	／	
		1168	昆布と鰹のだし	—	—	—	行事と行事食 p65	／	
		1169	赤みそ	—	—	—	行事と行事食 p66	／	
		1170	栗おこわ	—	—	—	行事と行事食 p67	／	
		1171	藤ごはん	—	—	—	行事と行事食 p67	／	
		1172	小芋ごはん	—	—	—	行事と行事食 p68	／	
		1173	小豆粥	—	—	—	行事と行事食 p68	／	
		1174	いなり寿司	—	—	—	行事と行事食 p69	／	
		1175	鯛のお吸い物	—	—	—	行事と行事食 p70	／	
		1176	けんちん汁	—	—	—	行事と行事食 p70	／	
		1177	梅干し	—	—	—	行事と行事食 p71	／	
		1178	しょうが漬け	—	—	—	行事と行事食 p71	／	
		1179	たくあん	—	—	—	行事と行事食 p72	／	
		1180	白菜のぬか漬け	—	—	—	行事と行事食 p72	／	
		1181	どぼ漬け	—	—	—	行事と行事食 p73	／	
		1182	なすのからし漬け	—	—	—	行事と行事食 p73	／	
		1183	福神漬け	—	—	—	行事と行事食 p74	／	
		1184	壬生菜の塩漬け	—	—	—	行事と行事食 p74	／	
		1185	小かぶのあちゃら漬け	—	—	—	行事と行事食 p75	／	
		1186	千枚漬け	—	—	—	行事と行事食 p75	／	
		1187	おから	—	—	—	行事と行事食 p77	／	
		1188	大豆の五目煮	—	—	—	行事と行事食 p77	／	
		1189	七色のおあえ	—	—	—	行事と行事食 p78	／	
		1190	かぶら蒸し	—	—	—	行事と行事食 p78	／	

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
無形民俗文化財	行事食	1191	茄子とにしんの炊いたん	—	—	—	行事と行事食 p79	／	
		1192	賀茂なすの田楽	—	—	—	行事と行事食 p79	／	
		1193	とうがらしとちりめんじゃこの炊いたん	—	—	—	行事と行事食 p80	／	
		1194	ずいきなます	—	—	—	行事と行事食 p80	／	
		1195	切干し大根	—	—	—	行事と行事食 p81	／	
		1196	きゅうりのしょうゆ漬け	—	—	—	行事と行事食 p81	／	
		1197	ほうれん草と小芋のおひたし	—	—	—	行事と行事食 p82	／	
		1198	さつまいもの白あえ	—	—	—	行事と行事食 p82	／	
		1199	さつまいものつる煮	—	—	—	行事と行事食 p83	／	
		1200	干しずいきとお揚げの炊いたん	—	—	—	行事と行事食 p83	／	
		1201	だて巻き	—	—	—	行事と行事食 p84	／	
		1202	紅白なます	—	—	—	行事と行事食 p84	／	
		1203	抹茶きんとん	—	—	—	行事と行事食 p85	／	
		1204	ごまめ	—	—	—	行事と行事食 p85	／	
		1205	栗の渋皮煮	—	—	—	行事と行事食 p86	／	
		1206	菊花かぶ	—	—	—	行事と行事食 p86	／	
		1207	丁稚ようかん	—	—	—	行事と行事食 p88	／	
		1208	いもようかん	—	—	—	行事と行事食 p88	／	
		1209	野菜の蒸しパン	—	—	—	行事と行事食 p89	／	
		1210	甘酒	—	—	—	行事と行事食 p91	／	
記念物	史跡	1211	狐塚古墳	亀岡市教育委員会	—	余部町風ノ口	文化財一覧	■	1,355.71㎡。5筆。
		1212	足利高氏旗挙げの地	八幡宮	—	篠町篠	文化財一覧	■	
		1213	亀山城惣構跡（土塁）	天満神社	—	京町	文化財一覧	■	
		1214	亀山城惣構跡（土塁）	嶺樹院	—	西竪町	文化財一覧	＊■	
		1215	亀山城惣構跡（土塁）	宗堅寺	—	西竪町	文化財一覧	＊■	
		1216	亀山城惣構跡（土塁）	聖隣寺	—	東竪町	文化財一覧	＊■	
		1217	亀山城惣構跡（土塁）	亀岡市	—	東竪町	文化財一覧	＊■	坂部家旧宅。
		1218	亀山城惣構跡（土塁）	宗福寺	—	矢田町	文化財一覧	＊■	
		1219	形原松平家墓所	光忠寺	—	古世町	—	■	

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
記念物	史跡	1220	金輪寺境内	金輪寺	—	宮前町宮川	文化財一覧	＊	1件。
		1221	穴太寺境内	穴太寺	—	曽我部町穴太	文化財一覧	＊	1件。
		1222	龍潭寺境内	龍潭寺	—	薗田野町太田	文化財一覧	＊	1件。
		1223	鍬山神社境内	鍬山神社	—	上矢田町	文化財一覧	＊	1件。
		1224	千手寺境内	千手寺	—	薗田野町鹿谷	文化財一覧	＊	1件。
		1225	延福寺境内	延福寺	—	本梅町西加舎	文化財一覧	＊	1件。
		1226	出雲大神宮境内	出雲大神宮	—	千歳町千歳	文化財一覧	＊	1件。
		1227	丹波国国分寺跡附八幡神社跡	亀岡市・国分寺	—	千歳町国分	文化財一覧	◎	指定合計面積73,988.98㎡。
		1228	千歳車塚古墳	千歳・小口・出雲財産区、亀岡市	—	千歳町千歳	文化財一覧	◎	6，280㎡。周濠部分亀岡市所有：3,444㎡。
	中世城館跡	1229	大平山城跡	—	不明	東本梅町赤熊・東大谷、南丹市園部町	中世城館跡調査p342	／	保存状況：完存。城主：不明。
		1230	荷成山城跡	—	不明	宮前町宮川	中世城館跡調査p343	／	保存状況：完存。城主：不明。
		1231	神尾山（本目）城跡	—	戦国時代	宮前町、東本梅町	中世城館跡調査p343	／	保存状況：完存。城主：柳本賢治・細川晴元・明智光秀・野々口西蔵坊。
		1232	宮川城跡	—	戦国時代	宮前町宮川	中世城館跡調査p345	／	保存状況：完存。城主：森美作守。
		1233	猪倉養源寺城跡	—	—	宮前町猪倉・宮川	中世城館跡調査p96	／	城館類似遺構。
		1234	井内（猪倉）城跡	—	戦国時代	宮前町、本梅町	中世城館跡調査p346	／	保存状況：完存。城主：井内氏。
		1235	滝ヶ嶺（加舎）城跡	—	不明	本梅町平松	中世城館跡調査p347	／	保存状況：完存。城主：森美作守。
		1236	千軒寺跡	—	不明	本梅町西加舎	中世城館跡調査p348	／	保存状況：完存。維持主体：不明。
		1237	数掛山（本梅）城跡	—	不明	本梅町平松	中世城館跡調査p349	／	保存状況：完存。城主：波多野与兵衛、波多野与兵衛尉。
		1238	千ヶ畑城跡	—	不明	畑野町広野	中世城館跡調査p350	／	保存状況：完存。城主：不明。
		1239	川関城跡	—	—	千代川町川関	中世城館跡調査p96	／	城館類似遺構。
		1240	神前東城跡	—	不明	宮前町神前	中世城館跡調査p350	／	保存状況：完存。城主：不明。
		1241	神前西城跡	—	不明	宮前町神前	中世城館跡調査p352	／	保存状況：完存。城主：不明。
		1242	北ノ庄城跡	—	—	千代川町北ノ庄・湯井	中世城館跡調査p96	／	城館類似遺構。

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
記念物	中世城館跡	1243	千手寺城跡	—	不明	薗田野町、宮前町	中世城館跡調査 p352	／	保存状況：完存。維持主体：不明。
		1244	金岐城跡	—	—	大井町、薗田野町	中世城館跡調査 p96	／	城館類似遺構。
		1245	太田山城跡	—	不明	大井町、薗田野町	中世城館跡調査 p353	／	保存状況：完存。城主：不明。
		1246	太田館跡	—	—	薗田野町太田	中世城館跡調査 p96	／	現状顕著な遺構確認なし。
		1247	太田城跡	—	不明	薗田野町太田	中世城館跡調査 p354	／	保存状況：一部損壊。城主：松井氏。
		1248	丸勘（鹿谷）城跡	—	不明	薗田野町鹿谷	中世城館跡調査 p355	／	保存状況：一部損壊。城主：竹岡氏。
		1249	西山城跡	—	不明	薗田野町鹿谷・奥条	中世城館跡調査 p355	／	保存状況：完存。城主：不明。
		1250	牛松山（柿花）城跡	—	不明	薗田野町柿花・芦ノ山	中世城館跡調査 p356	／	保存状況：完存。城主：畑弾正忠、畑牛之充。
		1251	佐伯館跡	—	—	薗田野町佐伯	中世城館跡調査 p97	／	現状顕著な遺構確認なし。
		1252	丸山（茶屋）城跡	—	不明	薗田野町佐伯	中世城館跡調査 p356	／	保存状況：完存。城主：不明。
		1253	出山館跡	—	—	薗田野町佐伯	中世城館跡調査 p97	／	現状顕著な遺構確認なし。
		1254	高岳城跡	—	不明	薗田野町佐伯	中世城館跡調査 p357	／	保存状況：完存。城主：大石大和守。
		1255	穴太城跡	—	不明	曽我部町穴太・西条	中世城館跡調査 p357	／	保存状況：完存。維持主体：赤沢加賀守。
		1256	並河城跡	—	鎌倉時代～戦国時代	大井町並河	中世城館跡調査 p358	／	保存状況：一部損壊。城主：並河氏。
		1257	高野林城跡	—	不明	千代川町高野林	中世城館跡調査 p360	／	保存状況：完存。城主：不明。
		1258	小川城跡	—	—	千代川町小川	中世城館跡調査 p97	／	現状顕著な遺構確認なし。
		1259	郷ノ口城跡	—	—	旭町三俣	中世城館跡調査 p97	／	城館類似遺構。
		1260	美濃田館跡	—	不明	旭町柳谷	中世城館跡調査 p361	／	保存状況：完存。城主：不明。
		1261	出雲館跡	—	—	千歳町千歳	中世城館跡調査 p97	／	現状顕著な遺構確認なし。
		1262	御影山城跡	—	不明	千歳町千歳	中世城館跡調査 p361	／	保存状況：完存。城主：柳本伊予守、内藤氏。
		1263	中館跡	—	—	千歳町山ノ口	中世城館跡調査 p97	／	現状顕著な遺構確認なし。
		1264	江島里城跡	—	不明	千歳町北山	中世城館跡調査 p362	／	保存状況：完存。城主：不明。
		1265	鬼ヶ嶽城跡	—	—	千歳町国分・千歳	中世城館跡調査 p97	／	城館類似遺構。
		1266	馬路館跡	—	不明	馬路町住吉	中世城館跡調査 p362	／	現状顕著な遺構確認なし。城主：不明。

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
記念物	中世城館跡	1267	勝林島館跡	—	—	河原林町勝林島	中世城館跡調査 p97	／	現状顕著な遺構確認なし。
		1268	保津谷川城跡	—	不明	保津町保津山	中世城館跡調査 p364	／	保存状況：完存。城主：不明。
		1269	保津城跡	—	—	保津町今石・山王俣	中世城館跡調査 p97	／	城館類似遺構。
		1270	保津館跡	—	—	保津町構内	中世城館跡調査 p97	／	現状顕著な遺構確認なし。
		1271	請田城跡	—	不明	保津町保津山	中世城館跡調査 p364	／	保存状況：完存。城主：不明。
		1272	波多城跡	—	不明	保津町保津山	中世城館跡調査 p365	／	保存状況：完存。城主：不明。
		1273	ショウガヤシキ跡	—	—	篠町山本・王子	中世城館跡調査 p97	／	城館類似遺構。
		1274	山本城跡	—	—	篠町山本	中世城館跡調査 p97	／	城館類似遺構。
		1275	馬堀城跡	—	不明	篠町馬堀	中世城館跡調査 p365	／	保存状況：半壊。城主：山田氏。
		1276	土居館跡	—	—	篠町浄法寺	中世城館跡調査 p97	／	現状顕著な遺構確認なし。
		1277	亀山城跡	—	戦国時代～江戸時代	荒塚町、古世町	中世城館跡調査 p366	／	保存状況：一部損壊。城主：明智光秀ほか。惣構の一部は市指定史跡。
		1278	古世城跡	—	不明	三宅町、篠町	中世城館跡調査 p368	／	保存状況：一部損壊。城主：楠氏。
		1279	矢田館跡	—	—	中矢田町大末	中世城館跡調査 p97	／	現状顕著な遺構確認なし。
		1280	矢田城跡	—	不明	下矢田町東法楽寺・西法楽寺	中世城館跡調査 p369	／	保存状況：半壊。城主：長沢氏。
		1281	余部（丸岡）城跡	—	戦国時代	余部町古城・榿又・下条	中世城館跡調査 p371	／	保存状況：一部損壊。城主：野田泰忠、福井氏。
		1282	広田館跡	—	—	篠町広田	中世城館跡調査 p98	／	現状顕著な遺構確認なし。
		1283	森館跡	—	—	篠町森	中世城館跡調査 p98	／	現状顕著な遺構確認なし。
		1284	浄法寺城跡	—	戦国時代	篠町浄法寺	中世城館跡調査 p372	／	保存状況：全壊。城主：渡辺美作守。
		1285	寺村館跡	—	—	曽我部町寺	中世城館跡調査 p98	／	現状顕著な遺構確認なし。
		1286	犬飼城跡	—	不明	曽我部町犬飼	中世城館跡調査 p373	／	保存状況：完存。城主：上原氏。
		1287	法貴館跡	—	不明	曽我部町法貴	中世城館跡調査 p374	／	保存状況：完存。城主：酒井氏。

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
記念物	中世城館跡	1288	法貴山城跡	—	戦国時代	曽我部町法貴	中世城館跡調査 p374	／	保存状況：完存。城主：酒井三河守、長沢家綱。
		1289	法貴山東城跡	—	不明	曽我部町法貴	中世城館跡調査 p375	／	保存状況：完存。城主：不明。
		1290	西松尾山城跡	—	—	曽我部町法貴	中世城館跡調査 p98	／	城館類似遺構。
		1291	笑路（松尾山）城跡	—	戦国時代	西別院町笑路	中世城館跡調査 p376	／	保存状況：一部損壊。城主：長沢氏。
		1292	犬甘野（名倉）城跡	—	不明	西別院町犬甘野	中世城館跡調査 p377	／	保存状況：完存。城主：不明。
		1293	下条館跡	—	不明	西別院町犬甘野	中世城館跡調査 p378	／	保存状況：完存。城主：不明。
		1294	下条城跡	—	不明	西別院町柚原	中世城館跡調査 p378	／	保存状況：完存。城主：不明。
		1295	万願寺城跡	—	—	西別院町万願寺	中世城館跡調査 p98	／	城館類似遺構。
		1296	東掛（長願寺領）城跡	—	不明	東別院町東掛・南掛	中世城館跡調査 p379	／	保存状況：完存。城主：赤沢加賀守、石田氏。
		1297	東掛館跡	—	不明	東別院町東掛	中世城館跡調査 p380	／	保存状況：完存。城主：不明。
		1298	南掛館跡	—	—	東別院町南掛	中世城館跡調査 p98	／	城館類似遺構。
		1299	老ノ坂（大枝山）館跡	—	不明	篠町王子	中世城館跡調査 p380	／	保存状況：半壊。城主：内藤備前守元貞。
		1300	氷所城跡	—	不明	亀岡市旭町、南丹市八木町氷所	中世城館跡調査 p306	／	保存状況：完存。城主：不明。
		1301	神吉城跡	—	不明	亀岡市旭町三俣・渋溝、南丹市八木町神吉	中世城館跡調査 p307	／	保存状況：完存。城主：明智源七郎。
		1302	家老ヶ岳城跡	—	不明	亀岡市千代川町千原・拝田、南丹市八木町八木	中世城館跡調査 p316	／	保存状況：完存。城主：不明。
		1303	八木（神前北山）城跡	—	戦国時代	亀岡市宮前町神前ほか、南丹市八木町八木	中世城館跡調査 p317	／	保存状況：完存。城主：内藤国貞・内藤宗勝・内藤忠俊・明智秀満。

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
記念物	名勝	1304	聖隣寺庭園	聖隣寺	寛政 10(1798)以前	東竪町	資料編第 4 巻 p172	／	聖隣寺創建は明応 2（1493）年、あるいは小早川秀秋（1582～1602）の子である聖諦院の菩提のための創建とされる（本堂は寛政 10（1798）年の再建）。
		1305	鍬山神社園池	鍬山神社	不明	上矢田町上垣内	資料編第 4 巻 p173	／	江戸時代後期には庭園的装いを持つようになったようであるが、古くは灌漑池として構築されたと推定される。
		1306	旧田中源太郎邸庭園（保津川観光ホテル楽々荘）	光明文化芸術株式会社	明治 37(1904) ヵ	北町	資料編第 4 巻 p174	◇	小川治兵衛作庭と伝えられる。和風建物の改造工事（明治 37 年から 5 年間）に沿って作庭されたと判断。府登録文化財名称「楽々荘庭園」(1,864 ㎡)。
		1307	法蔵寺庭園	法蔵寺	文政 11(1828) ヵ	宇津根町東浦	資料編第 4 巻 p177	／	年代は本堂再建（文政 11 年）と同時期と判断。
		1308	浄光寺庭園	浄光寺	文政 3(1820) ヵ	吉川町吉田	資料編第 4 巻 p178	／	年代は本堂再建（文政 3 年）と同時期と判断。
		1309	金花寺庭園	金花寺	江戸時代後期	大井町土田	資料編第 4 巻 p179	／	
		1310	浄福寺庭園	浄福寺	江戸時代後期ヵ	千代川町湯井	資料編第 4 巻 p179	＊	
		1311	臨生寺庭園	臨生寺	明治時代前半	千代川町小林	資料編第 4 巻 p180	／	
		1312	栗山正明邸庭園	（個人）	江戸時代中期	篠町王子	資料編第 4 巻 p181	／	
		1313	村山神社園池（本殿南側）	村山神社	不明	篠町森	資料編第 4 巻 p182	／	村山神社は延喜式内社に比定される古社で、応永 27（1420）年再興という。古くに灌漑用として築いた池と推測される。
		1314	村山神社園池（本殿東側）	村山神社	昭和年間ヵ	篠町森	資料編第 4 巻 p183	／	
		1315	宝泉寺庭園（庫裏裏庭）	宝泉寺	江戸時代ヵ	篠町山本	資料編第 4 巻 p183	／	昭和 4(1929)年改修。
		1316	宝泉寺庭園（本堂北庭）	宝泉寺	江戸時代以降	篠町山本	資料編第 4 巻 p184	／	
		1317	真神寺庭園	真神寺	大正 4(1915) ヵ	旭町西島	資料編第 4 巻 p184	／	年代は沓脱石側面の記載から判断。
		1318	神応寺庭園	神応寺	江戸時代中期以降	千歳町毘沙門	資料編第 4 巻 p185	／	年代は寺伝では江戸時代中期。
		1319	金光寺庭園	金光寺	江戸時代後期	千歳町千歳	資料編第 4 巻 p185	／	
		1320	福性寺庭園	福性寺	弘化 3(1846) ヵ	保津町子守	資料編第 4 巻 p186	／	年代は福性寺再建再建（弘化 3 年）と同時と判断。

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
記念物	名勝	1321	苗秀寺庭園	苗秀寺	江戸時代中期ヵ	薗田野町佐伯	資料編第4巻 p187	／	年代は寺伝による。
		1322	龍潭寺庭園（南側園池）	龍潭寺	明治38(1905)ヵ	薗田野町太田	資料編第4巻 p187	◆	明治38年に建てられた「当村青年会中」と彫られた碑があり、園池をつくった時の記念碑と推測される。龍潭寺庭園として府指定名勝。
		1323	龍潭寺庭園（自然石群）	龍潭寺	—	薗田野町太田	資料編第4巻 p188	◆	龍潭寺庭園として府指定名勝。
		1324	龍潭寺庭園（大池）	龍潭寺	不明	薗田野町太田	資料編第4巻 p189	◆	水田の灌漑用池として古くに掘られたものと推測される。龍潭寺庭園として府指定名勝。
		1325	千手寺庭園	千手寺	延宝5(1677)ヵ	薗田野町鹿谷	資料編第4巻 p190	／	年代については決定しがたいが、寺伝では延宝5（1677）年に旧本堂と共につくられたものという。
		1326	永徳寺庭園	永徳寺	明治16(1883)以後	本梅町中野	資料編第4巻 p191	／	明治16年に方丈が焼失し、その後の再建時に作られたと伝わる。
		1327	延福寺庭園	延福寺	安永6(1777)ヵ	本梅町西加舎	資料編第4巻 p191	＊	年代は境内の説明板に江戸時代とあり。庫裏再建の安永6年頃の作庭と判断。
		1328	法常寺庭園（方丈北庭）	法常寺	江戸時代中期	畑野町千ヶ畑	資料編第4巻 p193	◆	法常寺庭園として府指定名勝。
		1329	法常寺庭園（方丈南庭）	法常寺	明治時代以後ヵ	畑野町千ヶ畑	資料編第4巻 p195	◆	法常寺庭園として府指定名勝。
		1330	二階堂國彦邸庭園	個人	明治20～30年代	曽我部町寺	資料編第4巻 p195	／	
		1331	常徳寺庭園	常徳寺	江戸時代ヵ	曽我部町犬飼	資料編第4巻 p196	／	
		1332	山王寺庭園	山王寺	江戸時代後期	曽我部町犬飼	資料編第4巻 p197	／	
		1333	三恵院庭園	三恵院	明治時代後半	曽我部町重利	資料編第4巻 p197	／	
		1334	穴太寺庭園	穴太寺	江戸時代中期～明治時代	曽我部町穴太	資料編第4巻 p198	◆	
	歴史の道	1335	山陰道　老ノ坂	—	—			▲※	※国選定
		1336	保津川水運	—	—			▲※	※国選定
		1337	山陰街道	—	—	旧城下町、篠町篠、大井町並河・南金岐、千代川町川関・千原	まちづくり pIV-6	／	旧城下町の町並・篠町篠の集落景観・大井町並河の集落景観・大井町南金岐の水田景観・千代川町川関と千原の集落景観
		1338	篠山街道	—	—	吉川町吉田	まちづくり pIV-7	／	吉川町吉田の集落景観
		1339	西国三十三所観音巡礼道	—	—	保津町、東別院町	まちづくり pIV-7	／	保津町の集落景観・東別院町の集落景観

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
記念物	歴史の道	1340	郡西国三十三所	元明院 ・東光寺 ・観音堂 ・耕雲寺 ・蔵宝寺 ・東林寺 ・文覚寺 ・和光院 ・極楽寺 ・福林寺 ・導養寺 ・慶応寺 ・光徳寺 ・観音堂 ・興禅寺 ・西来寺 ・泰清寺 ・智恵寺 ・観音堂 ・池上院 ・大悲院 ・光明寺 ・阿弥陀寺 ・林泉寺 ・長安寺 ・清源寺 ・泉谷寺 ・青雲寺 ・護国寺 ・水上庵 ・瑞雲寺 ・観音堂	—	亀岡市旭町、千歳町、保津町、河原林町、馬路町、旭町 南丹市八木町	まちづくり pIV-8	／	川東霊場三十三所。
		1341	中筋三十三所	九品寺 ・龍穏寺 ・観音堂 ・観景寺 ・西福寺 ・観音堂 ・教伝寺 ・南陽寺 ・徳雲寺 ・康安寺 ・西光寺 ・羅漢堂 ・福田寺 ・久昌寺 ・観音堂 ・岩谷山 ・龍興寺 ・雲処軒 ・東雲庵 ・宗福寺 ・穴太寺 ・金剛寺 ・小松寺 ・大師堂 ・嶺松寺 ・浄福寺 ・常観寺 ・神宮寺 ・大乗寺 ・龍潭寺 ・本田庵 ・瑞巌寺 ・千手寺	—	亀岡市千代川町、曽我部町、千代川町、大井町、薙田野町 南丹市園部町、八木町	まちづくり pIV-8	／	
		1344	愛宕参詣道	馬路町の町並	—	馬路町	まちづくり pIV-9	／	

種別		No.	文化財名称	所有者・管理者	年代	所在地	典拠	指定	備考
記念物	歴史の道	1345	妙見参詣道	曽我部町犬飼と法貴の集落景観	—	曽我部町犬飼・法貴	まちづくり pIV-9	／	
		1346	保津浜道	河原林町河原尻の町並	—	河原林町河原尻	まちづくり pIV-10	／	
	天然記念物	1347	薗田野の菫青石仮晶（桜石）	積善寺・個人	—	薗田野町柿花	文化財一覧	◎※	※京都府自然200選 290.9㎡。
		1348	オオサンショウウオ	（地域を定めない種の指定）	—	—	文化財一覧	◎	
		1349	アユモドキ	（地域を定めない種の指定）	—	上桂川・曽我谷川	文化財一覧	◎※	※国内希少野生動植物種（環境省指定）
	文化財環境保全地区	1350	鍬山神社文化財環境保全地区	鍬山神社	—	上矢田町上垣内	文化財一覧	▲※	※府環境保全地区
		1351	鎌倉神社文化財環境保全地区	鎌倉神社	—	東別院町鎌倉	文化財一覧	▲※	※府環境保全地区
		1342	松尾神社文化財環境保全地区	松尾神社	—	旭町今峠	文化財一覧	▲※	※府環境保全地区
		1343	與能神社文化財環境保全地区	與能神社	—	曽我部町寺	文化財一覧	▲※	※府環境保全地区
		1352	薗田野神社文化財環境保全地区	薗田野神社	—	薗田野町佐伯	文化財一覧	▲※	※府環境保全地区
		1353	小幡神社文化財環境保全地区	小幡神社	—	曽我部町穴太	文化財一覧	▲※	※府環境保全地区
		1354	法常寺文化財環境保全地区	法常寺	—	畑野町千ヶ畑	文化財一覧	▲※	※府環境保全地区
文化的景観		1355	大堰川水運の伝統を継ぐ船下り	—	—	保津川	文化的景観保存 p9	／	
		1356	筏師と船頭の集落	—	—	保津町、篠町山本	文化的景観保存 p9	／	
		1357	畦木	—	—	大井町南金岐	文化的景観保存 p10	／	
		1358	マチガワ（水路）とトイバ（洗場）	—	—	千代川町川関・千原	文化的景観保存 p10	／	
		1359	愛宕参詣道と筏道の往来で賑わった村	—	—	馬路町	文化的景観保存 p11	／	
		1360	水害と闘った集落	—	—	河原林町勝林島・河原尻	文化的景観保存 p11	／	
		1361	江戸時代の町割りを受け継ぐ旧城下町と山鉾行事	—	—	—	文化的景観保存 p12	／	
国内希少野生動植物種（環境省指定）		1362	アユモドキ	（地域を定めない種の指定）	—	曽我谷川・上桂川ほか	文化財一覧	◎※	※国内希少野生動植物種（環境省指定）
		1363	コウノトリ	（地域を定めない種の指定）	—	—	文化財一覧	◎※	※国内希少野生動植物種（環境省指定）

２　地域計画作成の経過

本計画の作成は３か年で進めた。

地域計画作成にあたり、学識経験者・商工観光団体の代表・文化財保存団体・亀岡市の関係部署職員からなる「亀岡市文化財保存活用地域計画に係る協議会」（以下、協議会）を設置し、素案について検討を行った。

また、作成過程においては文化庁地域文化創生本部の指導を受けるとともに、３か年目には、文化財保護委員会および亀岡市教育委員会、パブリックコメントにて意見の聴取を行った。

年月日	内　　容
令和２年度（１か年目）	
令和２年８月２４日	第１回　協議会 議題①　文化庁より　文化財保存活用地域計画について ②　京都府より　京都府文化財保存活用大綱について ③　亀岡市を取り巻く文化財の状況について ④　亀岡市文化財保存活用地域計画について
令和２年１２月２５日	第２回　協議会 議題①　亀岡市内文化財一覧表及び地図等について ②　令和２年度文化財所在確認調査の方針について
令和３年３月11日	第３回　協議会 議題①　亀岡市内の文化財の所在確認調査の成果報告 ②　地域計画に係るストーリー案の事務局からの提示と検討
令和３年度（２か年目）	
令和３年６月１８日	第１回　協議会 議題①　令和３年度の事業計画について ②「活用に係る会議」の参加メンバーについて ③「亀岡の歴史文化」の検討
令和３年９月６日	第２回　協議会 議題①　亀岡市文化財保存活用地域計画の概要説明 ②「亀岡の歴史文化（案）」各項目の検討
令和３年１１月２６日	第３回　協議会 議題①　今後のスケジュールと亀岡市文化財保存活用地域計画のプロット案について ②　亀岡市文化財保存活用地域計画の方針と措置について

令和４年２月２８日	第４回　協議会 議題①　亀岡市文化財保存活用地域計画の内容について ア　目次及び全体構成について イ　現状と課題について ウ　措置と実施主体、年次計画について エ　推進体制について
令和４年度（３か年目）	
令和４年５月２７日	第１回協議会 議題　亀岡市文化財保存活用地域計画の内容について
令和４年５月３０日	亀岡市文化財保護委員会での意見聴取
令和４年６月２１日	亀岡市教育委員会での意見聴取
令和４年７月８日～ ８月８日	パブリックコメント受付
令和４年８月１７日	亀岡市文化財保護委員会で報告
令和４年８月２２日	第２回協議会 議題　亀岡市文化財保存活用地域計画案の最終確認

○亀岡市文化財保存活用地域計画の作成及び変更に係る協議並びに認定文化財保存活用地域計画の実施に係る連絡調整を行うための協議会設置要綱

（趣　旨）

第１条　この要綱は、文化財保護法（昭和２５年法律第２１４号。以下「法」という。）第１８３条の９の規定に基づき、文化財保存活用地域計画（法第１８３条の３に規定する文化財保存活用地域計画をいう。）の作成及び変更に関する協議並びに認定文化財保存活用地域計画（法第１８３条の５第１項に規定する認定文化財保存活用地域計画をいう。）の実施に係る連絡調整を行うための協議会として、亀岡市文化財保存活用地域計画に係る協議会（以下「協議会」という。）を設置することに関し、必要な事項を定めるものとする。

（組　織）

第２条　協議会は、委員１５名以内をもって組織する。

２　協議会の委員は、京都府職員、文化財保存活用支援団体（法第１９２条の２第１項に規定する文化財保存活用支援団体をいう。）、文化財の所有者、学識経験者、商工関係団体、観光関係団体その他の教育長が必要と認める者のうちから、教育長が委嘱する。

（任　期）

第３条　委員の任期は、令和５年３月３１日までとする。ただし、任期満了以降にも第１条に定める事項の継続が必要と会長が認めるときは、所定の期間を定めて任期を延長することができるものとする。

２　前項の規定にかかわらず、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（会長及び副会長）

第４条　協議会に会長及び副会長を置く。

２　会長は、協議会の委員の互選によって定める。

３　会長は、協議会の会務を総理し、これを代表する。

４　副会長は、協議会の委員のうちから会長が指名する。

５　副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

（会　議）

第５条　協議会は、会長が招集し、会長が議長となる。

２　協議会は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

３　会長は、必要があると認めるときは、協議会の委員以外の者を会議に出席させることができる。

（代理出席）
第６条　委員は、会議に出席できないときは、あらかじめ会長の承認を得た場合に限り、当該委員が指定する者を会議に出席させることができる。

（庶　務）
第７条　協議会の庶務は、教育部歴史文化財課において処理する。

（委　任）
第８条　この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、教育長が別に定める。

付　則

この要項は、令和２年８月１３日から施行する。

この要綱は、令和２年１２月２２日から施行する。

３　聞き取り調査　議事録

本計画作成にあたり、各地域で実施した聞き取り調査の議事要旨を示す。なお、議事作成にあたっては上杉委員に協力いただいた。

①亀岡市川東地区
・実施日時：２０２１年8月２３日　9：３０-１１：３０
・実施場所：馬路町公民館
・参加者：丹波 NEW 風土記の里整備促進協議会の皆さん
（馬路町自治会長・副会長、千歳町自治会長・副会長、旭町自治会長・副会長、河原林町自治会長・副会長）

〇意見の概要
〇川東地区、および川東地区の文化財について
・旭町以外の３町は各町史を作っている。内容を改めて振り返り、活用していくことが重要。
・平成３０年３月に川東４町は「まほろば・亀岡かわひがし　～古代丹波の原風景～」として京都府景観資産登録地区に登録されている。信仰、年中行事、歴史的事跡に関する景観が認められたものなので、面的な保存活用をしてほしい。
・川東地区では、人口減少が大きな問題となっている。
・亀岡市の空き家バンクの制度では、希望者が多いのに対して（空き家自体は多いが）登録・提供できる空き家が少ない。外部からの移住希望者は、自然･文化･景観に魅力を感じているのだろう。地域の者にとってみたら当たり前の風景や「普段のこと」だが、そこに魅力があるので、大事にしていかねばならないと思う。一方で、移住してきた人に地域の歴史をきちんと伝えられていないのは課題。
・文化財の整備についての進捗が遅い。目に見える形でスピードアップをしてほしい。
・地蔵盆などの行事について、若い世代が参加しない。合理的な考えに合わないのだろう。こうした行事が「楽しい」ということを伝えることで、地域の誇りが生まれると思う。伝え方・見せ方が問題なのではないか。
・河原林町は「河原林町まちづくり会議」のなかに「みのり豊かなまちづくり委員会」があるが、文化財も「豊かさ」の１つ。
・地域の人たちが地域の文化財のことを知らないことが問題。もっと周知をしてほしい。
・「地域の人が誇りに思ってきた地域」をつないでいくこと、その思いを伝えていくことが重要なのではないか。
・子どもたちに伝えていくために、「教育」が重要となる。
・地域づくりにキャッチフレーズをつけるのもよいのではないか。

〇国分寺・国分尼寺について

・国分寺については平成７年度に整備基本計画がつくられている（※平成２９年度に改訂版が作成）。
・「活用＝人流」だと思われ、その拠点が必要。
・国分寺は地域の先人が守り伝えてきた。そうした「思い・誇り」をつないでいくことが重要。
・国分寺での法会の際の盆踊り（９月）は地域外からも人がたくさん来ていたが、なくなった。露店も出て、楽しみにしていた思い出がある。
・国分尼寺の発掘成果・研究成果が十分に周知、発信されていない。

〇その他

・河原林町は水つきに苦しめられてきた歴史がある。地域に残る伝承を伝えていくことも重要である。
・旭町などには新規就農者の移住がある。
・旭町の「旭メロン」の栽培は 30 年ほど前に一度絶えたが、数年前に復活している。「なごみの里あさひ」（農事組合法人旭の運営）などで販売している。
・馬路町には「馬路大納言」がある。

●ヒアリングを受けての所見

・川東地区は多くの文化財があるが、なかでも国分寺・国分尼寺の存在は、川東地区の人の「誇り」となっており、関心が高いことが改めて理解された。国分寺でお祭りがあったことなど、地域の記憶にもなっている。
・一方で、地域の人びとは両寺の調査成果や概要について周知することが十分できていないと感じている。平成 29 年度に改訂された史蹟丹波国分寺整備基本計画に基づいた整備など、地域の核となる文化財の保存と活用整備を着実に進めていくことが不可欠となる。
・その際、周知が足りないと感じている部分を解消し、さらに地域の誇りを高めてもらうためにも、地域の人びとと一緒に取り組むことのできる整備活用プログラムを検討することが必要ではないか。それは「国分寺は地域の先人が守り伝えてきた」という思い・誇りを次世代につなぐためにも不可欠だろう。
・また、国分寺・国分尼寺に限らず、地域のことをもっと知りたい、そのことで「誇り」が生まれ（より強くなり）、地域活性化につながる、といった意見も複数回、聞くことができた。また、教育が重要である、といった意見も得られた。
・人口減が地域課題だが、一方で新規就農世帯や通勤世帯などの移住もある。Ｕターンを促進すると同時に、こうしたＩ・Ｊターン者に地域の魅力をいかに伝えるか、という点が課題であるともいう。

②亀岡市別院地区
・実施日時：２０２１年8月２３日　１３：３０-１５：３０
・実施場所：別院中学校
・参加者　：「別院のこれからを考える有志の会」 代表　ほか１９名

〇意見の概要
・「別院のこれからを考える有志の会」は、１年半前に発足し、別院の名前の由来に関する最初の講演会では１００人もの人が集まった。しかし、その後、新型コロナウイルスの流行のため、講演形式ではなくフィールドワーク形式を主軸に活動。
・笑路城のことを知ったのがきっかけだった。
・湯谷ヶ岳フィールドワークでは、湯谷ヶ岳に登り、岩塊の多さに驚く。名前を付けることになり、地域の住職に依頼し、地域に広がっている薬師信仰にちなんで名前を付ける。登山では別院の４０名が参加した。地域の人が地域を知る機会となった。また、人と人が結びつくきっかけにもなり、小町プロジェクトが誕生した。
・小町プロジェクトは、湯谷の地域の記憶に「小町の利用した湯壺」があり、現在、他地区にある湯壺の里帰りを企画する。そのプロセスとして小町カフェという地域の人びとの集う企画をつくり、人や思いをつなぐことを実施。
・地域と向き合う学習と生きる人々からの聞き取りを通じて、地域の深堀りをすることが大事だと考えている。
・これまで地域の文化財のことをまったく知らなかったが、一度気づくと、いろいろな断片がつながっていくことが面白い。
・笑路城フィールドワークをしたときに、昔、遊んだ記憶がよみがえった。
・「深掘り」をすることで、自分たちが納得できる。そうすれば自信をもって地域の人や他地域の人に紹介できるようになるのではないか。
・面白さに気づいても、それを共有できる場、つなげていく場がなければ盛り上がらない。その意味でも、この会の活動は大事。
・４０年前に移住先を探していたとき、ヒガンバナの咲く秋の風景に惹かれて湯谷に決めた。
・３０年前に引っ越してきたとき、星空が迫ってくるような夜の風景が印象的だった。
・昔ながらのコミュニティが変わってきた。コミュニティをつなぐ拠り所として文化財がある。
・別院にはたくさんの「お宝」があるが、あまり知られていない。いろいろな歴史を掘り起こすことが重要。
・摂丹街道が昔は重要な交通路だった。昔は先進地域であった。
・ホタルや山菜など、今ある資源を活かすことが大事ではないか。
・別院の苗字も面白い。
・別院には２０の集落があり、それぞれが「お宝」・「物語」を持っている。湯谷を１つのモデルとして、その他の集落についてもそうしたお宝・物語を見つけていくとよいのではないか。
・地域を盛り上げようとする思いをつないでいくことが大事ではないか。
・発信をどうするか、その先に何があるかを考えないといけない。伝える先のビジョンの１つは子どもたちで、もう１つが他の地域の人びととなるのではないか。

・活動をつなげていくには、ワクワクすることが大事。コミュニティ維持のためにも、盛り上げていきたい。

●ヒアリングを受けての所見

・「別院のこれからを考える有志の会」の目指す方向は、歴史や文化を活かした住民による地域づくりの模範となるような内容を備えている。活動が始まって間もなく新型コロナウイルスの影響を受けたため、十分に活動できていないが、これまでに実施した湯谷ヶ岳フィールドワークや小町プロジェクトは、地域づくりの根幹としてなりうる活動内容を含んでおり、今後の活動が楽しみである。

・「別院のこれからを考える有志の会」の課題の１つが、「発信」という点にあることが表明されたが、そうした点は文化財の活用の一環でもある。

・また、ヒガンバナや星空といった、移住者の「最初の印象」というなかに地域の「お宝」の一端が見いだせた。山城などが文化財ととらえられがちだが、地域らしさを形成する要素の中には、こうした当たり前に思えるものが実は重要な場合であることも多い。

・ただ、当たり前にあるものはなかなか気づきにくい。今回、「気づくことで楽しみが生まれる」という意見もあったが、そうした気づきの場を作ることも重要だろう。

③本梅町自治会

・実施日時：２０２１年9月２１日　１３：３０-１５：３０

・実施場所：本梅町ふれあいセンター

・参加者　：本梅町自治会長および各区長　１５名

〇意見の概要

・本梅町の歴史を語る上で「摂津との交流」は重要である。例えば、妙見街道、摂丹街道、篠山街道、一本松（能勢）など。湯の花がひとつの結節点となっていた。屋号（家の呼称）からは街道沿いの往時のにぎわいが見えてくる。

・通婚圏としても摂津側との関係は深い

・建物の大工や炭の卸先としての池田

・西加舎の寒天産業は綾部・大江から職人がきていた。

・本梅地区は摂津とのつながりが強い地域である。そうした歴史文化を「未来につながる」方向を考えたい。

・本梅のくらしについて、田園風景・丹波栗が大きな特徴である。

・桑畑（養蚕）・まつたけ林はあったが今はない

・たばこ小屋は残っている

・中野地区には、「さなえふり」として小麦を混ぜた餅がでていた。

・東加舎地区では、「みやのとう」が年に２回。１０月１０日と１月３日。備えるものが決まっている。中野にも「みやのとう」はあるが、１０月１６日。

・夏の「ほうえ」（法会）は在所ごとに日がきまっている（東加舎：８月２０日　　西加舎：２３日　井手：２４日　平松：２５日　中野：９月１５日）

・法会では盆踊り（丹波音頭など）を踊る。
・秋祭りは１０月１５-１６日と決まっていたが、１０月１０日（体育の日）に変更となり、体育の日の変更によってまた変わっている。
・地域の講がよく残っている。伊勢講・愛宕講・金比羅講・行者講・八幡講・祇園講・念仏講（数珠回しをする）・高野講・稲荷講など。このうち、祇園講と高野講は今はしていない（少なくとも参加者が知る範囲で、という限定付き）が、それ以外の講は１つ以上の在所では続いていることが確認された。

●ヒアリングを受けての所見
・本梅地区は、地域の魅力や伝統行事の話題が多く出たが、全体として「地域らしさ」を未だ十分に見いだせていない印象。
・そうしたなかではあるが、今回の話を通じて「摂津とのかかわり」「交通の要衝」といった「地域らしさ」が１つの可能性として見出せた点は収穫である。これは道・伝承（義経）・通婚・屋号（通称）といった地域の多様な文化財（指定・未指定問わず）の活用（発見・羞恥）につなげることのできるテーマであり、そうした活用を通じて保存や地域らしさの確認につながっていく可能性のあるものである。
・また、十分な比較はできなかったが、本梅地区内の在所ごとに少しずつ、生活文化が違っていることがわかった。法会の時期（は意図的にずらしていたと思われるが）、講の残存･分布、方言（西加舎は綾部・大江と言葉が混ざるなど）などがそうである。各在所で調べていって披露していくといった活動が、今後地域で広まるとよい。
・屋号（通称）などは、子どもたちと一緒に調べるといった活動をしやすい内容と思われる。
・「摂津とのかかわり」といったストーリー（関連文化財群）のなかで、教育とも連動する取り組みの可能な一例として挙げておきたい。

④保津町自治会
・実施日時：２０２１年１２月１７日　１３：３０－１５：００
・実施場所：保津町公民館
・参加者　：保津町自治会長

○意見概要
・都市計画の市街化調整区域の制限緩和に伴って、新規住民の増加が見込まれたことから、２０１９年に『集落の教科書』を自治会で作成した。その後、写真などを利用して保津町の良さを示そうということで、２０２０年に保津写真集として、『ほっとずっと保津町の今と昔』を作成。
・『集落の教科書』は移住者を念頭に置きつつ、保津町で生活する際に必要な情報のほか、各区（１～８区）の独特の行事などを掲載。自治会役員と各区から選出の連携委員、各区長、そして各区から物知りの人などが協力をして作成した。そのなかで、地区に残る伝統的な行事についても把握できている。
・とりわけ、１区（長尾自治会長は１区民）については、参会･帳入りと呼ばれる成人儀礼が今なお、続けられているなど、特に伝統行事が続けられている地区である。成人儀礼は、新住民に対して

も適用されている（それが自治会参加にもつながっている）。
・参会・帳入りは、これまで市でも把握されていなかった（注目されてこなかった）行事であり、貴重な伝統行事・習俗である。帳面も残されているようであり、機会があれば調査できればよい。
・歴史や文化を調査するような活動ないし団体については、存在しない。ただし、自治会長としては、今後、まちづくりを構想する諮問機関などを立ち上げる（既存のものが機能していないため再編）予定であり、そのなかで地域の歴史を活かした地域づくりを検討してもらえればよい、と考えている。

●ヒアリングを受けての所見
・新住民に知ってほしい地域の教科書・「トリセツ」を分かりやすく（簡単に）説明する『集落の教科書』は、他の地域にもぜひ紹介したい内容を備えたものである。歴史や文化を活かした地域づくりということを進める際には、必要なものではないか。行政内の連携を検討するときの具体的なヒントが含まれているのではないだろうか。
・一方で、歴史や文化を積極的に調査し、地域に広める活動・団体がないのはややもったいない気がする。小学校との連携も含め、そうした活動が地域にあれば、地域住民が自分たちの生活になにげなくある歴史・文化に「誇り」を持てる機会が増えるのではないだろうか。

⑤余部史談会
・実施日時：２０２１年１２月１７日　１０：３０－１２：００
・実施場所：余部公民館
・参加者　：余部史談会、余部町自治会長

〇意見概要
・余部史談会は２０２０年４月の発足後、月１回程度の活動を精力的に続けている。新型コロナウイルスの流行と重なっていることもあり、活動が十分に地域に浸透しているわけではないが、フィールドワークや史料調査など、多様な調査を重ねてきている。地域の史談会として、模範となるような姿である。
・史談会メンバーからは、以前の余部は「表街道」に沿った部分のみに家がある集落であったが、現在は新興住宅が多くなっていること、そうした新住民に対して余部の歴史を伝えたい、という意見が出た。また、史談会の「夢」としては、地域づくりに関わっていく、子どもに地域の良さを継承していく、といったことがある、という意見もでた。
・活動成果を地域住民にどのように周知する方法が課題となっている。回覧板などに史談会作成の会報を地域住民に伝えているが、コロナ禍もあり、十分ではない。
・印刷費などの活用費用についても課題となっている。

●ヒアリングを受けての所見
・余部史談会は、会員皆が活動を楽しんでいたり、夢を持っていたりする点は、会の運営上、とても健全であると感じた。
・地域（とりわけ住民）が大きく変容したなかにあって、地域の歴史や文化を新住民や子どもたち

にも伝えたい、地域づくりに寄与したい、という会の方針を持っていることは重要である。
・一方で、地域住民や子どもたちを巻き込んでいくような活動については、（会の発足が間もないこともあり）まだ模索している段階にある。これらが動き出すと、地域づくりを支える活動になっていく可能性が大いにある。
・文化財担当部局のみならず行政全体で、こうした地域の活動団体の思いに寄り添い、適切に支援していくことは今後の施策においても必要なことである。地域計画の中でも地域の活動を支援できるような枠組みをもったアクションプランを設定することが望まれる。

以上、すべての自治会・団体ではないが、市内で現時点で積極的に活動を進めている地域を中心にヒアリングを実施したが、ここから抽出される課題は以下の点である。
・地域所在の文化財の把握・掘り起しの推進
・文化財の基本情報や整備事業などの地域住民・子供たちへの普及啓発
・地域に住む子供たちなど、文化財保存の担い手の育成
・学校教育との連携
また、ヒアリングの成果として、旭メロンや馬路大納言等の地域の特産品や、摂津地域との交流の深さ（別院町・本梅町）や参会・帳入りと呼ばれる成人儀礼（保津町）といった文化財の発見もあった。この点は、亀岡市文化財ストーリーの設定に反映したい。

4　文化財保存活用に関する措置の一覧表

白＝全体に関連　青アミ＝歴史文化１と強く関連　緑アミ＝歴史文化２と強く関連
オレンジアミ＝歴史文化３と強く関連　赤アミ＝歴史文化４と強く関連

◎中心になって取り組む
〇協力して取り組む

課題	保存と活用に関する方針			措置の内容	実施主体							経　費	年次計画				
	亀岡の歴史文化	大方針	方　　針		地域住民	市 移住促進部局	市 観光部局	市 農林部局	市 まちづくり部局	市 文化財部局	関係団体		~R6	~R8	~R10	~R12（５次総計）	~R14
・地域所在の文化財の把握・掘り起しの推進	4 3 2 1 丹波国の中心地としての歴史文化 京との関りから生まれた歴史文化 畿内文化の交流点としての歴史文化 地形や自然が育んだ歴史と文化	し　る	・文化財把握調査を通じた地域別の偏りの是正 ・文化財把握調査を通じた文化財種別の偏りの是正 ・地域の文化財の調査成果や整備事業などに関する地域との情報共有	①地域における文化財に関する勉強会・展示会の実施	◎					○		市費・国費					
				②民俗文化財、記念物を主とした文化財の把握調査の実施	○					◎		市費・国費					
				③円山応挙等亀岡出身の偉人に関わる文化財調査の実施、目録の作成（上田正昭蔵書等）	○					◎	○	市費・国費					
		ふかめる	・文化財詳細調査を通じた地域別の偏りの是正 ・文化財詳細調査を通じた文化財種別の偏りの是正 ・亀岡市文化資料館における調査・研究の推進	④亀山城跡・神尾山城跡・数掛山城跡など各地域に点在する城跡、関連文化財の調査の実施						◎	○	市費・府費・国費					
				⑤美術工芸品や建造物、祭行事等の調査・保存の継続実施	◎					◎		市費・府費					
				⑥京都府文化財保護課と連携した歴史の道調査の実施						◎		府費・国費					
				⑦戦争資料の調査と文化資料館での成果展示の継続実施						◎		市費					
・文化財の老朽化に伴う維持管理 これに伴う費用調達		まもる	・市内所在文化財の指定・登録と修理等事業の推進 ・既存文化財の保存の継続実施 ・亀岡市ふるさと歴史文化遺産を守る寄付金の普及啓発による修理費の確保 ・文化財の防災・防火対策の推進	⑧ふるさと納税やクラウドファンディングを生かした文化財修理費用の募集	◎					○		民間資金					
				⑨国・京都府と連携した市内文化財の指定登録及び修理・防犯事業の推進	◎					◎	○	市費・府費・国費					
				⑩旧丹波亀山城下に残る惣構跡や町屋等の調査と景観ルール策定による保存・活用の推進					◎	○	◎	市費・国費					
				⑪天然砥石採掘や諸職の技術の保全、民俗行祭事の保全						○	◎	市費・国費					
				⑫歴史的建造物の国登録文化財への登録の推進、重要文化財（建造物）の保存	○					◎		市費・国費					
				⑬アユモドキやオオサンショウウオの保全活動の継続実施、資料館での展示活動の継続						◎	◎	市費・府費					
				⑭文化財防災マップを作成するとともに南丹エリア文化財防災会議の開催	○					◎	◎	市費					
				⑮文化庁の規定する防火対策整備の推進、文化財保護指導員や地域と連携した防犯対策の推進	○					◎	◎	市費・国費					
・少子高齢化による担い手の減少 これに伴う後継者育成		つたえる	・学校教育との連携の不足 ・少子高齢化による担い手の減少、これに伴う後継者育成の不足 ・亀岡市文化資料館や天然砥石館、佐伯灯籠保存会資料館における普及啓発活動の不足 ・文化財や文化財情報の後悔の不足	⑯教育関係資料の調査・整理と学校教育への活用						◎		市費・府費・国費					
				⑰美術工芸等の高精細撮影と検索データベースの構築						◎	○	市費・国費					
				⑱文化財保存継承の拠点としての文化施設や埋蔵文化財収蔵庫の整備						◎		市費・国費					
				⑲文化資料館における各地域の文化財を扱った企画展の継続実施						◎		市費・国費					
				⑳後継者育成を目指した市内各団体の連携会議の実施、担い手育成プロジェクトの実施（佐伯灯籠保存会・亀岡祭山鉾連合会等）	◎					○	◎	市費・国費					
・地域に住む子供たちなど、文化財保存の担い手の育成				㉑保津川遊船企業組合等との連携による学校や企業を対象とした教育体験旅行の催行			○				◎	民間資金					
				㉒おばちゃんの亀岡ふるさと料理塾（行事食研究会）の開催	○			◎				市費					
・学校教育との連携				㉓篠窯跡の案内看板の設置等						◎		市費・国費					
				㉔霧の芸術祭や各種イベントでの京野菜の販売を通じた PR 活動の実施	◎			○				市費					
				㉕寒天道具等地域の民具や小道具の保存・公開の推進	◎					○		市費・国費					
・文化財の基本情報や整備事業などの地域住民・子供たちへの普及啓発		いかす	・地域と連携した活用事業の不足 ・活用事業における地域住民の非参画 ・無形民俗文化財の日常生活への活用の不足	㉖地域と連携した文化財調査員・ガイドの育成	◎					○	○	市費・国費					
				㉗史跡丹波国分寺跡の整備及び活用の推進	○					◎	◎	市費・国費					
				㉘丹波国分尼寺跡等を生かした河原林地域の文化財の活用の推進	◎					◎		市費・府費					
				㉙城跡などの文化財の調査とこれを活かした地域活性化の取り組みの推進	◎					◎		民間資金・市費					
				㉚移住者受入体制の充実のため古民家の活用によるお試し居住の強化		◎						市費					
				㉛観光部局と連携し、歴史の道や巡礼道散策ルートの開発・普及啓発、ツアーの設定			◎				◎	市費・国費					
				㉜川の駅の活用による舟運歴史の啓発・体験			◎				◎	市費					
				㉝筏流し再現活動の支援、普及啓発						○	◎	市費・民間資金					
				㉞保津川下り・トロッコ列車と旧城下町や法常寺等を関連付けたツアーの構築・催行			○			○	◎	市費・国費 ・民間資金					
				㉟中川小十郎や石田梅岩、田中源太郎等の旧家を生かした観光ツアーやイベントの実施	◎		○	○		○		市費・国費					
				㊱アグリフェスタ等のイベントの開催	○			◎				市費					

亀岡市教育委員会